ホームレスの実態に関する全国調査(生活実態調査)の結果(詳細版)

資料2

生活実態調査においては、1,435人から回答を得た。

生活実態調査の集計表凡例

◇ 択一式の場合

表1-1　問1-1　具体的な寝場所

	人数	%	有効%
公園	365	25.4	33.0
道路	169	11.8	15.3
河川	291	20.3	26.3
駅舎	107	7.5	9.7
その他	173	12.1	15.7
有効回答数	***1,105***	77.0	100.0
無回答	6	0.4	
非該当	324	22.6	
合計	***1,435***	100.0	

※1　※2　※3

※1「非該当」… 生活実態調査回答者全員が答える必要のない問(枝問)における回答不要者の数及び割合

※2「　　%」… ***生活実態調査回答者全員(1,435人)*** に占める割合

※3「有効%」… ***有効回答数(1,105人)*** に占める割合

◇ 複数選択式の場合

表6-1　問6-1　現在している仕事の内容

(複数回答)	件数	回答%	ケース%
建設日雇	95	10.7	12.0
廃品回収	560	63.1	70.8
運輸日雇	14	1.6	1.8
その他の雑業	32	3.6	4.0
その他	187	21.1	23.6
有効回答数	***888***	100.0	112.3
有効回答者数	***791***	55.1	
無回答	3	0.3	
非該当	641	44.7	
合計	1,435	100.0	

※1　※2

※1「回　答%」… ***有効回答数(888人)*** に占める割合

※2「ケース%」… ***有効回答者数(791人)*** に占める割合

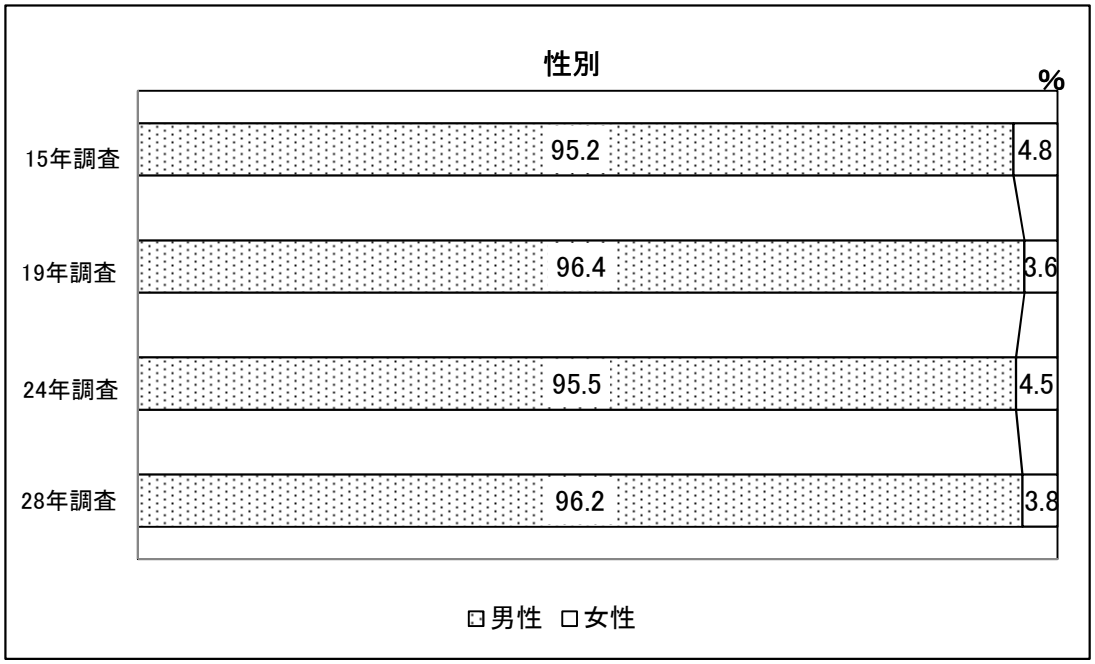
第1章　調査対象者の基本的属性

本章では、生活実態調査対象ホームレスの基本的属性を「性別」、「年齢」 で表した。

1　性別

性別は、有効回答数1,405人のうち、男性1,351人（96.2%）、女性54人（3.8%）であった。

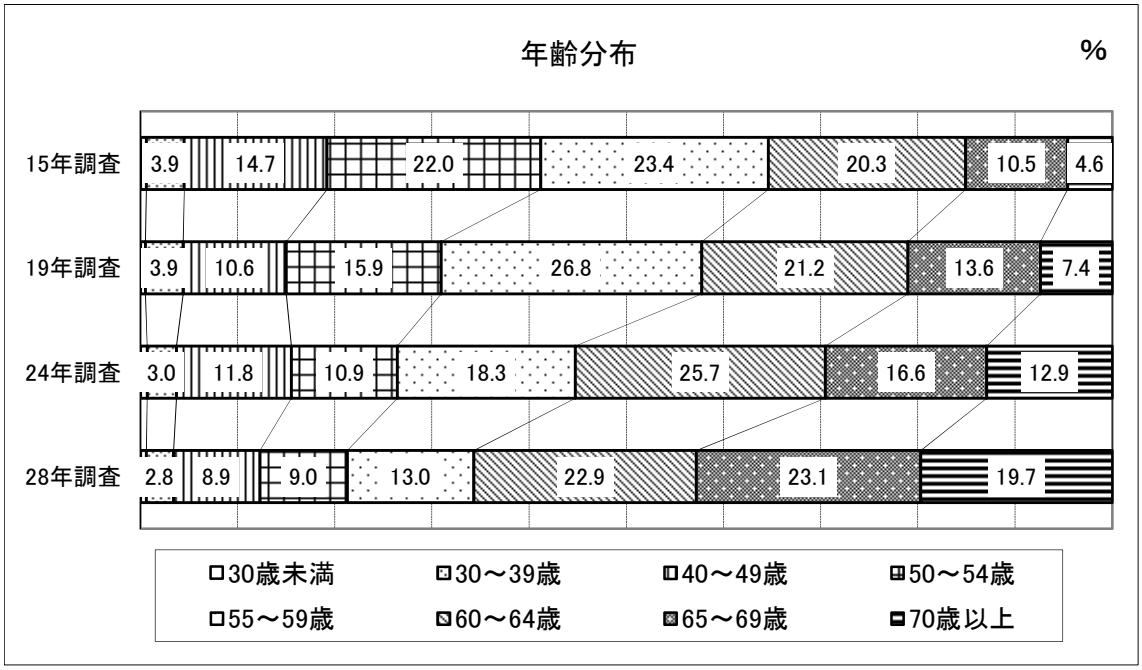
	人	%	有効%
男性	1,351	94.1	96.2
女性	54	3.8	3.8
有効回答数	1,405	97.9	100.0
無回答	30	2.1	
合計	1,435	100.0	



2 年齢分布

年齢分布は下表のとおりである。最も多かったのが「65～69歳」329人（23.1%）、次いで「60～64歳」326人（22.9%）、「70～74歳」193人（13.6%）であり、これらの合計が全体の59.6%を占めている。

年齢分布	人	%	有効%
19歳以下	0	0.0	0.0
20～24歳	2	0.1	0.1
25～29歳	7	0.5	0.5
30～34歳	18	1.3	1.3
35～39歳	21	1.5	1.5
40～44歳	49	3.4	3.4
45～49歳	78	5.4	5.5
50～54歳	128	8.9	9.0
55～59歳	185	12.9	13.0
60～64歳	326	22.7	22.9
65～69歳	329	22.9	23.1
70～74歳	193	13.4	13.6
75～79歳	66	4.6	4.6
80歳以上	22	1.5	1.5
有効回答数	1,424	99.2	100.0
無回答数	11	0.8	
合計	1,435	100.0	



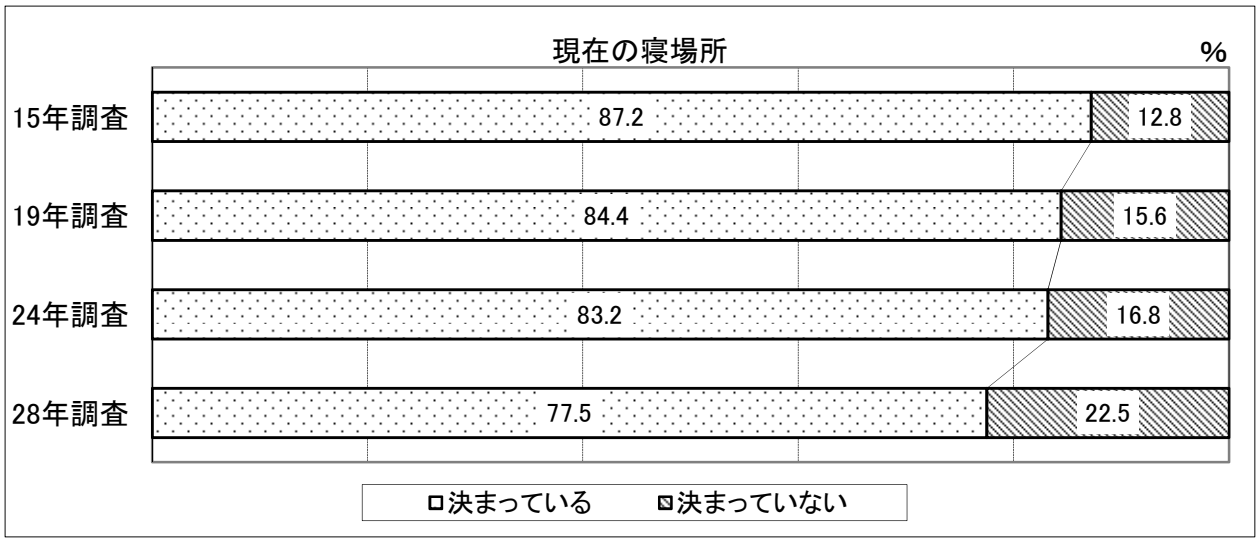
第2章　路上（野宿）生活について

1　路上（野宿）生活の形態

路上（野宿）場所については、「一定の場所で決まっている」が1,111人（77.5%）、「決まっていない」が323人（22.5%）となっている（表1）。

表1　問1　寝ている場所はだいたいいつも決まっていますか。

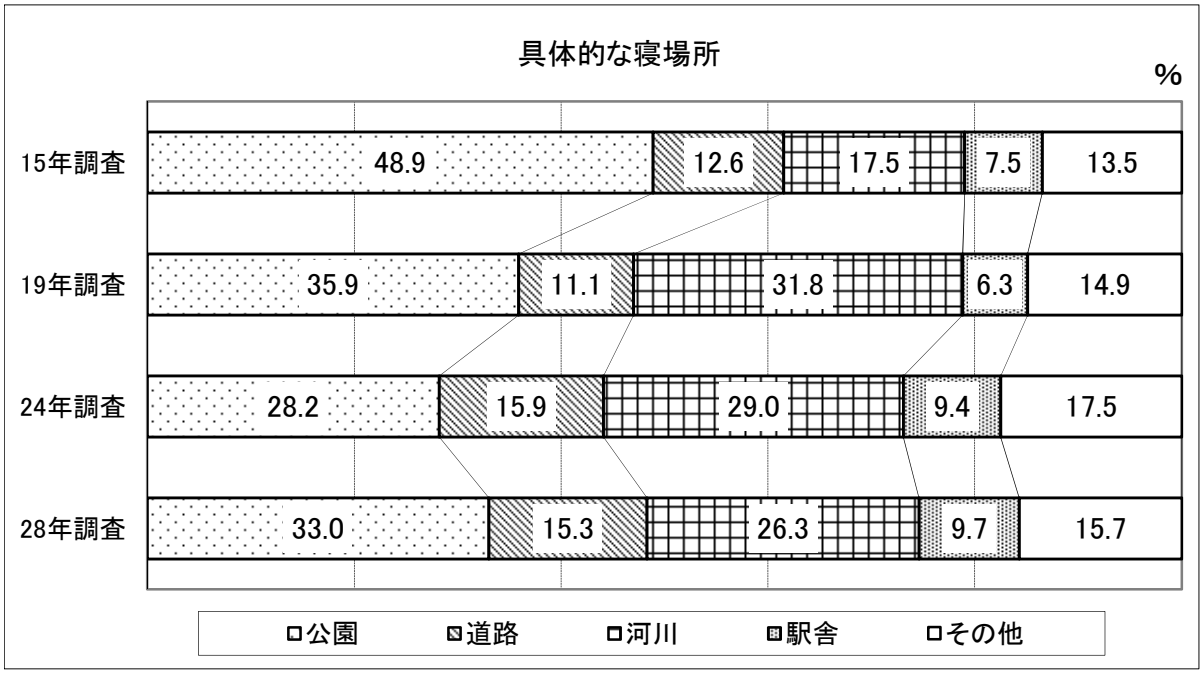
	人	%	有効%
1. 一定の場所で決まっている	1,111	77.4	77.5
2. 決まっていない	323	22.5	22.5
有効回答数	1,434	99.9	100.0
無回答	1	0.1	
合計	1,435	100.0	



なお、「一定の場所で決まっている」者の具体的な場所としては「公園」が最も多く365人（33.0%）、次いで「河川」が291人（26.3%）となっている（表1-1）。

表1-1　問1-1　問1で「1.一定の場所で決まっている」と答えた方について、具体的にはどこですか。

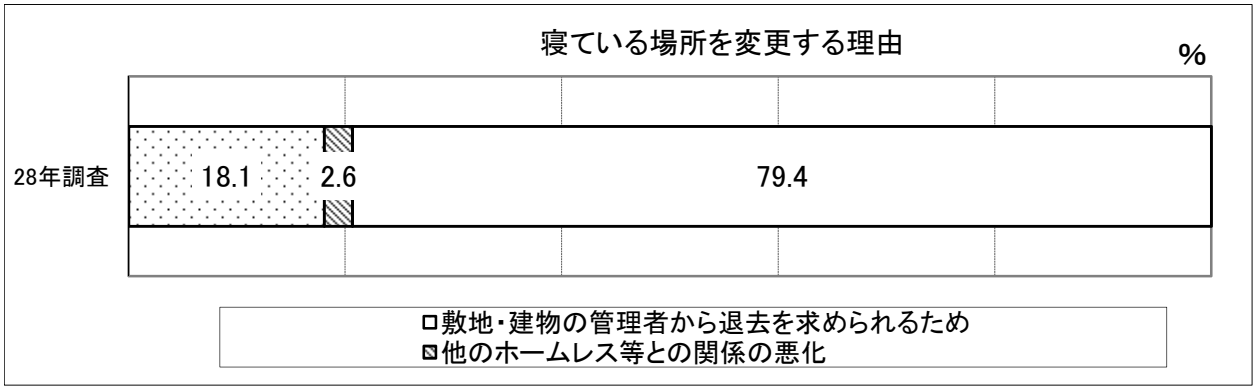
	人	%	有効%
1. 公園	365	25.4	33.0
2. 道路	169	11.8	15.3
3. 河川	291	20.3	26.3
4. 駅舎	107	7.5	9.7
5. その他	173	12.1	15.7
有効回答数	1,105	77.0	100.0
無回答	6	0.4	
非該当	324	22.6	
合計	1,435	100.0	



「決まっていない」者が寝ている場所を変更する理由としては、「退去を求められるため」が56人（18.1%）、「他のホームレス等との関係の悪化」が8人（2.6%）となっている（表1-2）。

表1-2　問1-2　問1で「2.決まっていない」と答えた方について、寝ている場所を変更する理由は、どうしてですか。1つ選んでください。

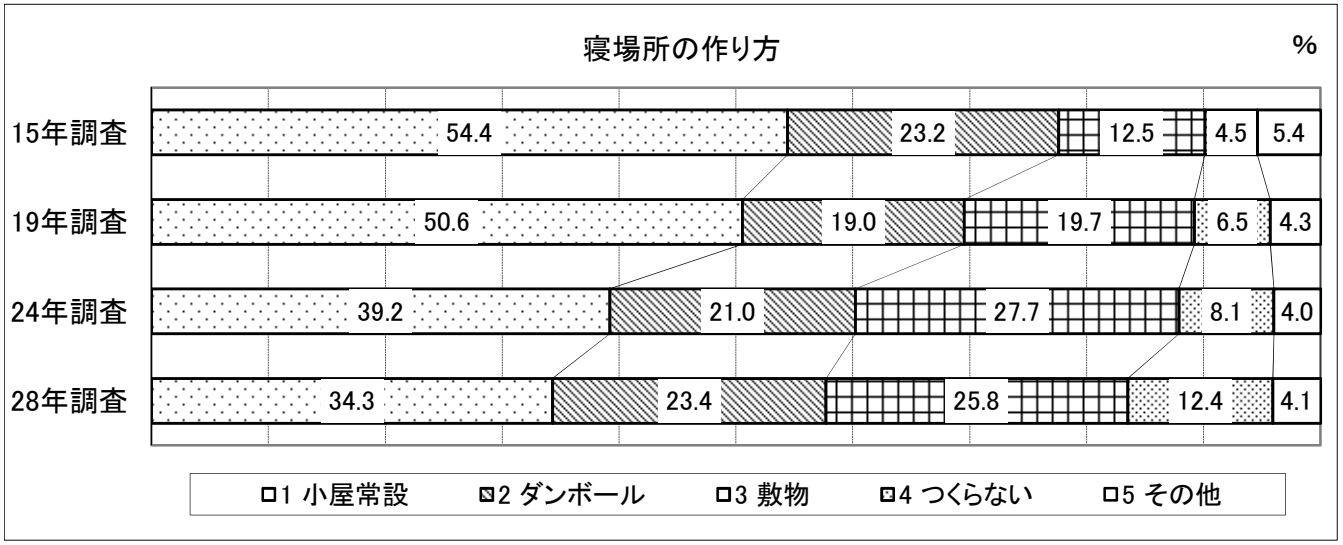
	人	%	有効%
1. 敷地・建物の管理者から退去を求められるため	56	3.9	18.1
2. 他のホームレス等との関係の悪化	8	0.6	2.6
3. その他	246	17.1	79.4
有効回答数	310	21.6	100.0
無回答	13	0.9	
非該当	1,112	77.5	
合計	1,435	100.0	



野宿の形態については、「テント又は小屋を常設」が最も多く489人（34.3%）、次いで「簡単に敷物（寝袋・毛布等）を敷いて寝ている」が367人（25.8%）となっている（表2）。

表2　問2　どのようにして寝（野宿）場所を作っていますか。

	人	%	有効%
1. 廃材やダンボール、ブルーシートによるテント又は小屋を常設	489	34.1	34.3
2. ダンボール等を利用して寝場所をつくっている	333	23.2	23.4
3. 簡単に敷物（寝袋・毛布等）を敷いて寝ている	367	25.6	25.8
4. 寝場所は特につくらない	177	12.3	12.4
5. その他	58	4.0	4.1
有効回答数	1,424	99.2	100.0
無回答	11	0.8	
合計	1,435	100.0	

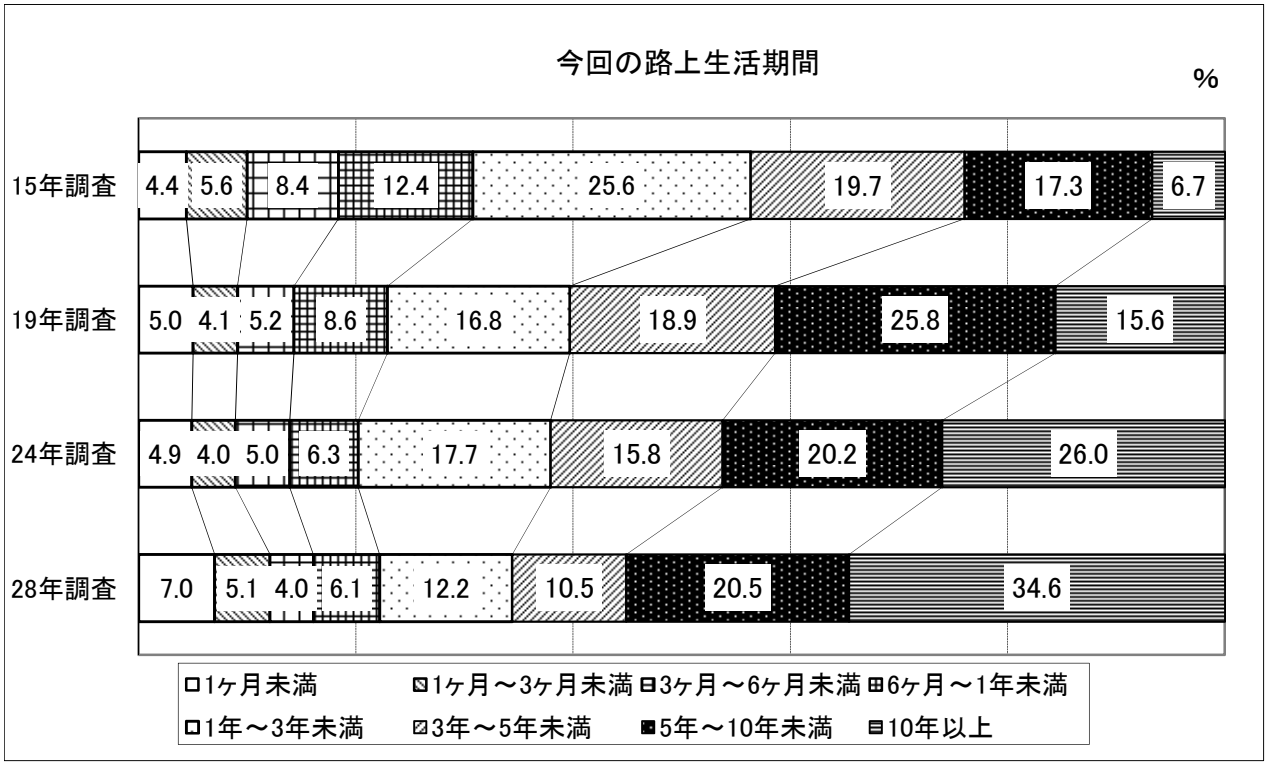


2 今回の路上（野宿）生活の期間・継続状況

今回の路上（野宿）生活の期間については、「10年以上」が最も多く490人（34.6%）、次いで「5年～10年未満」が290人（20.5%）、「1年～3年未満」が173人（12.2%）となっている（表3）。

表3 問3 今回の路上（野宿）生活をするようになって、どのくらいたちますか。（昔のことは除く）

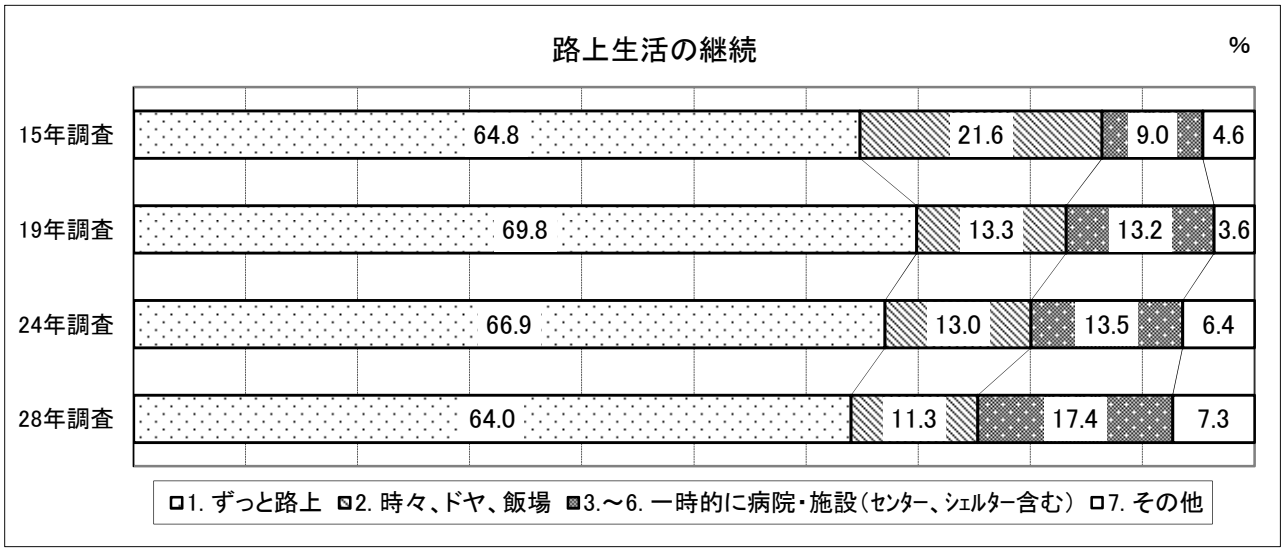
	人	%	有効%
1ヶ月未満	99	6.9	7.0
1ヶ月～3ヶ月未満	72	5.0	5.1
3ヶ月～6ヶ月未満	57	4.0	4.0
6ヶ月～1年未満	86	6.0	6.1
1年～3年未満	173	12.1	12.2
3年～5年未満	148	10.3	10.5
5年～10年未満	290	20.2	20.5
10年以上	490	34.1	34.6
有効回答数	1,415	98.6	100.0
無回答	20	1.4	
合計	1,435	100.0	



今回の路上（野宿）生活の間の居住場所については、「ずっと路上（野宿）生活をしていた」が最も多く906人（64.0%）、次いで「時々、ドヤ、飯場、ホテル等にも泊まっていた」が160人（11.3%）となっている（表4）。

表4　問4　今回の路上（野宿）生活の間、ずっと継続して路上（野宿）生活が続いてますか。または、どこかと行き来していましたか。1つ選んでください。

	人	%	有効%
1. ずっと路上（野宿）生活をしていた	906	63.1	64.0
2. 時々、ドヤ、飯場、ホテル等にも泊まっていた	160	11.1	11.3
3. 病院に一時的に入っていたことがある	64	4.5	4.5
4. 施設に一時的に入っていたことがある	82	5.7	5.8
5. 自立支援センターに一時的に入っていたことがある	48	3.3	3.4
6. 緊急一時宿泊施設（シェルター）に一時的に入っていたことがある	52	3.6	3.7
7. その他	103	7.2	7.3
有効回答数	1,415	98.6	100.0
無回答	20	1.4	
合計	1,435	100.0	

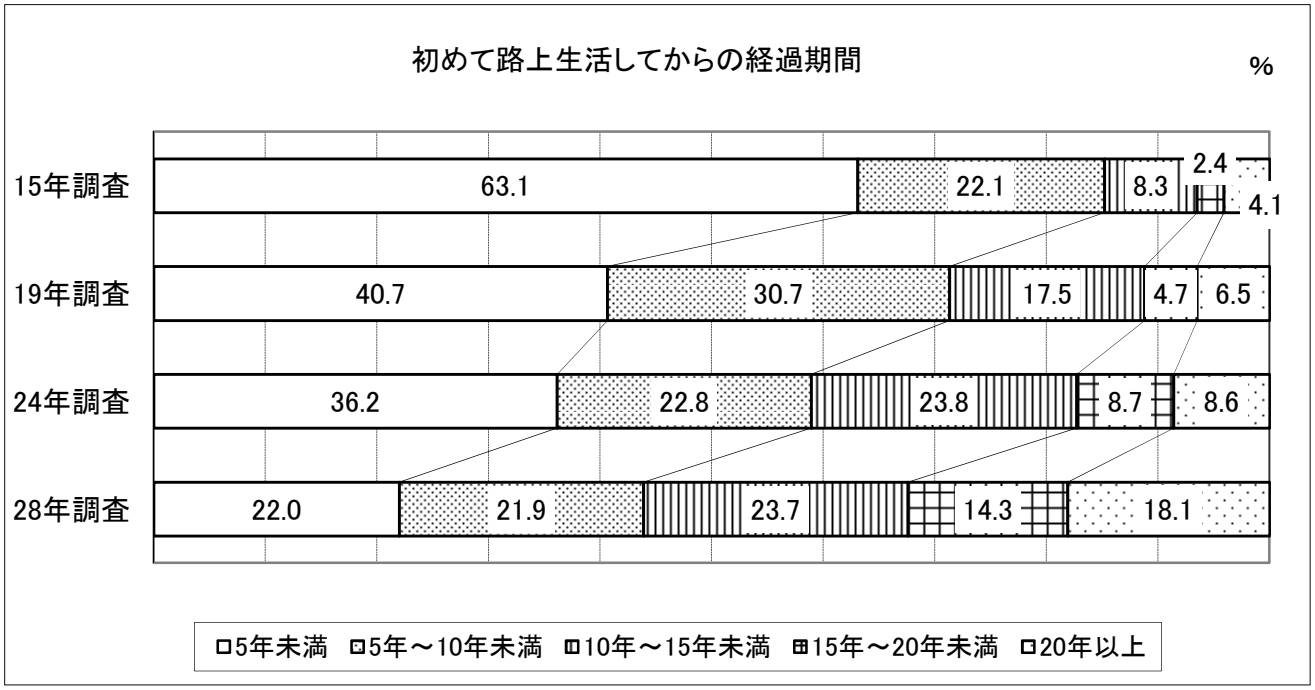


3　初めて路上（野宿）生活をしてからの期間

　初めて路上（野宿）生活をしてからの期間については、「10年～15年未満」が最も多く329人（23.7%）、次いで「5年～10年未満」が304人（21.9%）となっている（表5）。

表5　問5　初めて路上（野宿）生活をしたのは、どのくらい前ですか。

	人	%	有効%
1ヶ月未満	33	2.3	2.4
1ヶ月～3ヶ月未満	26	1.8	1.9
3ヶ月～6ヶ月未満	30	2.1	2.2
6ヶ月～1年未満	34	2.4	2.4
1年～3年未満	88	6.1	6.3
3年～5年未満	95	6.6	6.8
5年～10年未満	304	21.2	21.9
10年～15年未満	329	22.9	23.7
15年～20年未満	198	13.8	14.3
20年以上	252	17.6	18.1
有効回答数	1,389	96.8	100.0
無回答	46	3.3	
合計	1,435	100.0	

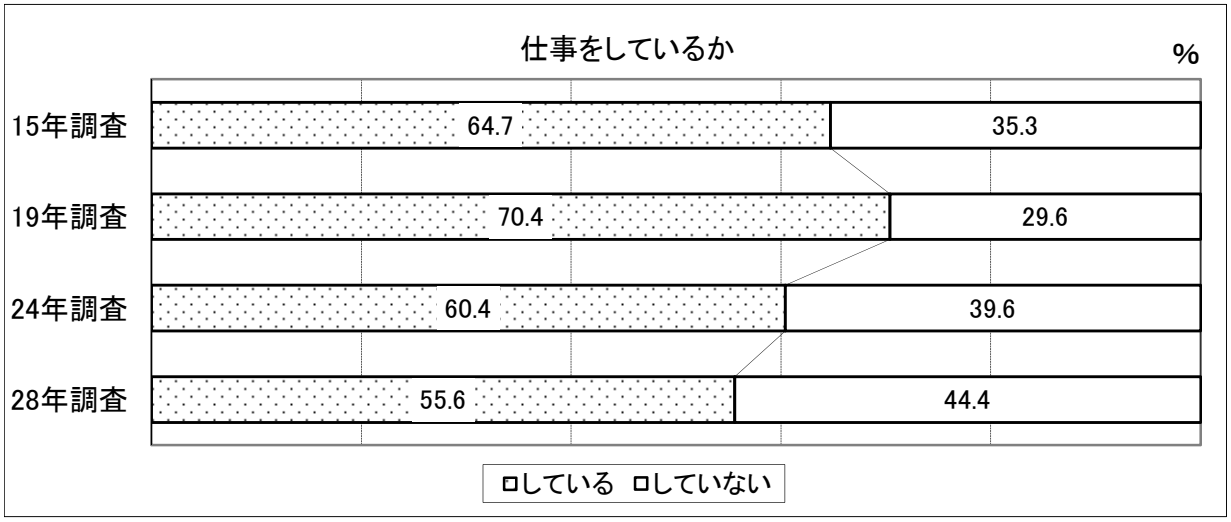


4 仕事と収入の状況

現在の仕事の状況については、「している」が794人（55.6%）、「していない」が635人（44.4%）となっており、約6割の者が何らかの仕事をしている（表6）。

表6 問6 現在収入のある仕事をしていますか。

	人	%	有効%
1. している	794	55.3	55.6
2. していない	635	44.3	44.4
有効回答数	1,429	99.6	100.0
無回答	6	0.4	
合計	1,435	100.0	

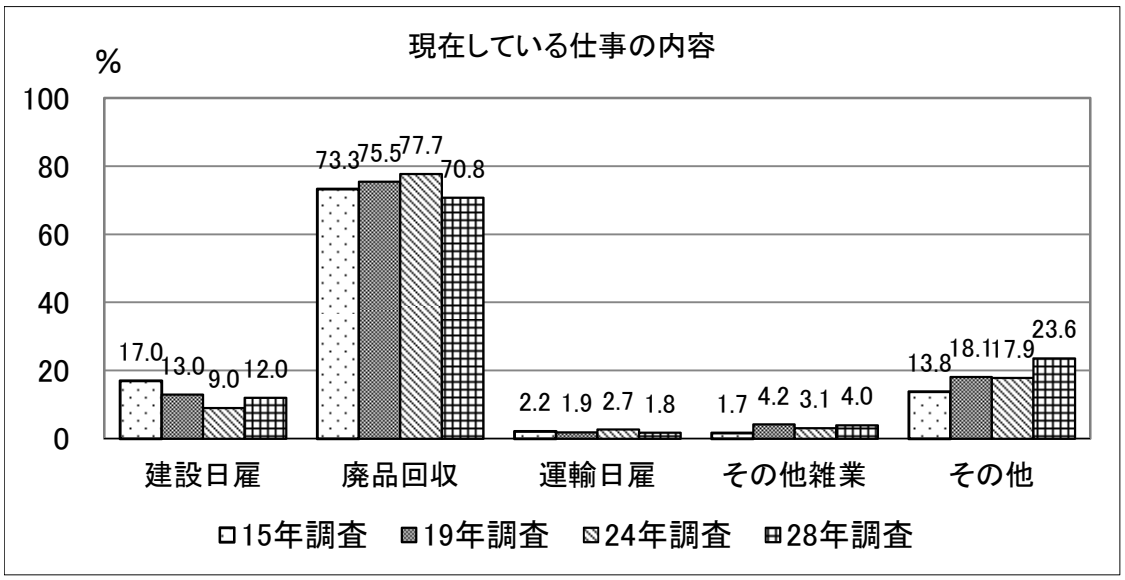


また、その内容については、「廃品回収」が560人（70.8%）と最も多く、次いで「建設日雇」が95人（12.0%）となっている（表6-1）。

表6-1　問6-1　問6で「1.している」と答えた方について、具体的には、どのような仕事をしていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

（複数回答）	人	回答%	ケース%
1. 建設日雇	95	10.7	12.0
2. 廃品回収（アルミ缶・段ボール・粗大ゴミ・本集め）	560	63.1	70.8
3. 運輸日雇（運搬作業、引越し等）	14	1.6	1.8
4. その他雑業（看板持ち・チケットならび・雑誌の販売など）	32	3.6	4.0
5. その他	187	21.1	23.6
有効回答数	888	100.0	112.3
有効回答者数	791	55.1	
無回答	3	0.3	
非該当	641	44.7	
合計	1,435	100.0	

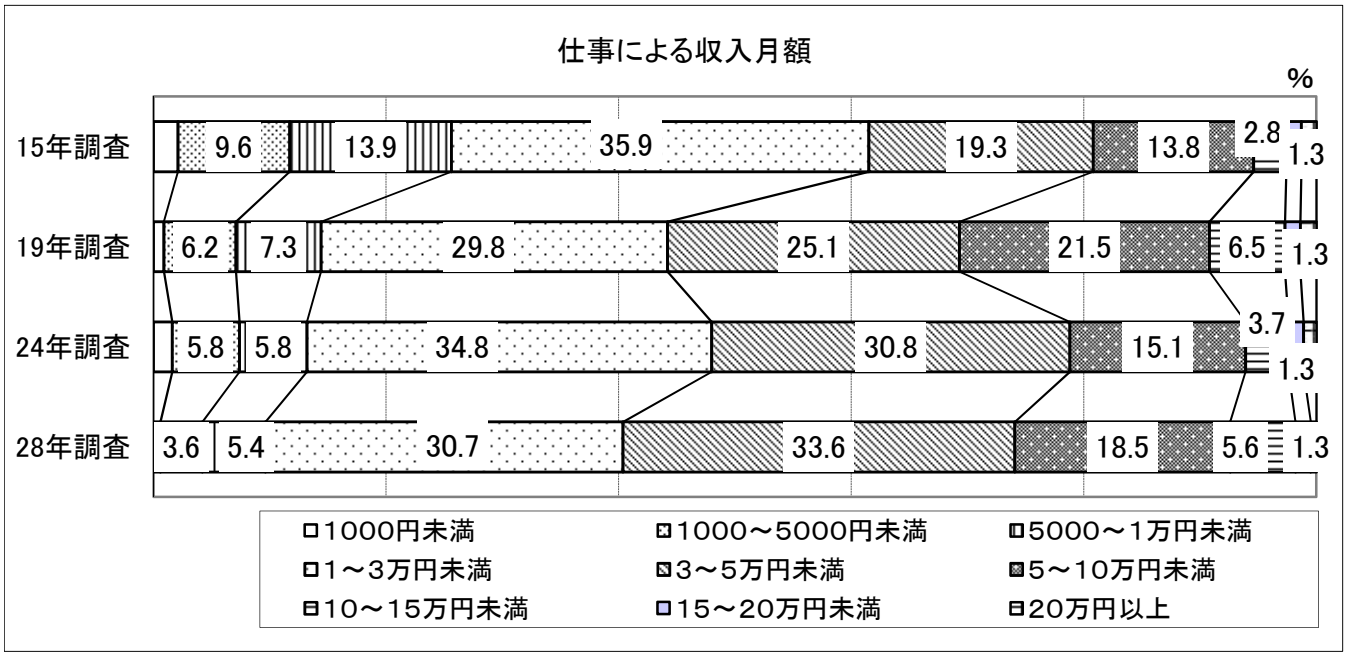
※回答%は有効回答数に占める割合、ケース%は有効回答者数に占める割合



また、現在の仕事による月収月額（ここ3ヶ月の平均）については、「3～5万円未満」が259人（33.6%）と最も多く、次いで「1～3万円未満」が237人（30.7%）、「5～10万円未満」が143人（18.5%）となっている（表6-2）。

表6-2　問6-2　問6で「1.している」と答えた方について、仕事による収入は月額どれくらいありますか。（ここ3ヶ月くらいの平均）

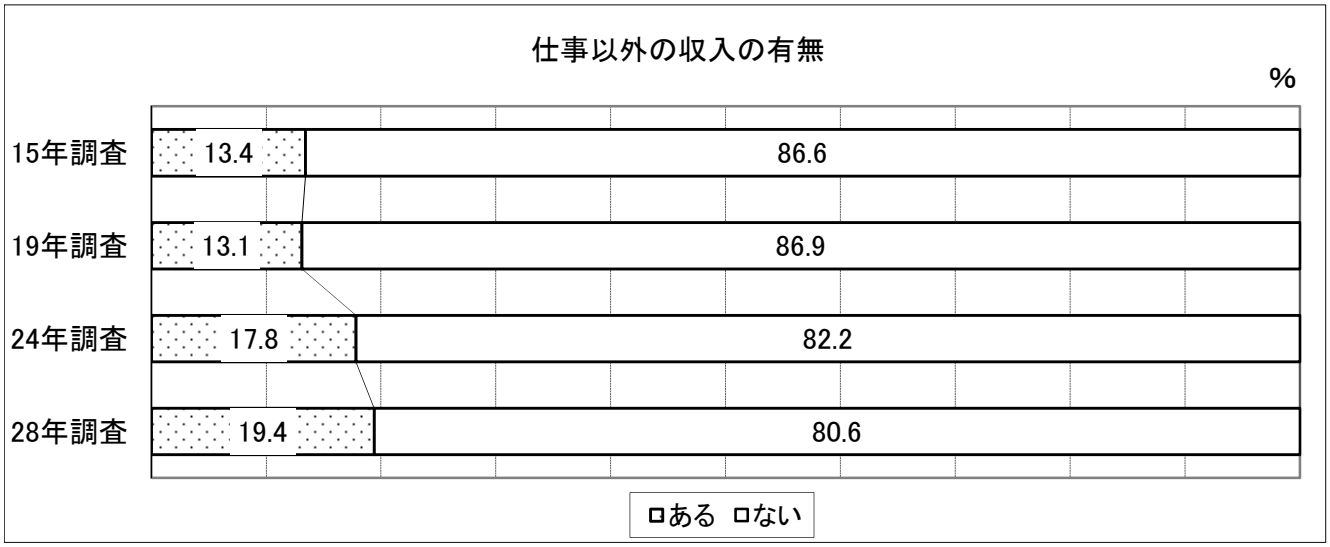
	人	%	有効%
1000円未満	5	0.3	0.6
1000～5000円未満	28	2.0	3.6
5000～1万円未満	42	2.9	5.4
1～3万円未満	237	16.5	30.7
3～5万円未満	259	18.0	33.6
5～10万円未満	143	10.0	18.5
10～15万円未満	43	3.0	5.6
15～20万円未満	10	0.7	1.3
20万円以上	4	0.3	0.5
有効回答数	771	53.7	100.0
無回答	23	1.6	
非該当	641	44.7	
合計	1,435	100.0	



一方、ここ3ヶ月での仕事以外の収入の有無については、「ある」が274人（19.4%）、「ない」が1,142人（80.6%）となっている（表7）。

表7　問7　ここ3ヶ月間で、仕事以外の収入がありますか。

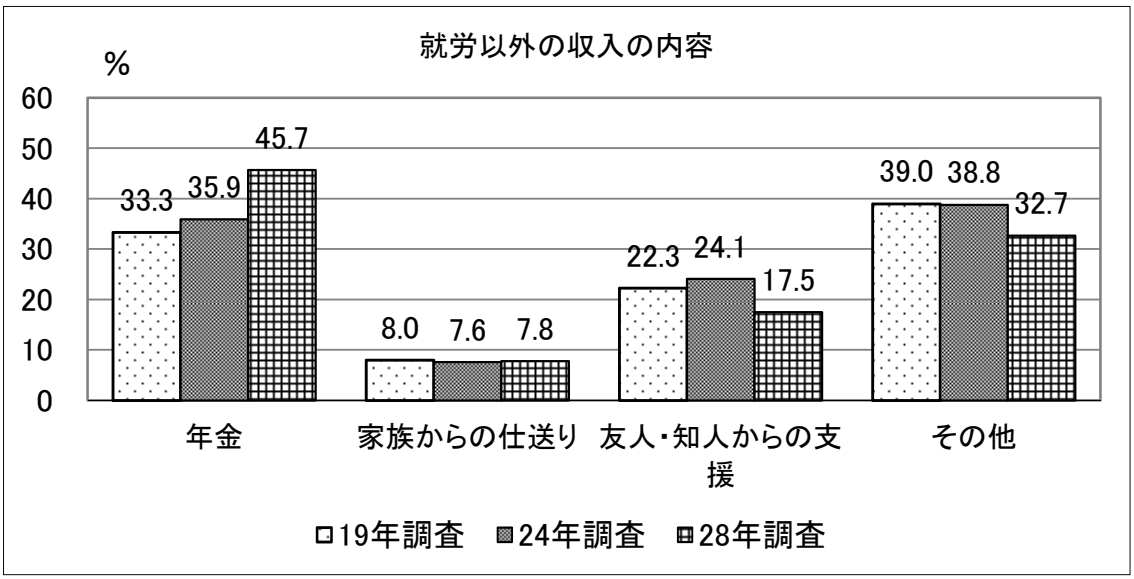
	人	%	有効%
1. ある	274	19.1	19.4
2. ない	1,142	79.6	80.6
有効回答数	1,416	98.7	100.0
無回答	19	1.3	
合計	1,435	100.0	



また、その収入源は、「年金」が最も多く123人（45.7%）、次いで「友人・知人からの支援」が47人（17.5%）となっている（表7-1）。

表7-1　問7-1　問7で「1.ある」と答えた方について、具体的には、どのような収入ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

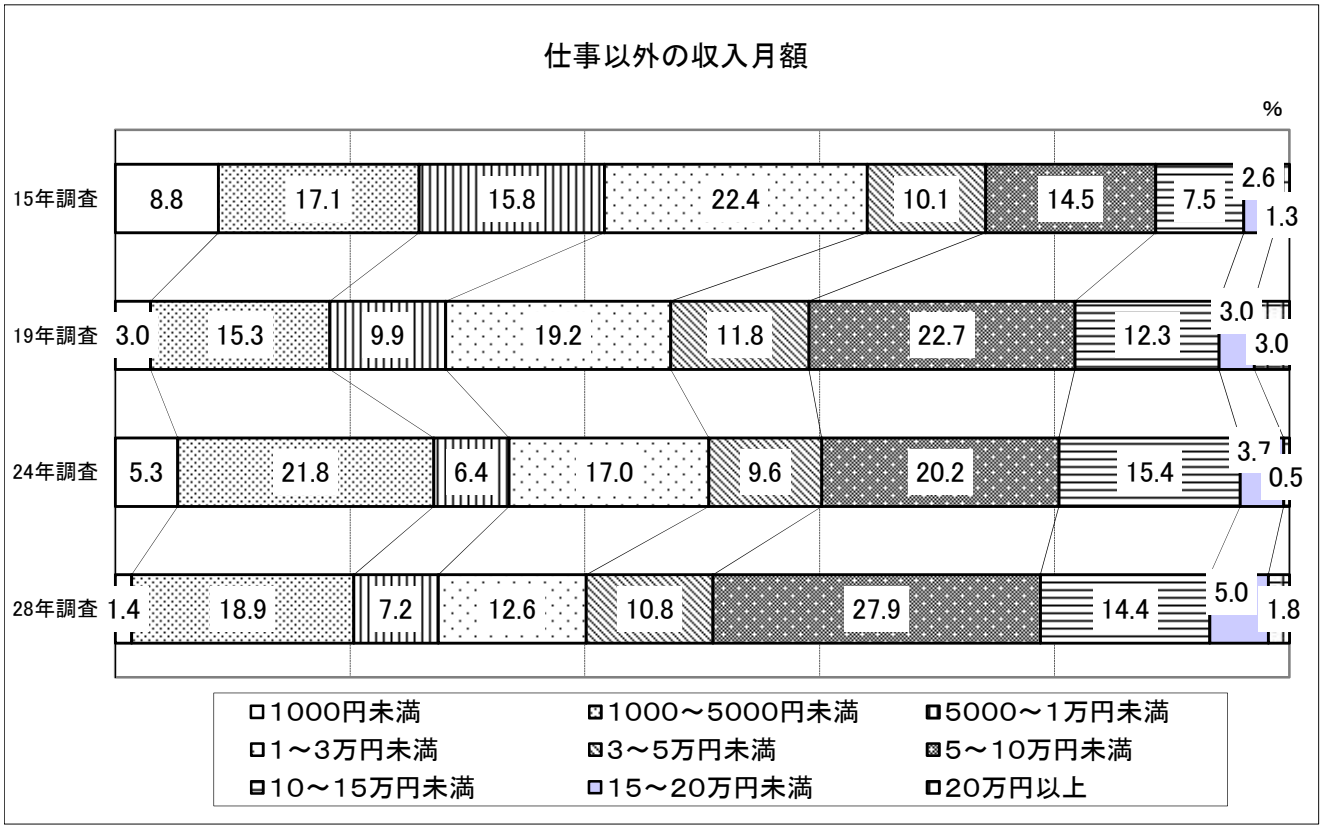
（複数回答）	人	回答%	ケース%
1. 年金	123	44.1	45.7
2. 家族からの仕送り	21	7.5	7.8
3. 友人・知人からの支援	47	16.8	17.5
4. その他	88	31.5	32.7
有効回答数	279	100.0	103.7
有効回答者数	269	18.7	
無回答	5	0.3	
非該当	1,161	80.9	
合計	1,435	100.0	



仕事以外の収入月額（ここ3ヶ月の平均）については「5～10万円未満が62人（27.9%）で最も多く、次いで「1,000～5,000円未満」が42人（18.9%）となっている（表7-2）。

表7-2　問7-2　問7で「1.ある」と答えた方について、仕事以外の収入はここ3ヶ月平均してひと月いくらぐらいになりますか。

	人	%	有効%
1000円未満	3	0.2	1.4
1000～5000円未満	42	2.9	18.9
5000～1万円未満	16	1.1	7.2
1～3万円未満	28	2.0	12.6
3～5万円未満	24	1.7	10.8
5～10万円未満	62	4.3	27.9
10～15万円未満	32	2.2	14.4
15～20万円未満	11	0.8	5.0
20万円以上	4	0.3	1.8
有効回答数	222	15.5	100.0
無回答	52	3.6	
非該当	1,161	80.9	
合計	1,435	100.0	

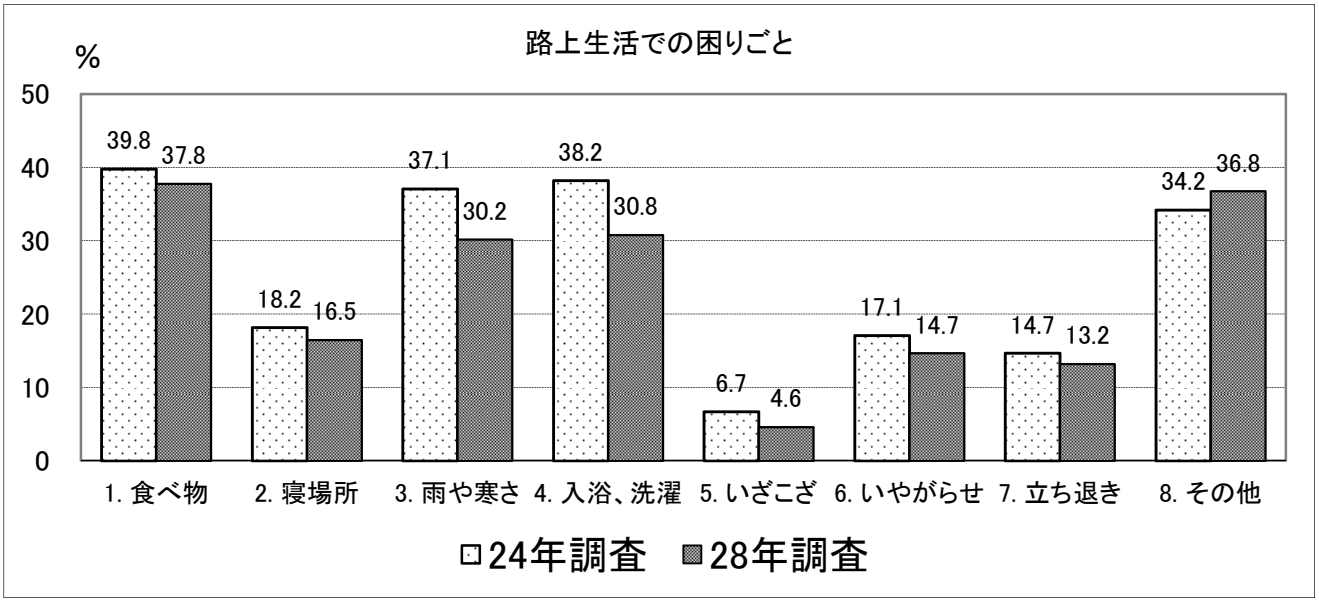


4　路上（野宿）生活で困ること

路上（野宿）生活において困ることについては、「食べ物が十分にないので困っている」が532人（37.8%）と最も多く、次いで「入浴、洗濯などができなくて、清潔に保つことができず困っている」が433人（30.8%）、「雨や寒さをしのげず困っている」が425人（30.2%）となっている（表8）。

表8　問8　路上（野宿）生活の中で、困っていることはどのような事ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

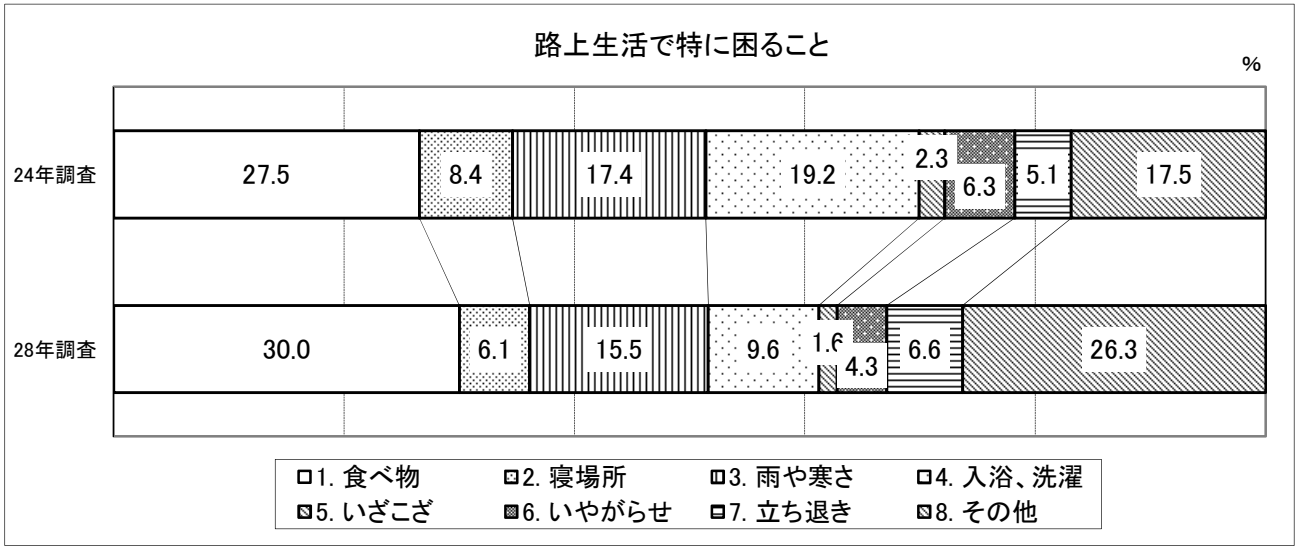
（複数回答）	人	回答%	ケース%
1. 食べ物が十分にないので困っている	532	20.5	37.8
2. 寝る場所を探すのにとても苦労している	232	8.9	16.5
3. 雨や寒さをしのげず困っている	425	16.4	30.2
4. 入浴、洗濯などができなくて、清潔に保つことができず困っている	433	16.7	30.8
5. ホームレス同士のいざこざで困っている	65	2.5	4.6
6. ホームレス以外の人にいやがらせを受けて困っている	207	8.0	14.7
7. 立ち退くよう言われて困っている	185	7.1	13.2
8. その他	518	19.9	36.8
有効回答数	2,597	100.0	184.7
有効回答者数	1,406	98.0	
無回答	29	2.0	
合計	1,435	100.0	



また、特に困っていることは、「食べ物が十分にないので困っている」が240人（30.0%）となっている（表8-1）。

表8-1　また、特に困っていることについては、◎をつけてください。

	人	%	有効%
1. 食べ物が十分にないので困っている	240	16.7	30.0
2. 寝る場所を探すのにとても苦労している	49	3.4	6.1
3. 雨や寒さをしのげず困っている	124	8.6	15.5
4. 入浴、洗濯などができなくて、清潔に保つことができず困っている	77	5.4	9.6
5. ホームレス同士のいざこざで困っている	13	0.9	1.6
6. ホームレス以外の人にいやがらせを受けて困っている	34	2.4	4.3
7. 立ち退くよう言われて困っている	53	3.7	6.6
8. その他	210	14.6	26.3
有効回答数	800	55.7	100.0
無回答	635	44.3	
合計	1,435	100.0	



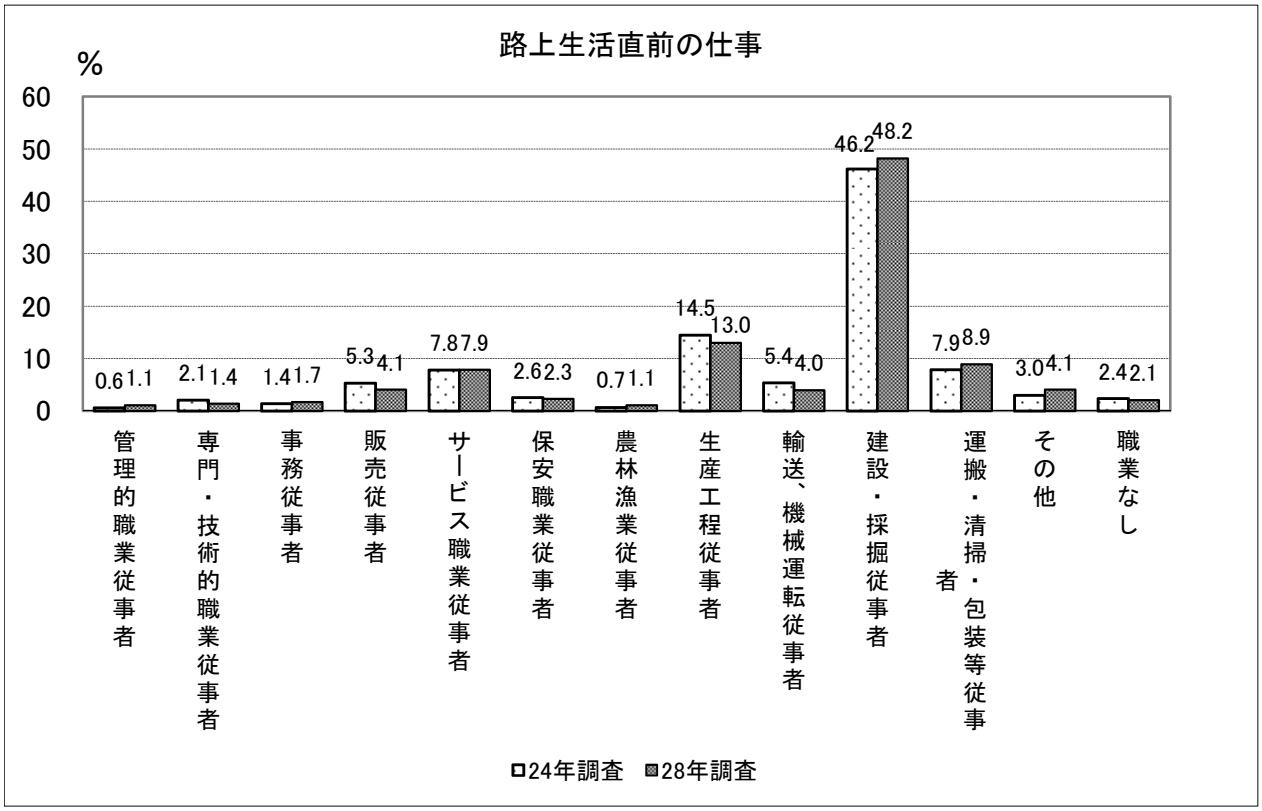
第3章　路上（野宿）生活までのいきさつ

1　路上（野宿）生活直前の仕事、従業上の地位、居住形態、地域

路上（野宿）生活直前の仕事については、「建設・採掘従業者」が683人（48.2%）で建設関係が約5割となっており、次いで「生産行程従事者」が184人（13.0%）となっている（表9）。

表9　問9　初めて路上（野宿）生活をするすぐ前にやっていた仕事は何ですか。

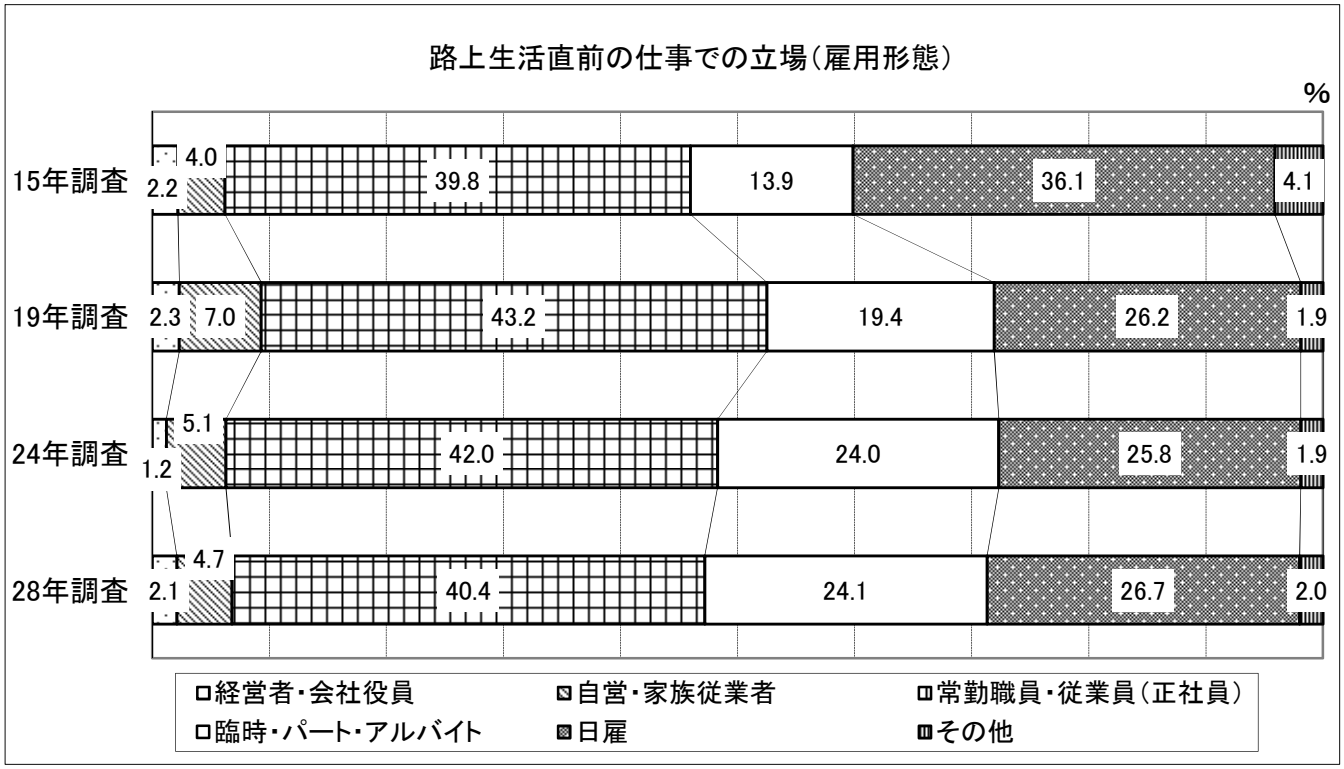
	人	%	有効%
01. 管理的職業従事者	15	1.0	1.1
02. 専門・技術的職業従事者	20	1.4	1.4
03. 事務従事者	24	1.7	1.7
04. 販売従事者	58	4.0	4.1
05. サービス職業従事者	112	7.8	7.9
06. 保安職業従事者	33	2.3	2.3
07. 農林漁業従事者	16	1.1	1.1
08. 生産工程従事者	184	12.8	13.0
09. 輸送、機械運転従事者	57	4.0	4.0
10. 建設・採掘従事者	683	47.6	48.2
11. 運搬・清掃・包装等従事者	126	8.8	8.9
12. その他	58	4.0	4.1
13. 職業なし	30	2.1	2.1
有効回答数	1,416	98.7	100.0
無回答	19	1.3	
合計	1,435	100.0	



また、路上（野宿生活）直前に就いていた仕事の従業上の地位については、「常勤職員・従業者（正社員）」が556人（40.4%）と最も多く、次いで「日雇」が367人（26.7%）、「臨時・パート・アルバイト」が332人（24.1%）となっている（表9-1）。

表9-1　問9-1　問9で「01」～「12」と答えた方について、その時の立場は何でしたか。

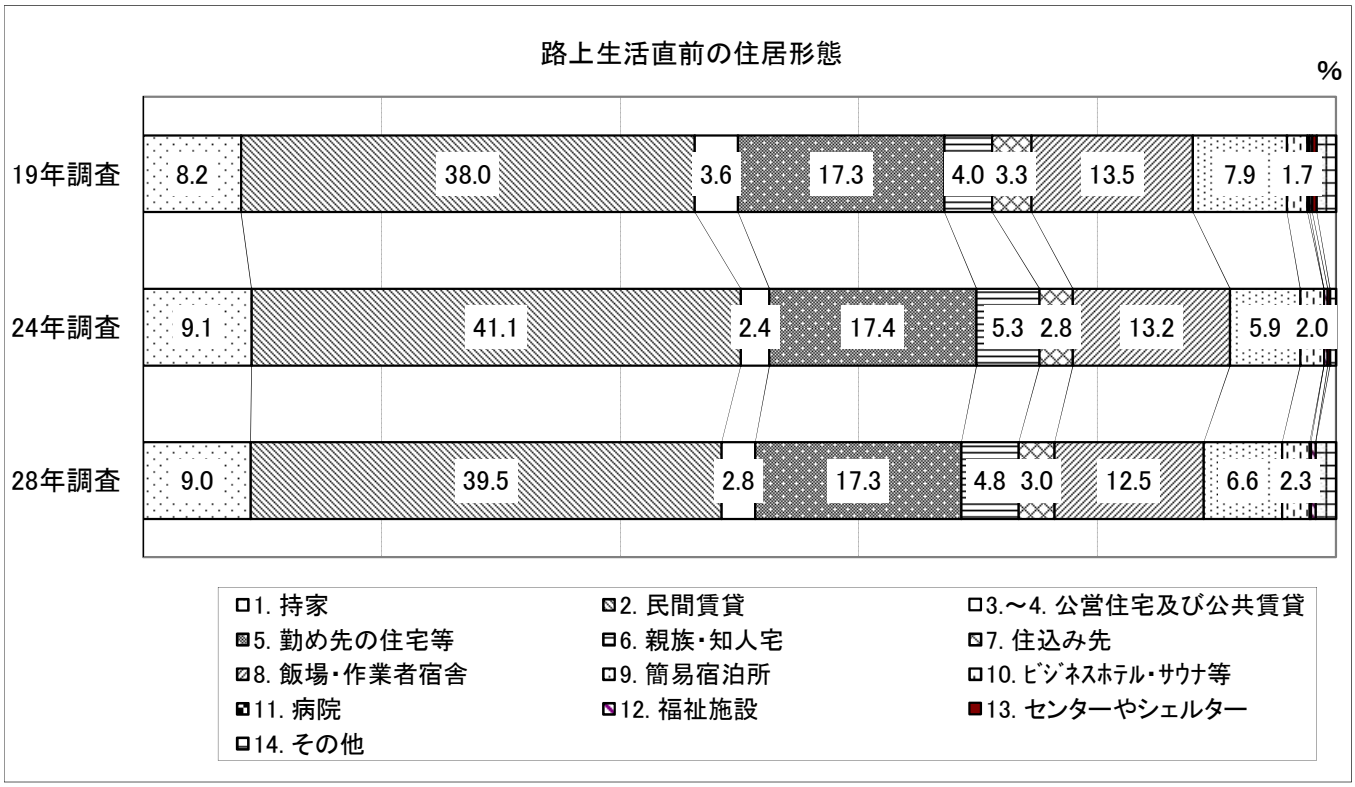
	人	%	有効%
1. 経営者・会社役員	29	2.0	2.1
2. 自営・家族従業者	64	4.5	4.7
3. 常勤職員・従業員（正社員）	556	38.7	40.4
4. 臨時・パート・アルバイト	332	23.1	24.1
5. 日雇	367	25.6	26.7
6. その他	28	2.0	2.0
有効回答数	1,376	95.9	100.0
無回答	10	0.7	
非該当	49	3.4	
合計	1,435	100.0	



路上（野宿）生活をする直前の住居形態については、「民間賃貸住宅」が560人（39.5%）で最も多く、次いで「勤め先の住宅や寮」が245人（17.3%）、「飯場、作業者宿舎」が177人（12.5%）となっている（表10）。

表10　問10　初めて路上（野宿）生活をする前に、住んでいたのはどこですか。1つ選んでください。（路上（野宿）生活中に一時的に泊まったところは除く。路上（野宿）生活が多くなる前の住居）

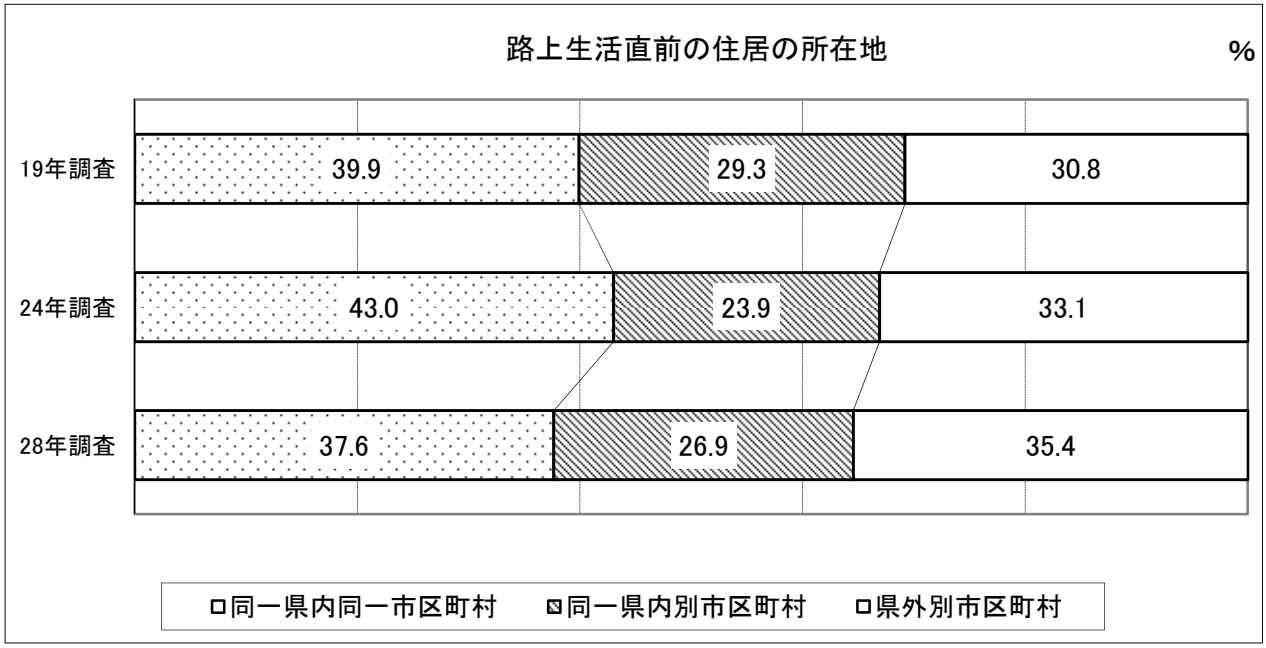
	人	%	有効%
1. 持家（一戸建て、マンションなど）	128	8.9	9.0
2. 民間賃貸住宅（アパート・マンション）	560	39.0	39.5
3. 公営住宅	26	1.8	1.8
4. 公営住宅以外の公共賃貸住宅（都市機構賃貸住宅（旧公団賃貸住宅）等）	14	1.0	1.0
5. 勤め先の住宅や寮	245	17.1	17.3
6. 親族・知人宅	68	4.7	4.8
7. 住込み先	43	3.0	3.0
8. 飯場・作業者宿舎（飯場など現場に仮説された宿舎）	177	12.3	12.5
9. 簡易宿泊所（ドヤ）	94	6.6	6.6
10. ﾋﾞｼﾞﾈｽ・ｶﾌﾟｾﾙﾎﾃﾙ、サウナ、24時間営業の飲食店（ﾏﾝｶﾞ喫茶等含む）	32	2.2	2.3
11. 病院	1	0.1	0.1
12. 更生施設等の福祉施設	6	0.4	0.4
13. 自立支援センターやシェルター	0	0.0	0.0
14. その他	24	1.7	1.7
有効回答数	1,418	98.8	100.0
無回答	17	1.2	
合計	1,435	100.0	



路上（野宿）生活直前に住んでいた地域については、「現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の同じ市区町村」が528人（37.6%）、それ以外が875人（62.3%）となっている（表11）。

表11　問11　初めて路上（野宿）生活をするすぐ前に、住んでいた地域はどこですか。

	人	%	有効%
1. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の同じ市区町村	528	36.8	37.6
2. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の別の市区町村	378	26.3	26.9
3. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県外の市区町村	497	34.6	35.4
有効回答数	1,403	97.8	100.0
無回答	32	2.2	
合計	1,435	100.0	

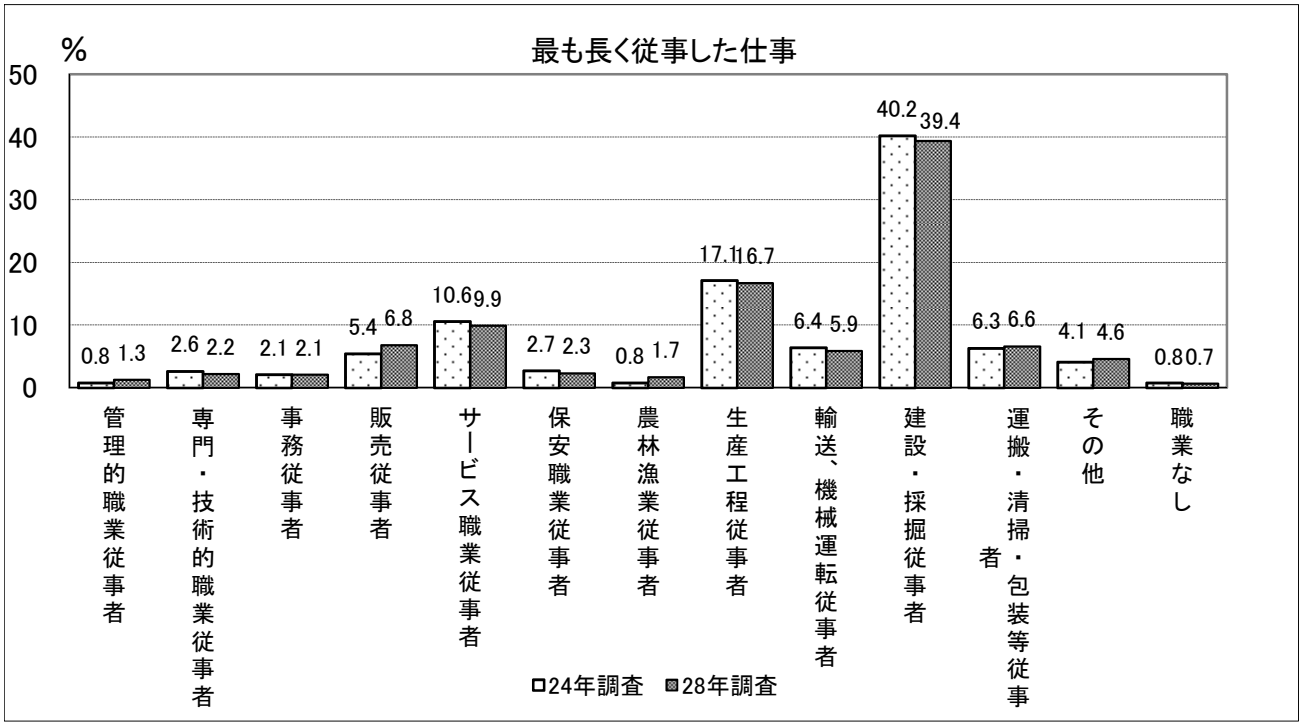


2 最も長く従事した仕事、その時の従業上の地位、住居形態、地域

最も長く従事した仕事については、「建設・採掘従事者」が560人（39.4%）で建設行関係が約4割となっており、次いで「生産工程従事者」が237人（16.7%）、「サービス職業従事者」が140人（9.9%）となっている（表12）。

表12 問12 これまで一番長くやっていた仕事は何ですか。（主な仕事）

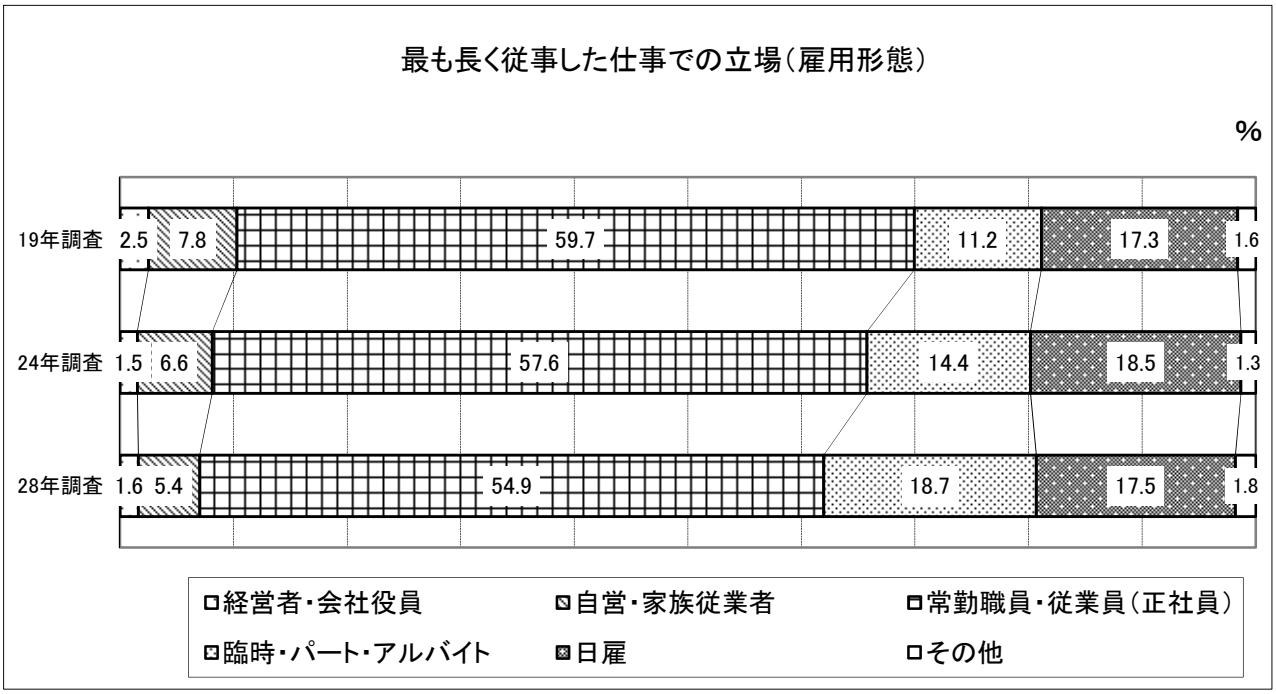
	人	%	有効%
01. 管理的職業従事者	18	1.3	1.3
02. 専門・技術的職業従事者	31	2.2	2.2
03. 事務従事者	30	2.1	2.1
04. 販売従事者	96	6.7	6.8
05. サービス職業従事者	140	9.8	9.9
06. 保安職業従事者	32	2.2	2.3
07. 農林漁業従事者	24	1.7	1.7
08. 生産工程従事者	237	16.5	16.7
09. 輸送、機械運転従事者	84	5.9	5.9
10. 建設・採掘従事者	560	39.0	39.4
11. 運搬・清掃・包装等従事者	94	6.6	6.6
12. その他	65	4.5	4.6
13. 職業なし	10	0.7	0.7
有効回答数	1,421	99.0	100.0
無回答	14	1.0	
合計	1,435	100.0	



また、その時の従業上の地位については、「常勤職員・従業員（正社員）」が770人（54.9%）と最も多く、次いで「臨時・パート・アルバイト」が262人（18.7%）、「日雇」が246人（17.5%）となっている（表12-1）。

表12-1　問12-1　問12で「01」～「12」と答えた方について、その仕事をしているときは、どのような立場で働いていましたか。

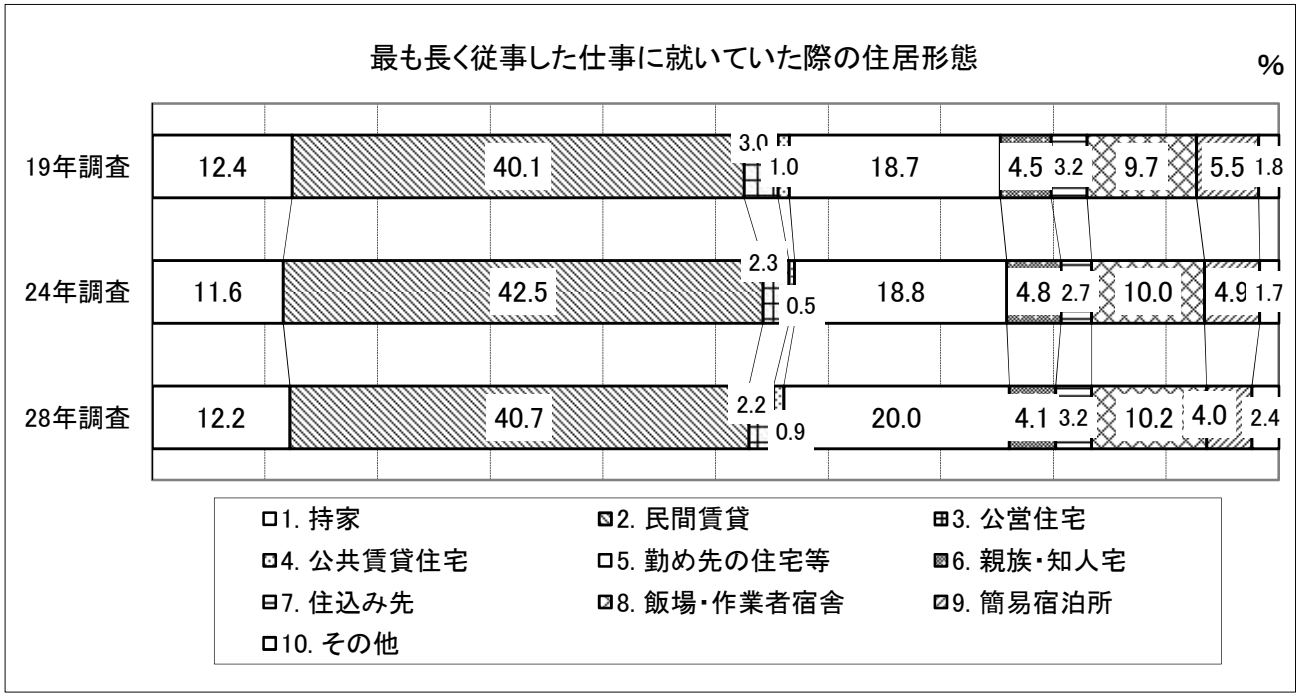
	人	%	有効%
1. 経営者・会社役員	23	1.6	1.6
2. 自営・家族従業者	76	5.3	5.4
3. 常勤職員・従業員（正社員）	770	53.7	54.9
4. 臨時・パート・アルバイト	262	18.3	18.7
5. 日雇	246	17.1	17.5
6. その他	25	1.7	1.8
有効回答数	1,402	97.7	100.0
無回答	9	0.6	
非該当	24	1.7	
合計	1,435	100.0	



最も長く従事した仕事に就いていた際の住居形態については、「民間賃貸住宅」が570人（40.7%）、「勤め先の住宅や寮」が280人（20.0%）、「持家」が171人（12.2%）となっている（表13）。

表13　問13　これまで一番長く仕事を行っていた際に、住んでいたのはどこですか。1つ選んでください。

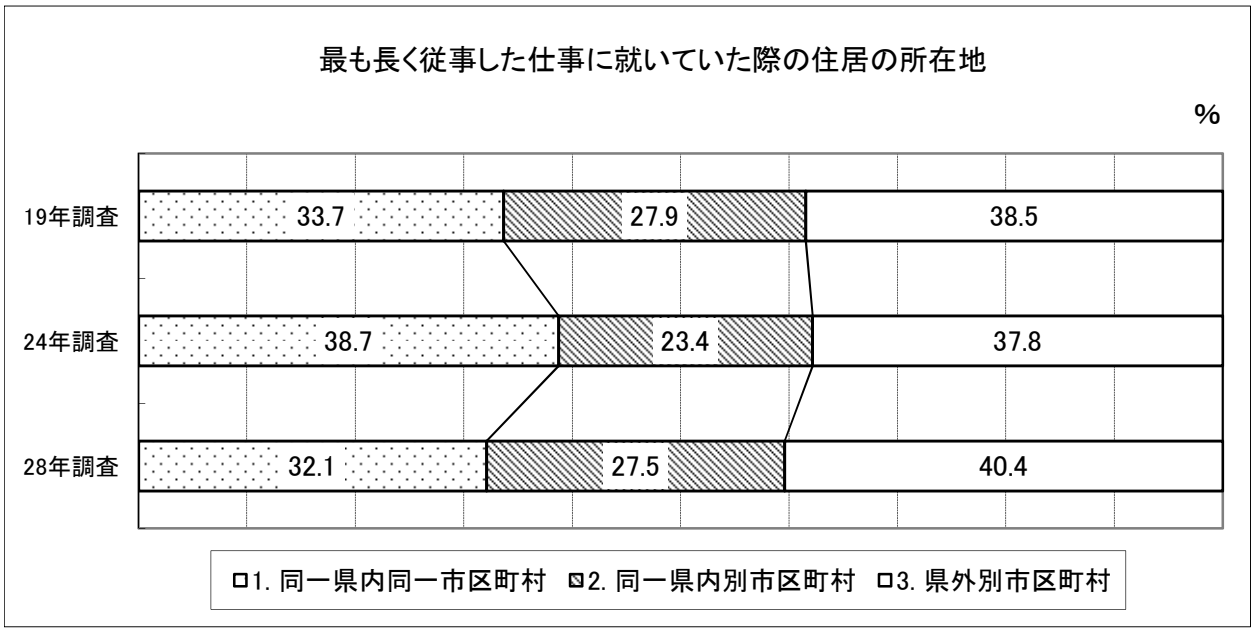
	人	%	有効%
1. 持家（一戸建て、マンションなど）	171	11.9	12.2
2. 民間賃貸住宅（アパート・マンション）	570	39.7	40.7
3. 公営住宅	31	2.2	2.2
4. 公営住宅以外の公共賃貸住宅（都市機構賃貸住宅（旧公団賃貸住宅）等）	13	0.9	0.9
5. 勤め先の社宅や寮	280	19.5	20.0
6. 親族・知人宅	57	4.0	4.1
7. 住込み先	45	3.1	3.2
8. 飯場・作業者宿舎（飯場など現場に仮設された宿舎）	142	9.9	10.2
9. 簡易宿泊所（ドヤ）	56	3.9	4.0
10. その他	34	2.4	2.4
有効回答数	1,399	97.5	100.0
無回答	12	0.8	
非該当	24	1.7	
合計	1,435	100.0	



最も長く従事した仕事に就いていた際に住んでいた地域については、「現在路上（野宿）生活している都道府県外の市区町村」が561人（40.4%）、それ以外が826人（59.6%）となっている（表14）。

表14　問14　これまで一番長く仕事を行っていた際に、住んでいた地域はどこですか。

	人	%	有効%
1. 現在路上（野宿）生活している都道府県内の同じ市区町	445	31.0	32.1
2. 現在路上（野宿）生活している都道府県内の別の市区町	381	26.6	27.5
3. 現在路上（野宿）生活している都道府県外の市区町村	561	39.1	40.4
有効回答数	1,387	96.7	100.0
無回答	24	1.7	
非該当	24	1.7	
合計	1,435	100.0	

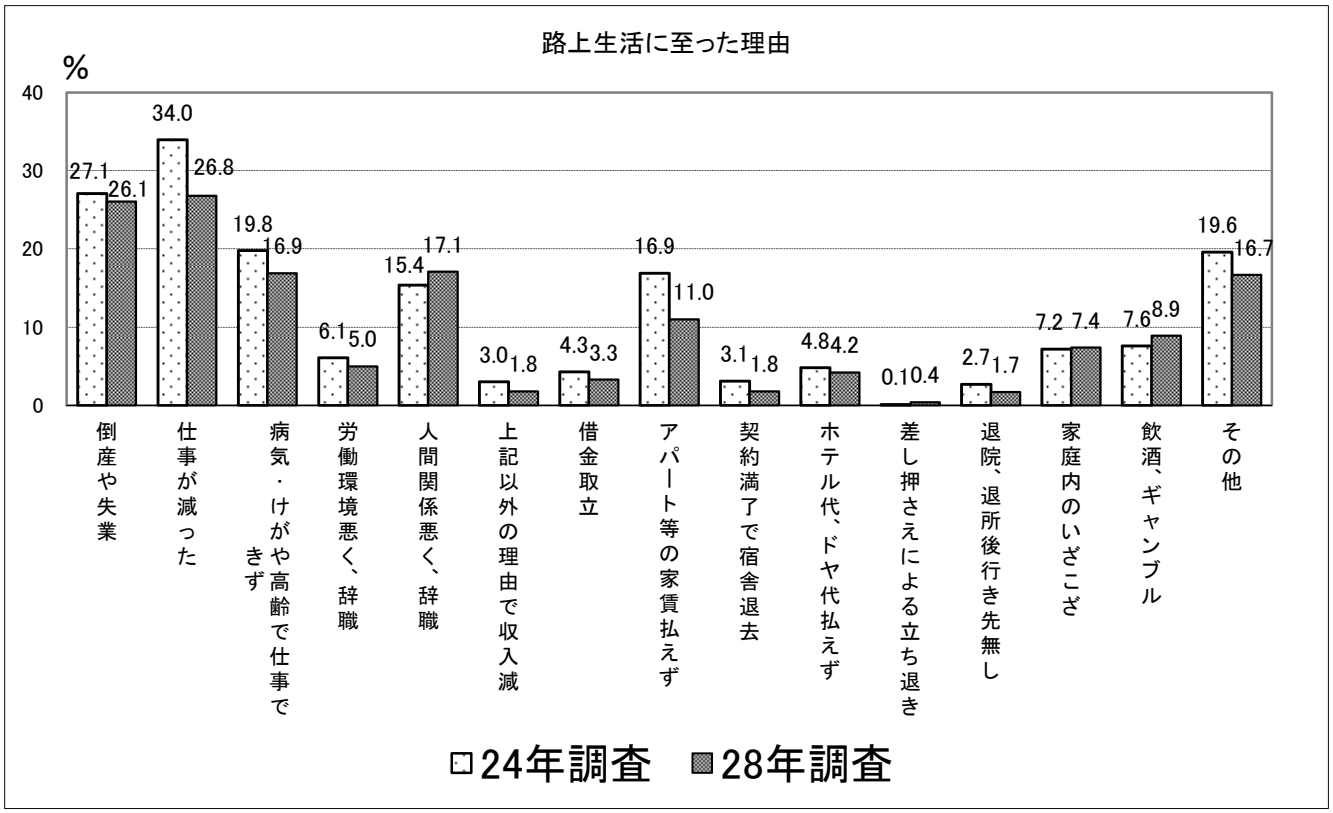


3 路上(野宿)生活になった理由

路上(野宿)生活になった理由については、「仕事が減った」が379人(26.8%)と最も多く、次いで「倒産・失業」が369人(26.1%)、「人間関係がうまくいかなくて、仕事を辞めた」が242人(17.1%)、「病気・けが・高齢で仕事ができなくなった」が240人(16.9%)となっている(表15)。

表15 問15 今回の路上(野宿)生活をするようになった主な理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで下さい。

(複数回答)	人	回答%	ケース%
01. 倒産・失業	369	17.5	26.1
02. 仕事が減った	379	18.0	26.8
03. 病気・けが・高齢で仕事ができなくなった	240	11.4	16.9
04. 労働環境が劣悪なため、仕事を辞めた	71	3.4	5.0
05. 人間関係がうまくいかなくて、仕事を辞めた	242	11.5	17.1
06. 上記以外の理由で収入が減った	25	1.2	1.8
07. 借金取立により家を出た	47	2.2	3.3
08. アパート等の家賃が払えなくなった	156	7.4	11.0
09. 契約期間満了で宿舎を出た	25	1.2	1.8
10. ホテル代、ドヤ代が払えなくなった	60	2.8	4.2
11. 差し押さえによって立ち退きさせられた	5	0.2	0.4
12. 病院や施設などから出た後行き先がなくなった	24	1.1	1.7
13. 家庭内のいざこざ	105	5.0	7.4
14. 飲酒、ギャンブル	126	6.0	8.9
15. その他	236	11.2	16.7
有効回答数	2,110	100.0	149.0
有効回答者数	1,416	98.7	
無回答	19	1.3	
合計	1,435	100.0	

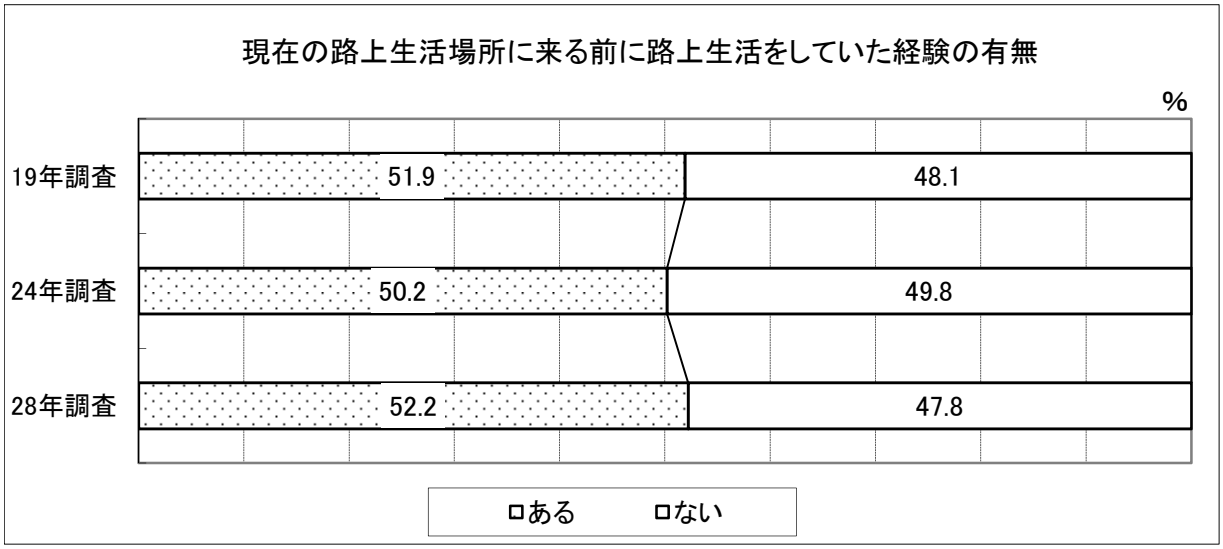


4 路上(野宿)生活をしてからの移動

現在、路上(野宿)生活をしている場所にくる前に、別の場所での路上(野宿)生活経験の有無については、「ある」が741人(52.2%)、「ない」が679人(47.8%)となっている(表16)。

表16 問16 現在の路上(野宿)生活場所にくる前に、別の場所で路上(野宿)生活をしていたことがありますか。

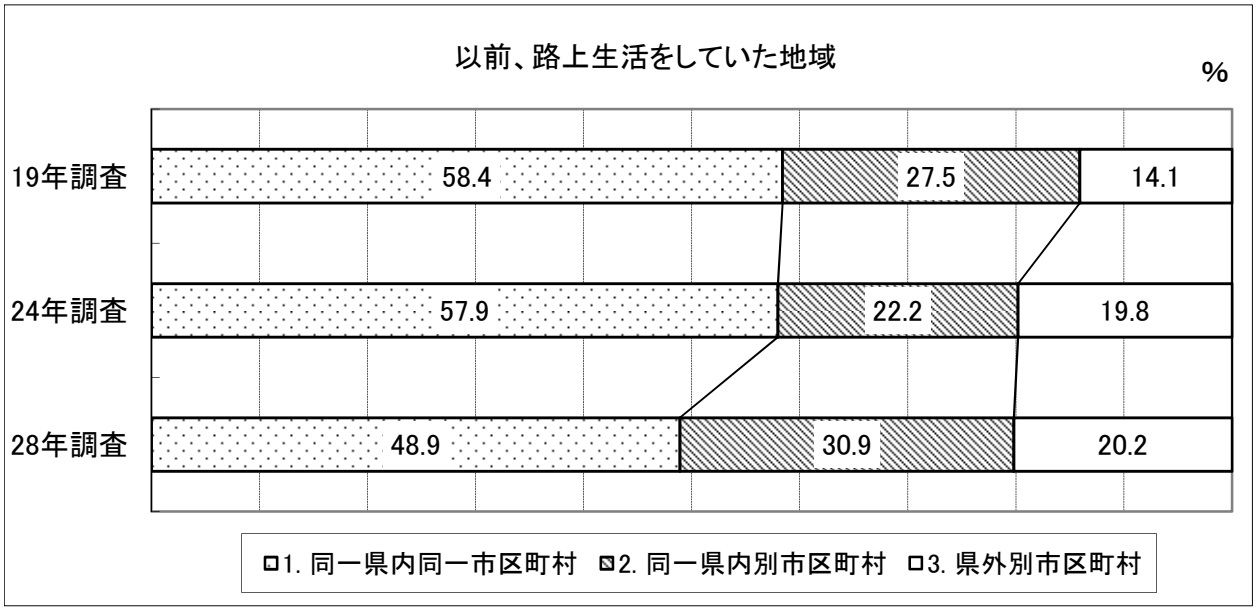
	人	%	有効%
1. ある	741	51.6	52.2
2. ない	679	47.3	47.8
有効回答数	1,420	99.0	100.0
無回答	15	1.0	
合計	1,435	100.0	



また、その場所については、「現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の同じ市区町村」が361人（48.9%）、それ以外が377人（51.1%）となっている（表16-1）。

表16-1　問16-1　問16で「1.ある」と答えた方について、その場所はどこですか。

	人	%	有効%
1. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の同じ市区町	361	25.2	48.9
2. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内の別の市区町	228	15.9	30.9
3. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県外の市区町村	149	10.4	20.2
有効回答数	738	51.4	100.0
無回答	3	0.2	
非該当	694	48.4	
合計	1,435	100.0	

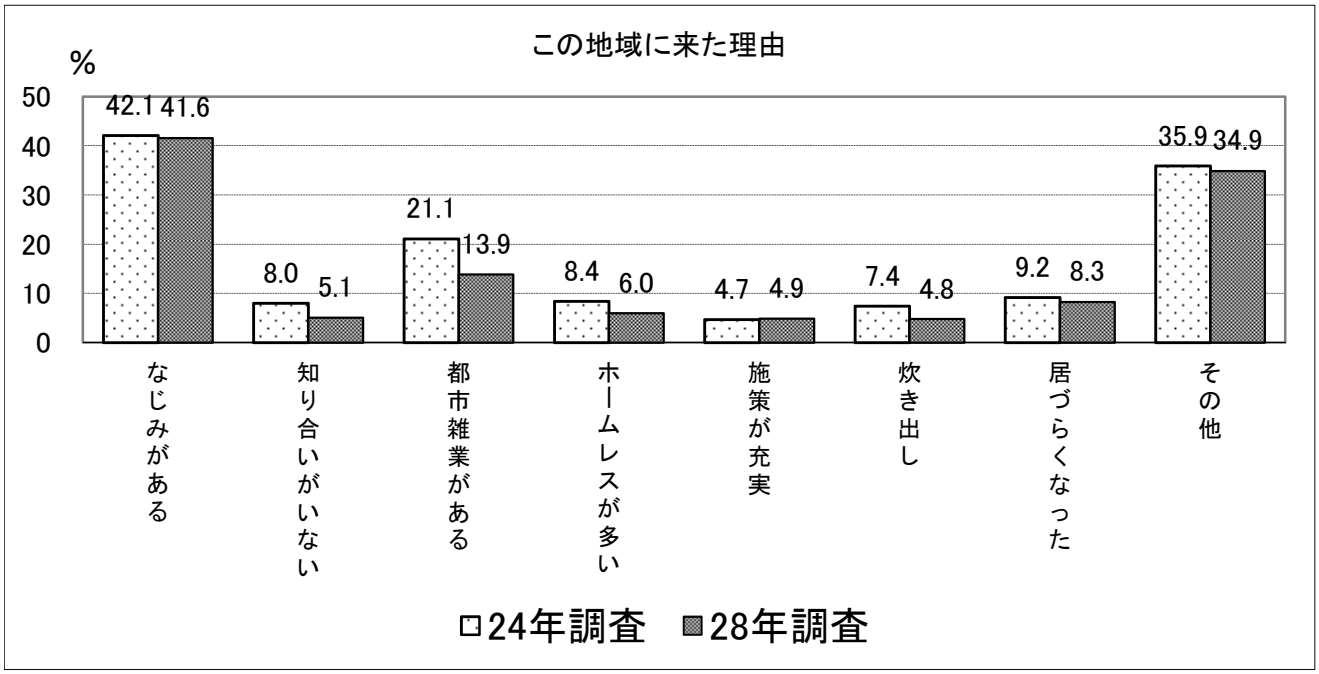


５ 路上（野宿）生活をしている場所に来た理由

現在、路上（野宿）生活をしている場所に来た理由については、「以前住んでいたり、仕事があったりで、なじみがある」が583人（41.6%）と最も多く、次いで「収入を得られるような仕事（アルミ缶、段ボール集め、建設現場での日雇い労働など）がある」が195人（13.9%）、「前いた場所に居づらくなった」が116人（8.3%）となっている（表17）。

表17 問17 現在路上生活をしているこの市区町村に来た主な理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

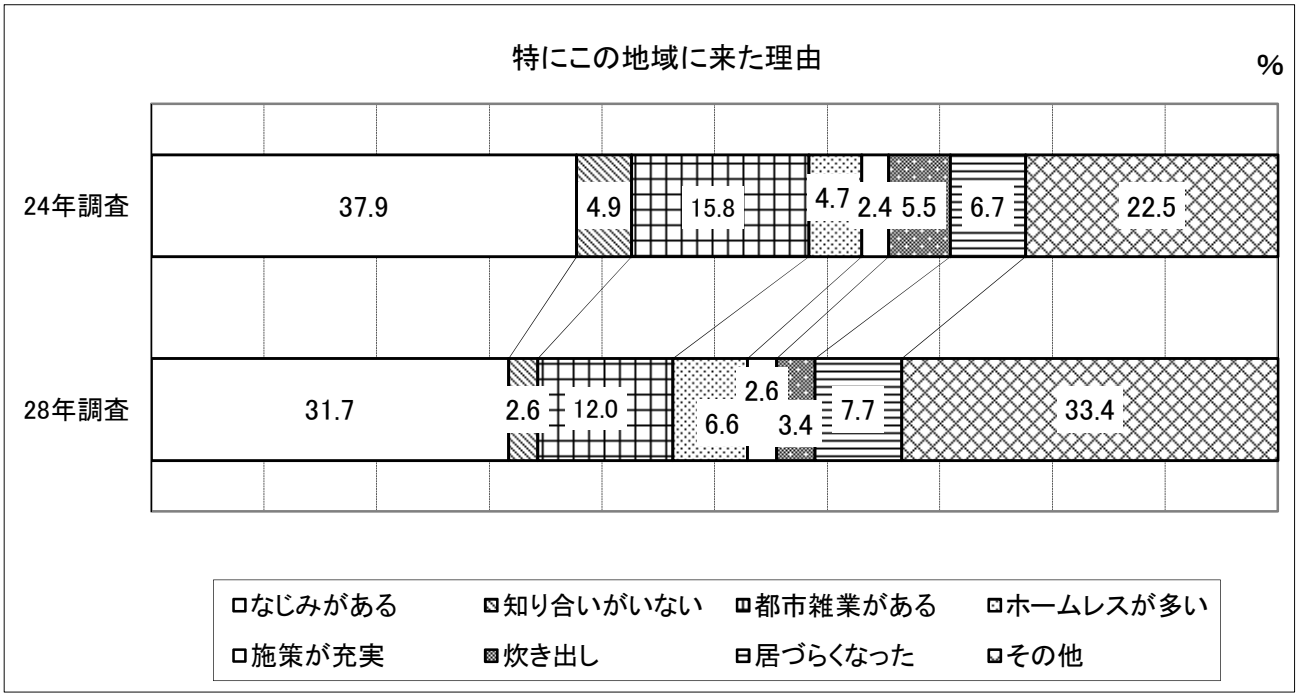
（複数回答）	人	回答%	ケース%
1. 以前住んでいたり、仕事があったりで、なじみがある	583	34.8	41.6
2. 以前の知り合いが誰もいなそうである	71	4.2	5.1
3. 収入を得られるような仕事（アルミ缶、段ボール集め、建設現場での日雇い労働など）がある	195	11.7	13.9
4. ホームレスが多いと聞いた	84	5.0	6.0
5. ホームレスのための施策が充実していると聞いた（施設、住宅、パン券・ドヤ券、就労対策、その他）	69	4.1	4.9
6. ボランティア団体等による炊き出しがある	67	4.0	4.8
7. 前いた場所に居づらくなった	116	6.9	8.3
8. その他	488	29.2	34.9
有効回答数	1,673	100.0	119.5
有効回答者数	1,400	97.6	
無回答	35	2.4	
合計	1,435	100.0	



また、その中で特にあてはまるものも、「以前住んでいたり、仕事があったりで、なじみがある」が169人（31.7%）が多くなっている（表17-1）。

表17-1　また、特にあてはまるものに◎をつけてください。

	人	%	有効%
1. 以前住んでいたり、仕事があったりで、なじみがある	169	11.8	31.7
2. 以前の知り合いが誰もいなそうである	14	1.0	2.6
3. 収入を得られるような仕事（アルミ缶、段ボール集め、建設現場での日雇い労働など）がある	64	4.5	12.0
4. ホームレスが多いと聞いた	35	2.4	6.6
5. ホームレスのための施策が充実していると聞いた（施設、住宅、パン券・ドヤ券、就労対策、その他）	14	1.0	2.6
6. ボランティア団体等による炊き出しがある	18	1.3	3.4
7. 前いた場所に居づらくなった	41	2.9	7.7
8. その他	178	12.4	33.4
有効回答数	533	37.1	100.0
無回答	902	62.9	
合計	1,435	100.0	

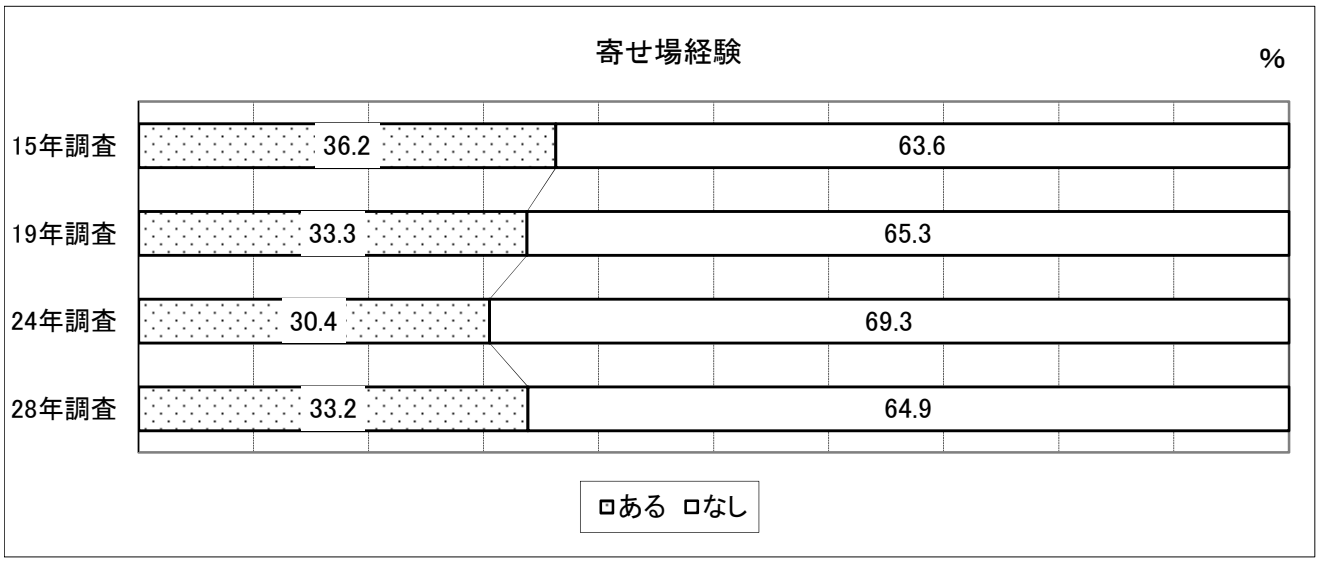


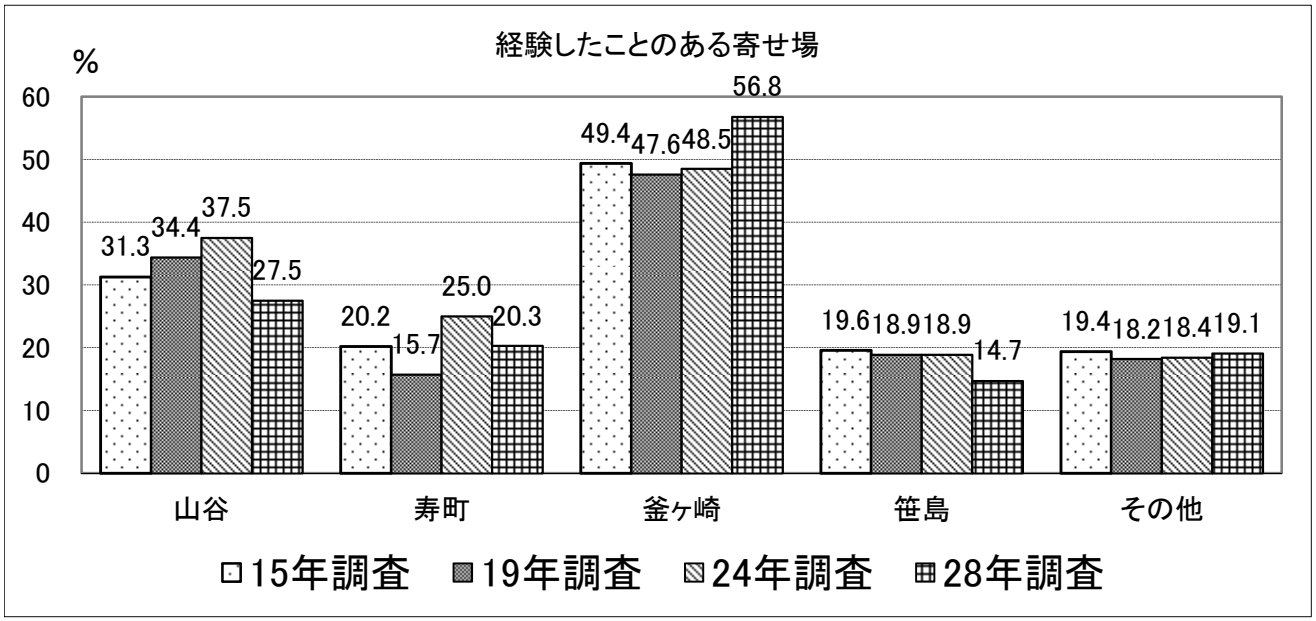
６　特定地域・場所での就労・求職状況

下記の特定地域・場所での就労・求職状況については、477人（33.2%）が就労又は求職を行っている（表18）。

表18　問18　これまでに東京・山谷、横浜・寿町、大阪・釜ヶ崎、名古屋・笹島などで、仕事をしたり仕事を探したことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

（複数回答）	人	回答%	ケース%
1. 山谷（東京）	131	19.8	27.5
2. 寿町	97	14.7	20.3
3. 釜ヶ崎	271	41.1	56.8
4. 笹島	70	10.6	14.7
5. その他の寄せ場	91	13.8	19.1
有効回答数	660	100.0	138.4
有効回答者数	477	33.2	
なし	931	64.9	
無回答	27	1.9	
合計	1,435	100.0	





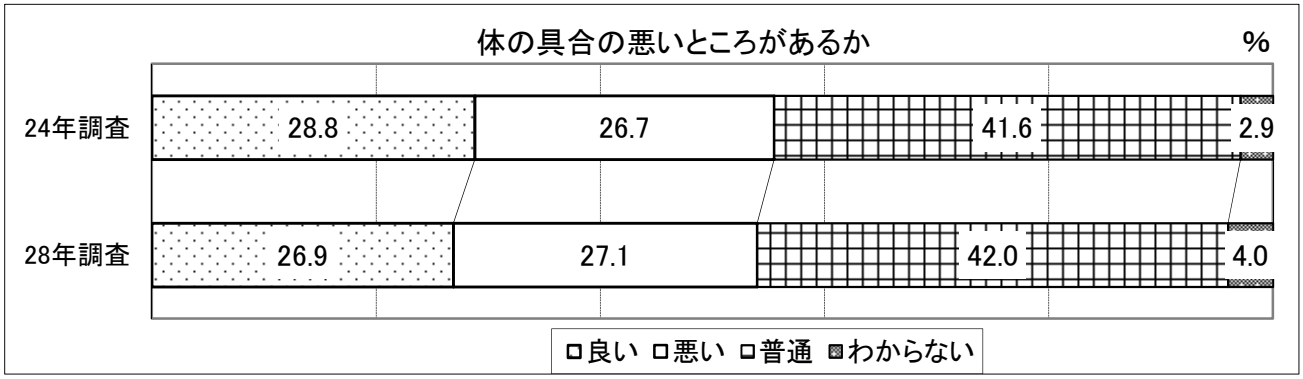
第4章　健康状態

1　健康状態

現在の健康状態について、健康状態が「良い」と回答した者が383人（26.9%）、「悪い」と回答した者が387人（27.1%）となっており、回答者の約3割がどこか身体の具合が悪いと感じている（表19）。

表19　問19　現在、健康状態はどうですか。

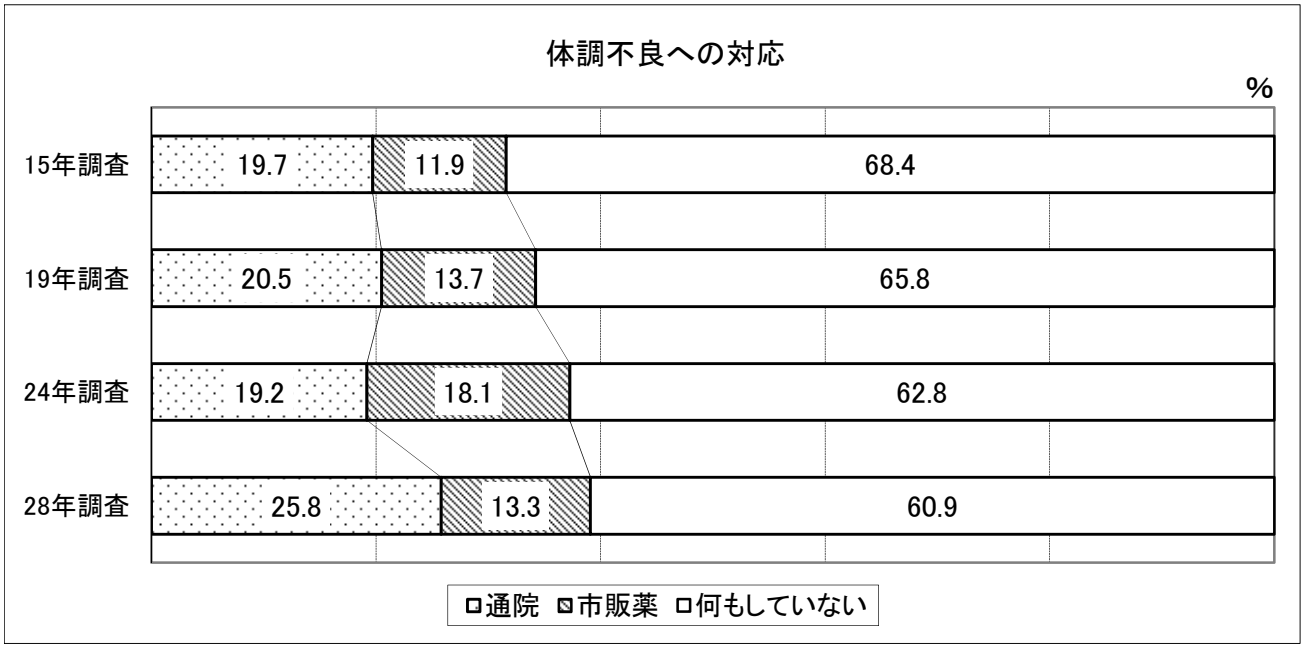
	人	%	有効%
1. 良い	383	26.7	26.9
2. 悪い	387	27.0	27.1
3. 普通	599	41.7	42.0
4. わからない	57	4.0	4.0
有効回答数	1,426	99.4	100.0
無回答	9	0.6	
合計	1,435	100.0	



また、「悪い」と回答した者のうち、「通院」、「市販薬」などで対処している者が147人（39.1%）と約4割であり、何もしていない者が229人（60.9%）で約6割となっている（表19-1）。

表19-1　問19-1　問19で「2.悪い」と答えた方について、どのような対処をしていますか。

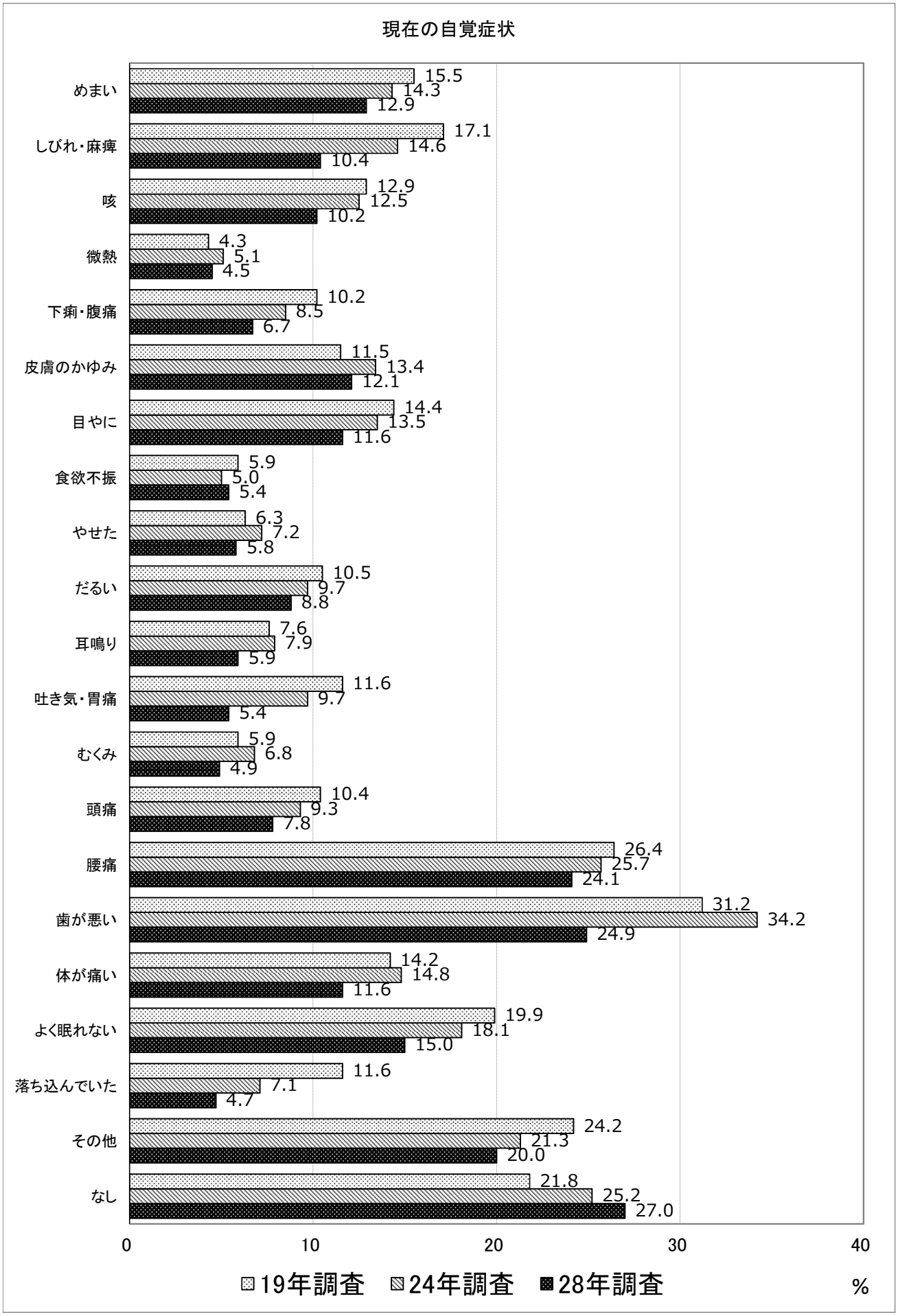
	人	%	有効%
1. 通院	97	6.8	25.8
2. 市販薬	50	3.5	13.3
3. 何もしていない	229	16.0	60.9
有効回答数	376	26.2	100.0
無回答	11	0.8	
非該当	1,048	73.0	
合計	1,435	100.0	



次に具体的な自覚症状については、「歯が悪い」が353人（24.9%）と最も多く、次いで「腰痛」が342人（24.1%）となっている。
一方、「なし」と回答した者は、383人（27.0%）となっている（表20）。

表20　問20　路上（野宿）生活している間（路上（野宿）生活の長い方はここ1年以内）で、次のような症状がありましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

（複数回答）	人	回答%	ケース%
01. めまい	183	5.4	12.9
02. しびれ・麻痺	147	4.3	10.4
03. 咳が続く	144	4.2	10.2
04. 微熱がつづく	64	1.9	4.5
05. ひどい下痢が続いた・激しい腹痛	95	2.8	6.7
06. 皮膚のかゆみや発疹	172	5.1	12.1
07. 目やにが出る・目がかすむ	164	4.8	11.6
08. 食欲不振	77	2.3	5.4
09. 急激にやせた	82	2.4	5.8
10. ひどくだるい	124	3.7	8.8
11. 耳鳴りがひどい	84	2.5	5.9
12. 吐き気・嘔吐・胃の痛み	76	2.2	5.4
13. むくみ	69	2.0	4.9
14. 頭痛	111	3.3	7.8
15. 腰痛	342	10.1	24.1
16. 歯が悪い	353	10.4	24.9
17. 体の節々が痛む	165	4.9	11.6
18. よく眠れない日が続いた	212	6.2	15.0
19. 2週間以上毎日のように落ち込んでいた時期があった	66	1.9	4.7
20. その他	284	8.4	20.0
21. なし	383	11.3	27.0
有効回答数	3,397	100.0	239.7
有効回答者数	1,417	98.7	
無回答	18	1.3	
合計	1,435	100.0	

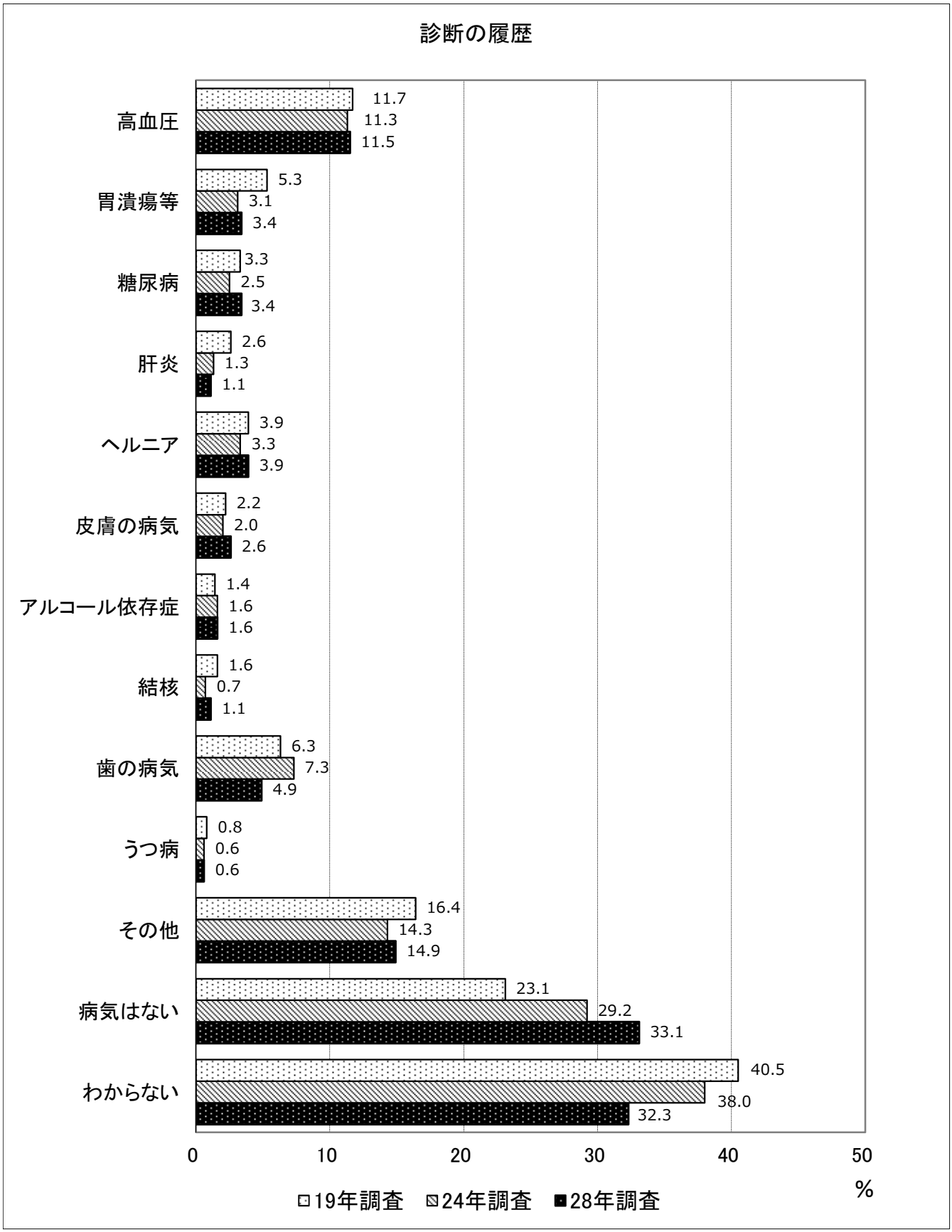

現在の自覚症状
めまい 15.5 14.3 12.9
しびれ・麻痺 17.1 14.6 10.4
咳 12.9 12.5 10.2
微熱 4.3 5.1 4.5
下痢・腹痛 10.2 8.5 6.7
皮膚のかゆみ 11.5 13.4 12.1
目やに 14.4 13.5 11.6
食欲不振 5.9 5.0 5.4
やせた 6.3 7.2 5.8
だるい 10.5 9.7 8.8
耳鳴り 7.6 7.9 5.9
吐き気・胃痛 11.6 9.7 5.4
むくみ 5.9 6.8 4.9
頭痛 10.4 9.3 7.8
腰痛 26.4 25.7 24.1
歯が悪い 31.2 34.2 24.9
体が痛い 14.2 14.8 11.6
よく眠れない 19.9 18.1 15.0
落ち込んでいた 11.6 7.1 4.7
その他 24.2 21.3 20.0
なし 21.8 25.2 27.0
0 10 20 30 40
19年調査 24年調査 28年調査
%

路上（野宿）生活をしてから具体的に診断された病気については、「高血圧」が163人（11.5%）で最も多くなっている。

一方、「病気はない」と回答した者は468人（33.1%）、「受診していないので病気かどうかわからない」は457人（32.3%）となっている（表21）。

表21　問21　路上（野宿）生活をしてから、次のような病気であると診断されたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

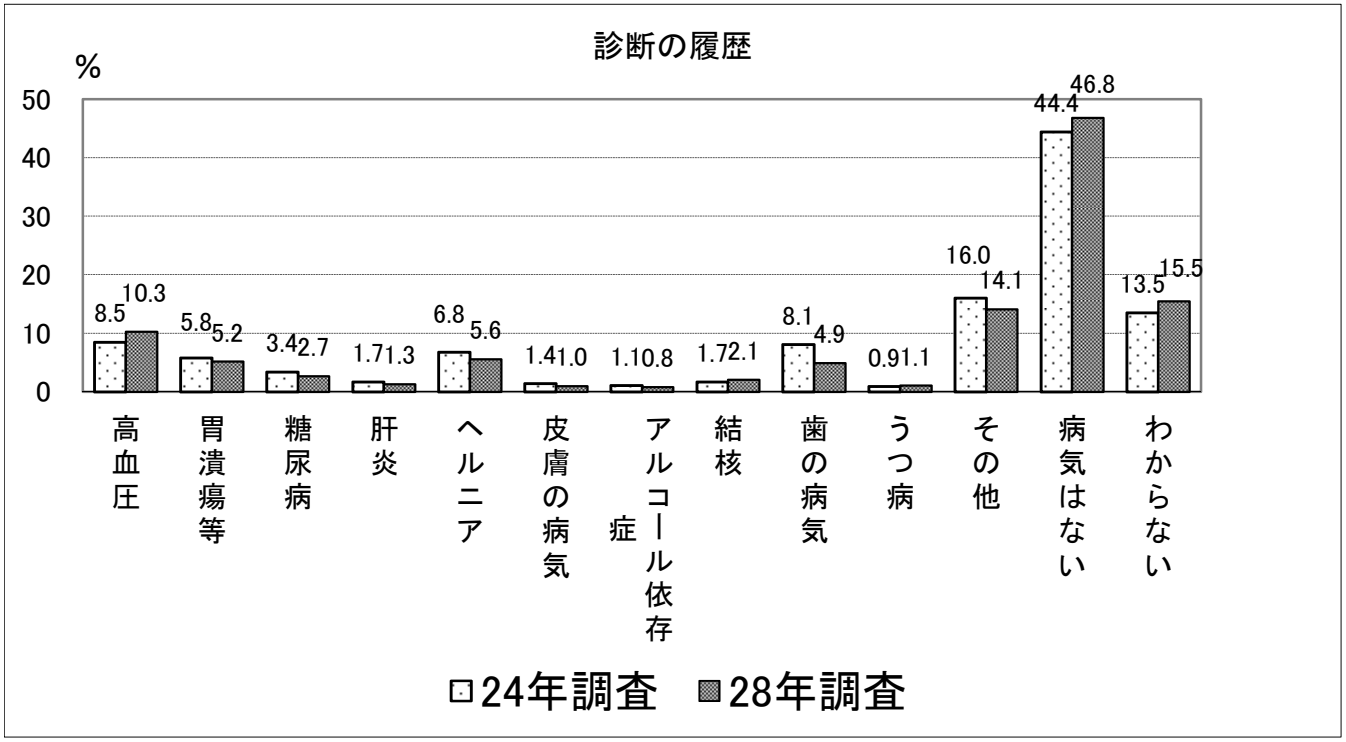
（複数回答）	人	回答%	ケース%
01. 高血圧	163	10.1	11.5
02. 胃・十二指腸潰瘍	48	3.0	3.4
03. 糖尿病	48	3.0	3.4
04. 肝炎	16	1.0	1.1
05. ヘルニア（腰痛等）	55	3.4	3.9
06. 皮膚の病気	37	2.3	2.6
07. アルコール依存症	23	1.4	1.6
08. 結核	15	0.9	1.1
09. 歯の病気（虫歯、歯槽膿漏等）	69	4.3	4.9
10. うつ病	9	0.6	0.6
11. その他	210	13.0	14.9
12. 病気はない	468	28.9	33.1
13. 受診していないので病気かどうかわからない	457	28.2	32.3
有効回答数	1,618	100.0	114.4
有効回答者数	1,414	98.0	
無回答	21	2.0	
合計	1,435	100.0	


診断の履歴
高血圧
11.7
11.3
11.5
胃潰瘍等
5.3
3.1
3.4
糖尿病
3.3
2.5
3.4
肝炎
2.6
1.3
1.1
ヘルニア
3.9
3.3
3.9
皮膚の病気
2.2
2.0
2.6
アルコール依存症
1.4
1.6
1.6
結核
1.6
0.7
1.1
歯の病気
6.3
7.3
4.9
うつ病
0.8
0.6
0.6
その他
16.4
14.3
14.9
病気はない
23.1
29.2
33.1
わからない
40.5
38.0
32.3
0
10
20
30
40
50
%
19年調査
24年調査
28年調査

路上（野宿）生活をする前に具体的に診断された病気については、「高血圧」が145人（10.3%）と最も多くなっている。
一方、「病気はない」と回答した者は660人（46.8%）、「受診していないので病気かどうかわからない」は218人（15.5%）となっている（表22）。

表22　問22　路上（野宿）生活をする前から、次のような病気であると診断されたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

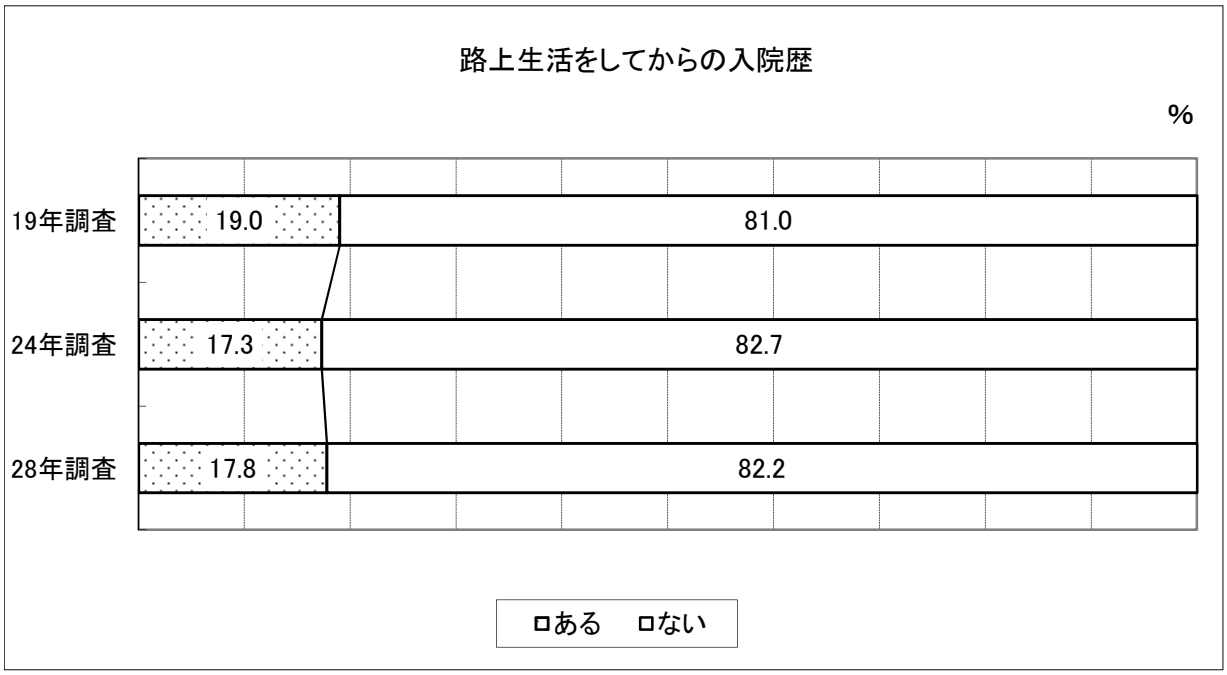
（複数回答）	人	回答%	ケース%
01. 高血圧	145	9.2	10.3
02. 胃・十二指腸潰瘍	73	4.6	5.2
03. 糖尿病	38	2.4	2.7
04. 肝炎	19	1.2	1.3
05. ヘルニア（腰痛等）	79	5.0	5.6
06. 皮膚の病気	14	0.9	1.0
07. アルコール依存症	11	0.7	0.8
08. 結核	29	1.8	2.1
09. 歯の病気（虫歯、歯槽膿漏等）	69	4.4	4.9
10. うつ病	16	1.0	1.1
11. その他	199	12.7	14.1
12. 病気はない	660	42.0	46.8
13. 受診していないので病気かどうかわからない	218	13.9	15.5
有効回答数	1,570	100.0	111.4
有効回答者数	1,409	98.0	
無回答	26	2.0	
合計	1,435	100.0	



路上（野宿）生活をしてからの入院経験については、「ある」が252人（17.8%）、「ない」が1,166人（82.2%）となっている（表23）。

表23　問23　路上（野宿）生活をしてから、入院したことはありますか。

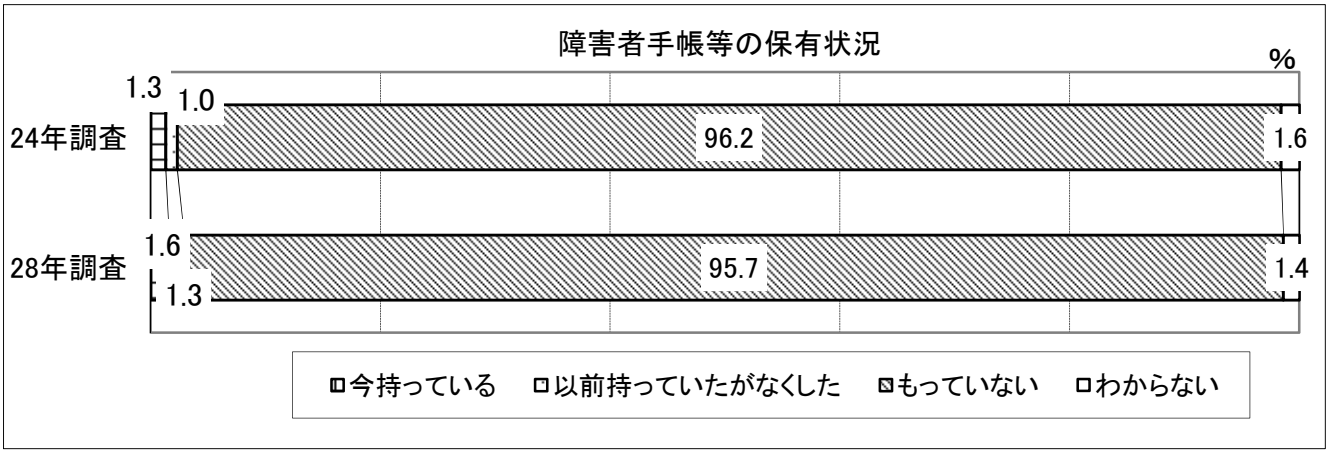
	人	%	有効%
1. ある	252	17.6	17.8
2. ない	1,166	81.3	82.2
有効回答数	1,418	98.8	100.0
無回答	17	1.2	
合計	1,435	100.0	



障害者手帳等の各種所持状況については、「持っていない」が1,351人（95.7%）と最も多くなっている（表24）。

表24　問24　身体障害者手帳や療育手帳（愛の手帳）、精神障害者保健福祉手帳など障害者の手帳を持っていますか。または持っていましたか。

	人	%	有効%
1. 今持っている	22	1.5	1.6
2. 以前持っていたがなくした	19	1.3	1.3
3. 持っていない	1,351	94.1	95.7
4. わからない	20	1.4	1.4
有効回答数	1,412	98.4	100.0
無回答	23	1.6	
合計	1,435	100.0	

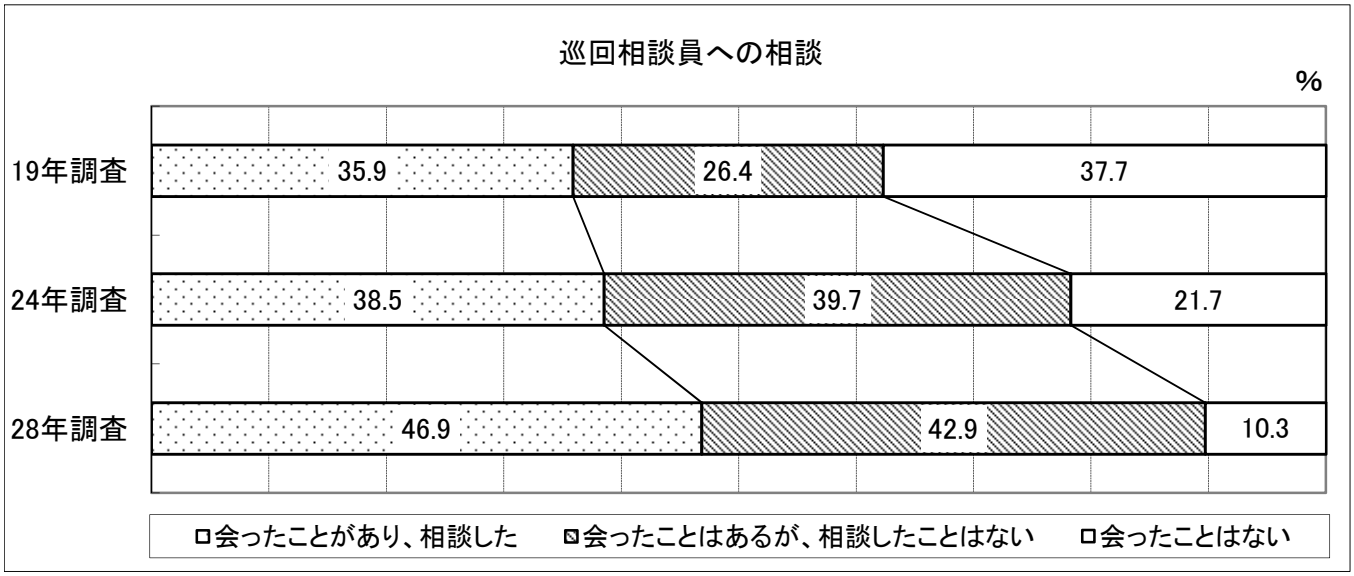


1　相談事業の利用

巡回相談への相談状況については、巡回相談員に「会ったことがあり、相談した」が663人（46.9%）、「会ったことはあるが、相談したことはない」が606人（42.9%）、「会ったことはない」が145人（10.3%）となっており、巡回相談員に会ったことがある者は1,269人（89.8%）で全体の約9割となっている（表25）。

表25　問25　巡回相談員に会ったことはありますか。

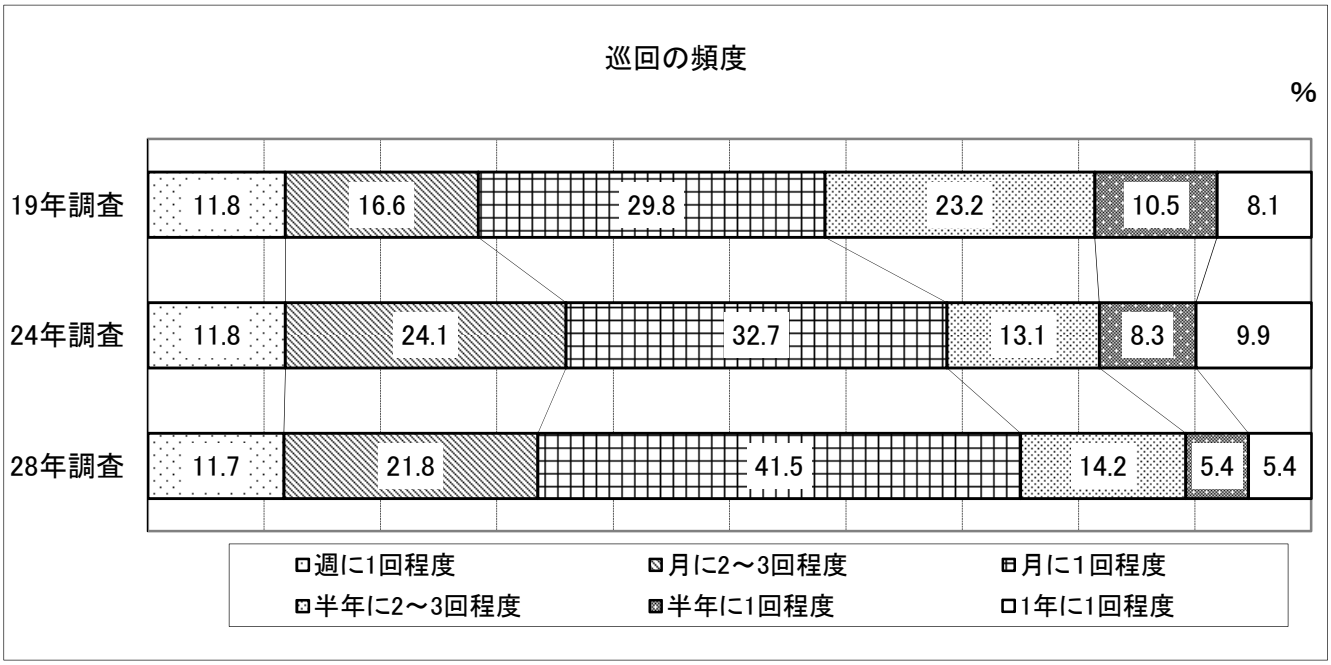
	人	%	有効%
1. 会ったことがあり、相談した	663	46.2	46.9
2. 会ったことはあるが、相談したことはない	606	42.2	42.9
3. 会ったことはない	145	10.1	10.3
有効回答数	1,414	98.5	100.0
無回答	21	1.5	
合計	1,435	100.0	



問25で「会ったことがあり、相談した」または「会ったことはあるが、相談したことはない」と回答した者が、どのくらいの頻度で巡回相談員に会っているかについては、「月に1回程度」が516人(41.5%)と最も多く、次いで「月に2～3回程度」が271人(21.8%)、「半年に2～3回程度」が177人(14.2%)となっている(表25-1)。

表25-1　問25-1　問25で「1.会ったことがあり、相談した」または「2. 会ったことはあるが、相談したことはない」と答えた方について、どのくらいの頻度で巡回してきますか。

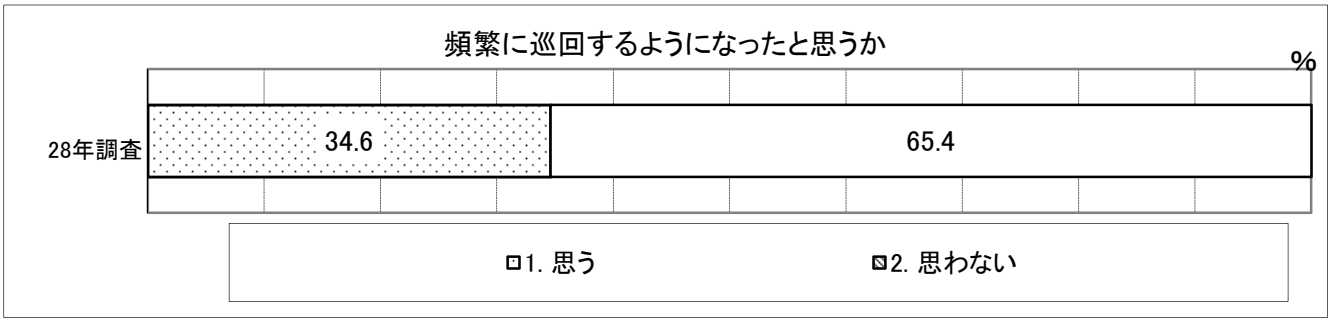
	人	%	有効%
1. 週に1回程度	146	10.2	11.7
2. 月に2～3回程度	271	18.9	21.8
3. 月に1回程度	516	36.0	41.5
4. 半年に2～3回程度	177	12.3	14.2
5. 半年に1回程度	67	4.7	5.4
6. 1年に1回程度	67	4.7	5.4
有効回答数	1,244	86.7	100.0
無回答	25	1.7	
非該当	166	11.6	
合計	1,435	100.0	



問25で「会ったことがあり、相談した」または「会ったことはあるが、相談したことはない」と回答した者が、ここ1年で、以前と比べて相談員が頻繁に巡回するようになったと思うかついては、「思う」が419人（34.6%）、「思わない」が792人（65.4%）となっている（表25-2）。

表25-2　問25-2　問25で「1.会ったことがあり、相談した」または「2. 会ったことはあるが、相談したことはない」と答えた方について、ここ1年で、以前と比べて相談員は頻繁に巡回するようになったと思いますか。

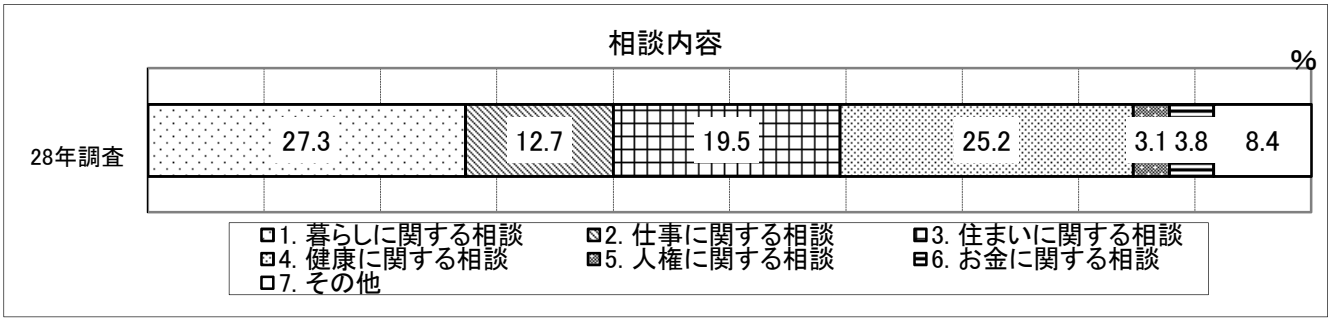
	人	%	有効%
1. 思う	419	29.2	34.6
2. 思わない	792	55.2	65.4
有効回答数	1,211	84.4	100.0
無回答	58	4.0	
非該当	166	11.6	
合計	1,435	100.0	



問25で「会ったことがあり、相談した」と回答した者が、どういう相談をしたかについては、「暮らしに関する相談」が325人（27.3%）、「健康に関する相談」が300人（25.2%）、「住まいに関する相談」が232人（19.5%）となっている（表25-3）。

表25-3　問25-3　問25で「1.会ったことがあり、相談した」と答えた方について、どういう相談をしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

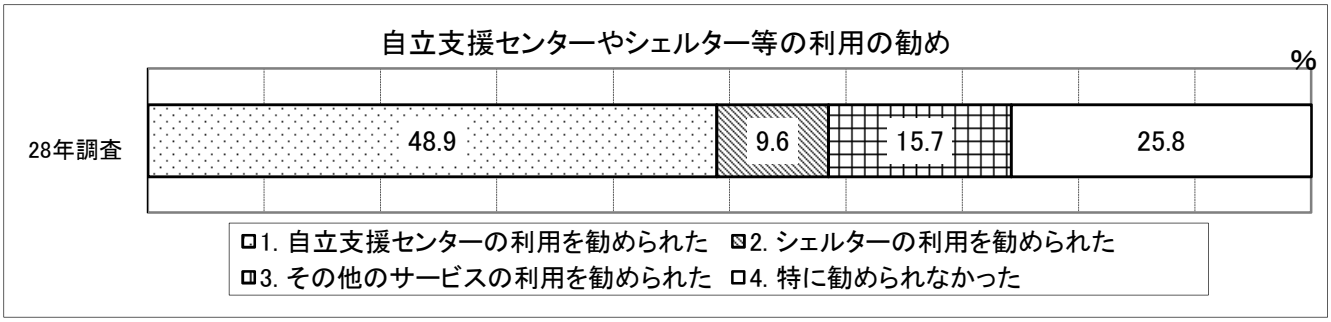
（複数回答）	人	回答%	ケース%
1. 暮らしに関する相談	325	22.6	27.3
2. 仕事に関する相談	151	10.5	12.7
3. 住まいに関する相談	232	16.2	19.5
4. 健康に関する相談	300	20.9	25.2
5. 人権に関する相談	37	2.6	3.1
6. お金に関する相談	45	3.1	3.8
7. その他	100	7.0	8.4
有効回答数	1,190	82.9	100.0
有効回答者数	653	45.5	
無回答	10	0.7	
非該当	772	53.8	
合計	1,435	100.0	



問25で「会ったことがあり、相談した」または「会ったことはあるが、相談したことはない」と回答した者が、その際に自立支援センターやシェルター等の利用を勧められたかについては、「自立支援センターの利用を勧められた」が606人（48.9%）、「シェルターの利用を勧められた」が119人（9.6%）となっている（表25-4）。

表25-4　問25-4　問25で「1.会ったことがあり、相談した」または「2. 会ったことはあるが、相談したことはない」と答えた方について、その際に自立支援センターやシェルター等の利用を勧められましたか。1つ選んでください。

	人	%	有効%
1. 自立支援センターの利用を勧められた	606	42.2	48.9
2. シェルターの利用を勧められた	119	8.3	9.6
3. その他のサービスの利用を勧められた	195	13.6	15.7
4. 特に勧められなかった	320	22.3	25.8
有効回答数	1,240	86.4	100.0
無回答	29	2.0	
非該当	166	11.6	
合計	1,435	100.0	

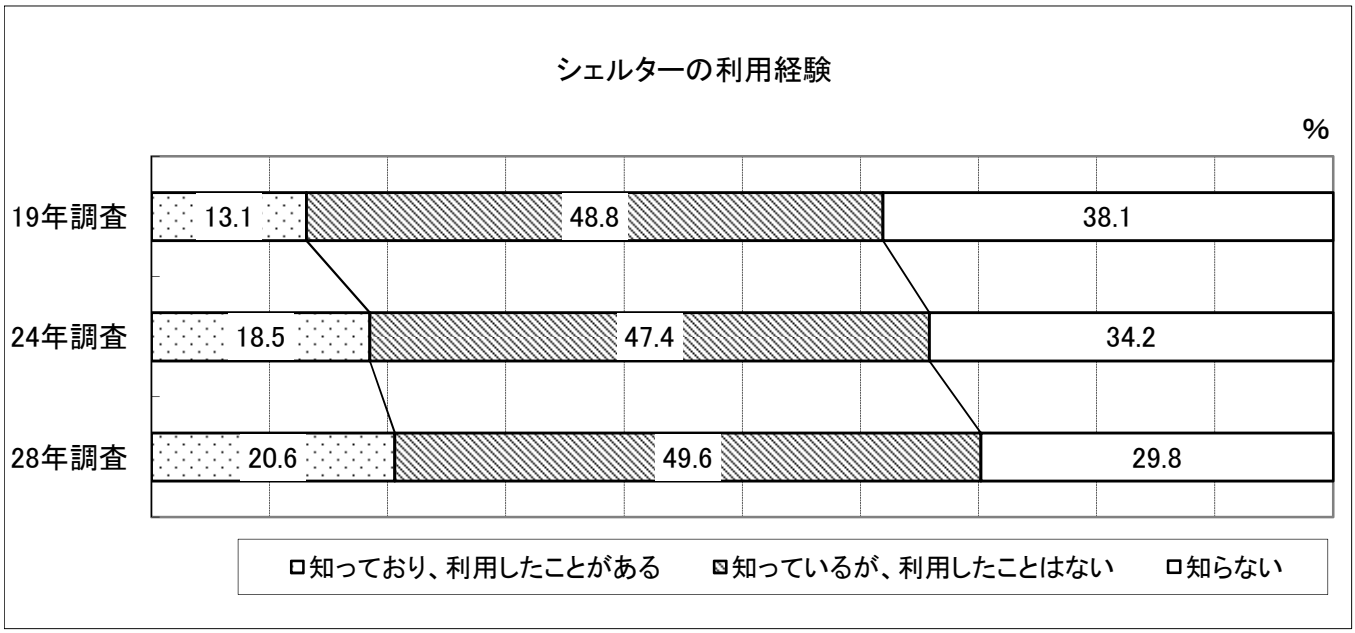


2 シェルターの利用

緊急的な一時宿泊場所であるシェルターの利用状況については、「知っており、利用したことがある」が287人（20.6%）、「知っているが、利用したことはない」が693人（49.6%）、「知らない」が416人（29.8%）となっており、シェルターを知っていると回答した者は980人（70.2%）で全体の約7割となっている（表26）。

表26 問26 緊急的な一時宿泊場所としてシェルターがありますが、この施設の内容を知っていますか。

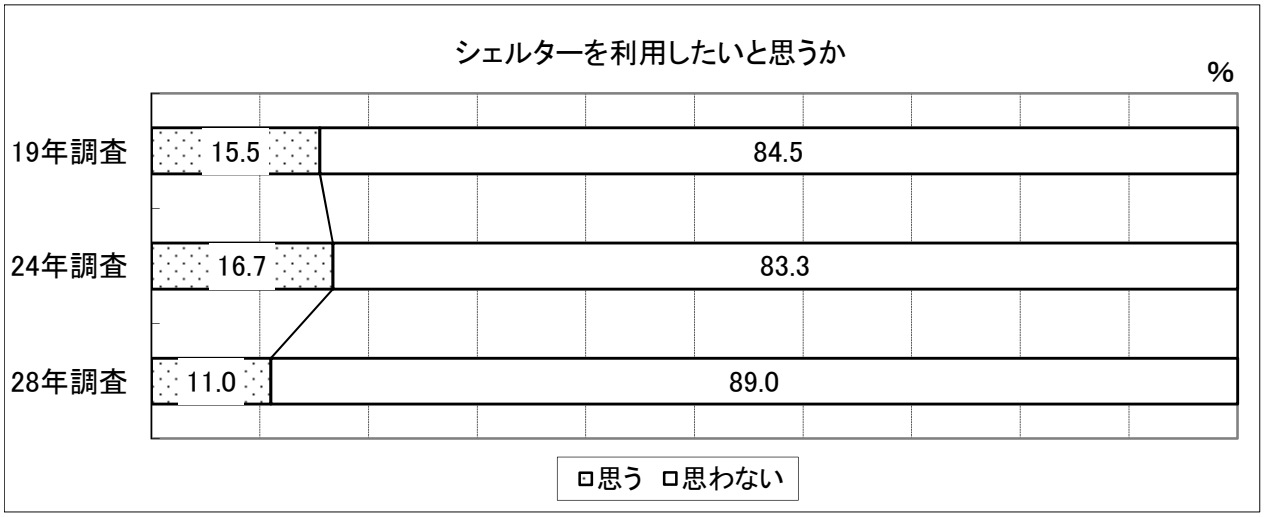
	人	%	有効%
1. 知っており、利用したことがある	287	20.0	20.6
2. 知っているが、利用したことはない	693	48.3	49.6
3. 知らない	416	29.0	29.8
有効回答数	1,396	97.3	100.0
無回答	39	2.7	
合計	1,435	100.0	



問26で「知っているが、利用したことはない」と回答した者が今後シェルターを利用したいと思うかについては、「思う」が76人（11.0%）、「思わない」が614人（89.0%）となっている（表26-1）。

表26-1　問26-1　問26で「2.知っているが、利用したことはない」と答えた方について、今後シェルターを利用したいと思いますか。

	人	%	有効%
1. 思う	76	5.3	11.0
2. 思わない	614	42.8	89.0
有効回答数	690	48.1	100.0
無回答	3	0.2	
非該当	742	51.7	
合計	1,435	100.0	

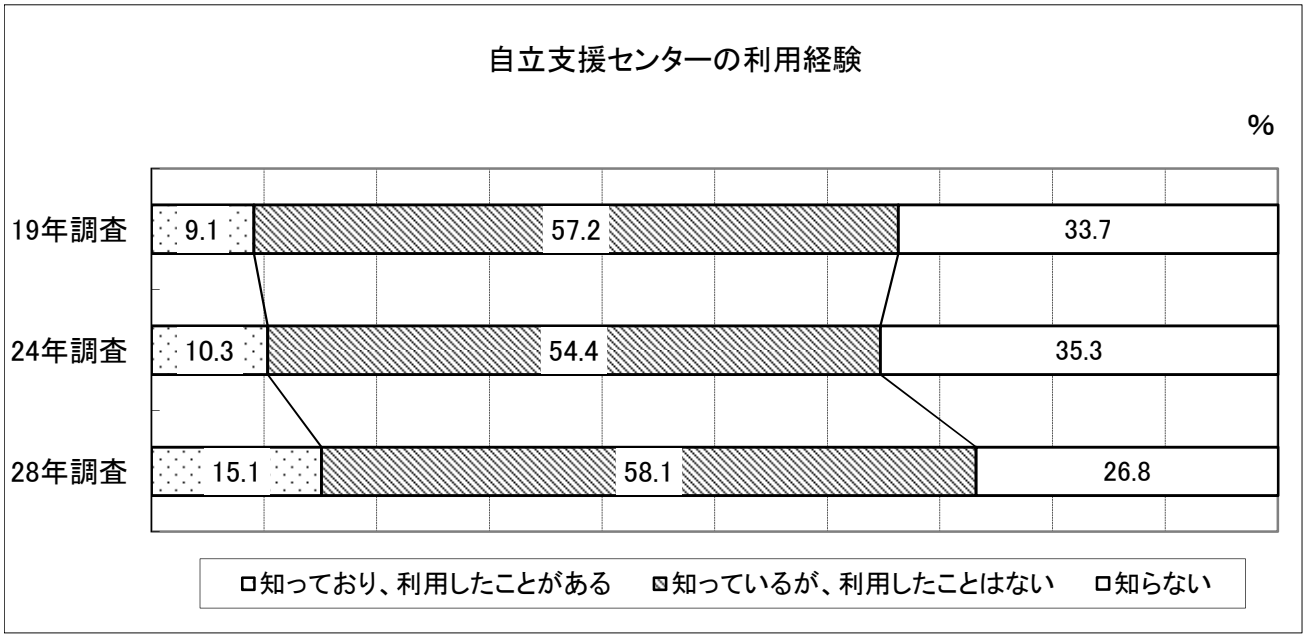


3 自立支援センターの利用

自立支援センターの利用状況については、「知っており、利用したことがある」が208人（15.1%）、「知っているが、利用したことはない」が803人（58.1%）、「知らない」が371人（26.8%）となっており、センターを知っていると回答した者は、1,011人（73.2%）と、全体の約7割に達している（表27）。

表27 問27 一定期間入所して、食事、健康管理、生活相談や職業相談を受け、就労による自立をするための施設（自立支援センター）がありますが、この施設の内容を知っていますか。

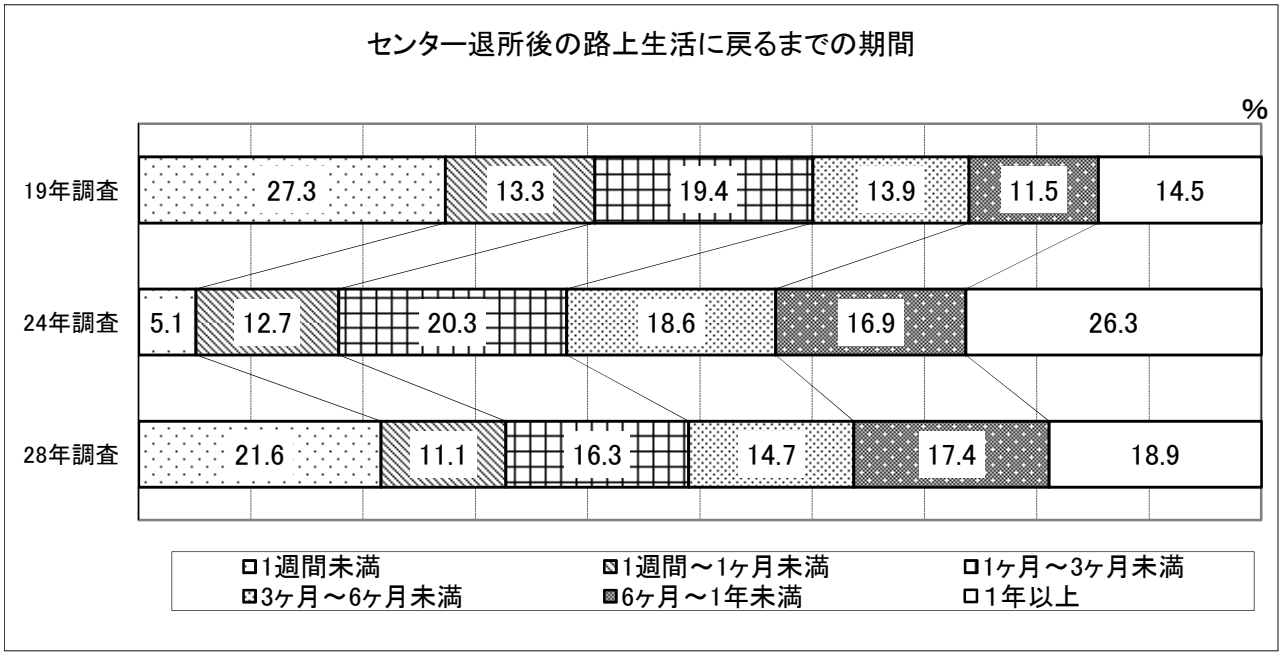
	人	%	有効%
1. 知っており、利用したことがある	208	14.5	15.1
2. 知っているが、利用したことはない	803	56.0	58.1
3. 知らない	371	25.9	26.8
有効回答数	1,382	96.3	100.0
無回答	53	3.7	
合計	1,435	100.0	



問27で「知っており、利用したことがある」と回答した者が自立支援センターを退所してから路上生活に戻るまでの期間については、「1週間未満」が41人（21.6%）と最も多く、次いで「1年以上」が36人（18.9%）となっている（表27-1）。

表27-1　問27-1　問27で「1.知っており、利用したことがある」と答えた方について、退所から路上生活に戻るまでの期間はどのくらいでしたか。

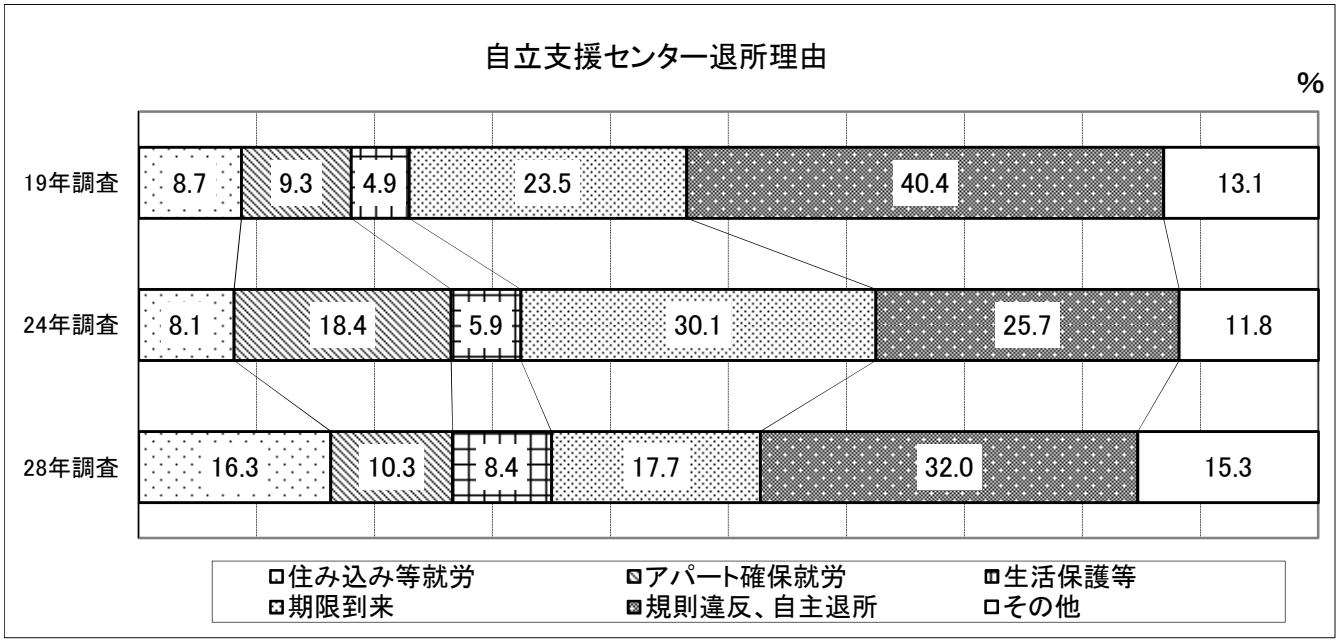
	人	%	有効%
1週間未満	41	2.9	21.6
1週間～1ヶ月未満	21	1.5	11.1
1ヶ月～3ヶ月未満	31	2.2	16.3
3ヶ月～6ヶ月未満	28	2.0	14.7
6ヶ月～1年未満	33	2.3	17.4
1年以上	36	2.5	18.9
有効回答数	190	13.2	100.0
無回答	18	1.3	
非該当	1,227	85.5	
合計	1,435	100.0	



また、問27で「知っており、利用したことがある」と回答した者が自立支援センターを退所した理由は、「期限到来前に規則違反、自主退所、無断退所により退所」が65人（32.0%）と最も多く、次いで「期限到来による退所」が36人（17.7%）となっている（表27-2）。

表27-2　問27-2　問27で「1.知っており、利用したことがある」と答えた方について、退所理由は何ですか。

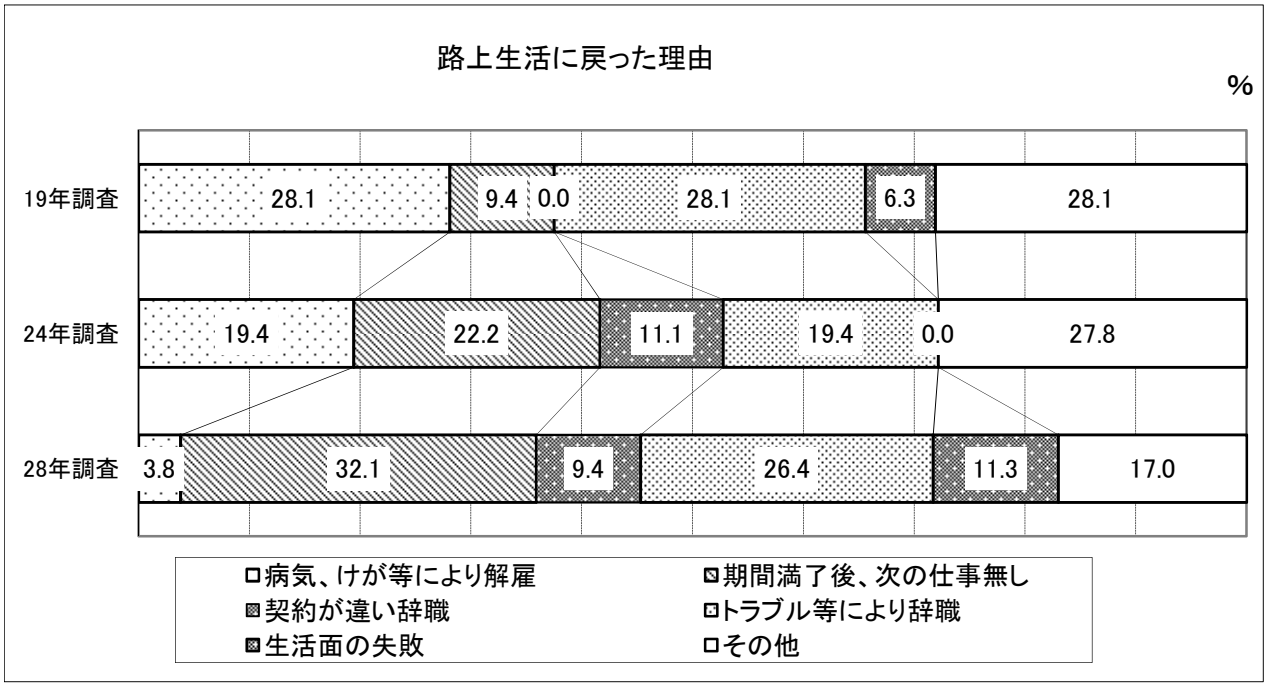
	人	%	有効%
1. 会社の寮、住み込み等による就労退所	33	2.3	16.3
2. アパートを確保しての就労退所	21	1.5	10.3
3. 生活保護の適用による入院、施設入所及びアパート等居宅の確保により退所	17	1.2	8.4
4. 期限到来により退所	36	2.5	17.7
5. 期限到来前に規則違反、自主退所、無断退所により退所	65	4.5	32.0
6. その他	31	2.2	15.3
有効回答数	203	14.1	100.0
無回答	5	0.3	
非該当	1,227	85.5	
合計	1,435	100.0	



問27-2で就労により退所(「会社の寮、住み込み等による就労退所」または「アパートを確保しての就労退所」)した者が路上生活に戻った理由については、「仕事の契約期間が満了したが、次の仕事が見つからなかった」が17人(32.1%)と最も多くなっている。

表27-3 問27-3 問27-2で「1. 会社の寮、住み込み等による就労退所」または「2. アパートを確保しての就労退所」と答えた方について、路上生活に戻った主な理由は何ですか。

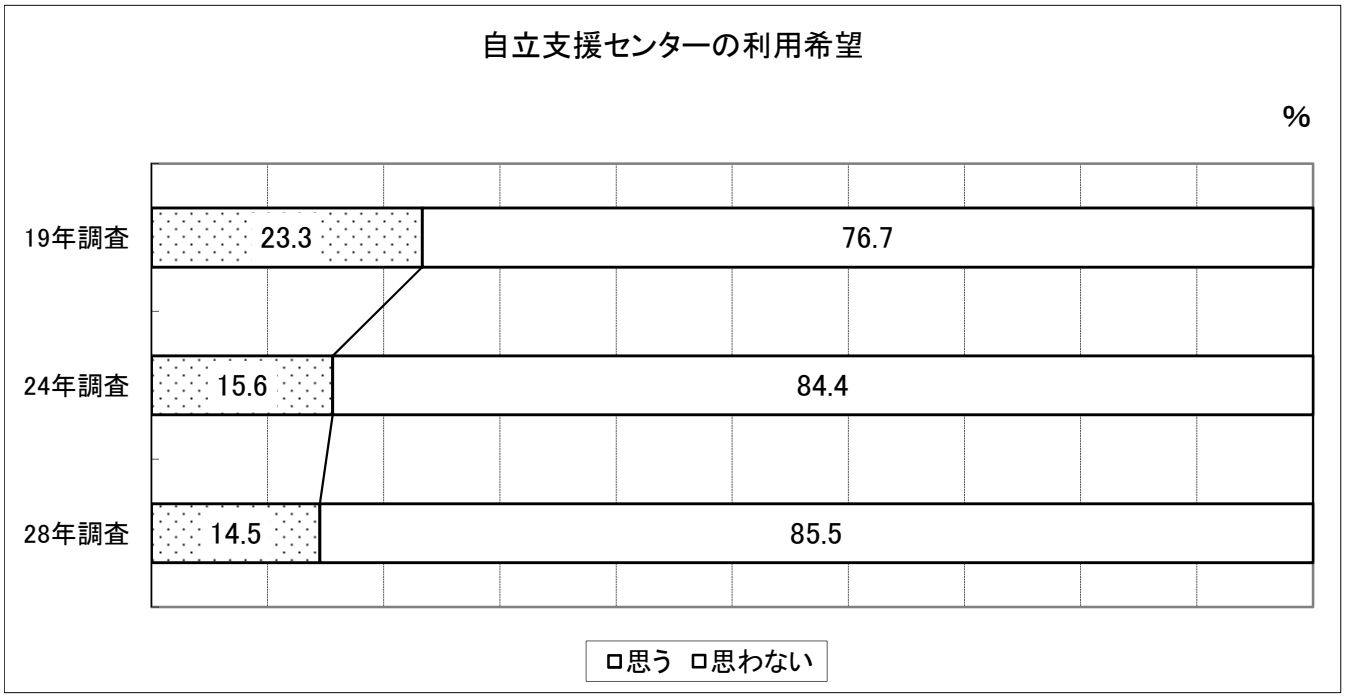
	人	%	有効%
1. 病気、けが、高齢等の理由で仕事を解雇された	2	0.1	3.8
2. 仕事の契約期間が満了したが、次の仕事が見つからなかった	17	1.2	32.1
3. 仕事の内容が聞いていたもの(雇用契約)と違い、自ら仕事を辞めた	5	0.3	9.4
4. 周囲とのトラブルや仕事になじめない等により、仕事を辞めた	14	1.0	26.4
5. 生活の面で失敗があった	6	0.4	11.3
6. その他	9	0.6	17.0
有効回答数	53	3.7	100.0
無回答	1	0.1	
非該当	1,381	96.2	
合計	1,435	100.0	



問27で「知っているが、利用したことはない」と回答した者が今後自立支援センターを利用したいと思うかについては、「思う」が115人（14.5%）、「思わない」が679人（85.5%）となっている（表27-4）。

表27-4　問27-4　問27で「2.知っているが、利用したことはない」と答えた方について、今後自立支援センターを利用したいと思いますか。

	人	%	有効%
1. 思う	115	8.0	14.5
2. 思わない	679	47.3	85.5
有効回答数	794	55.3	100.0
無回答	9	0.6	
非該当	632	44.0	
合計	1,435	100.0	

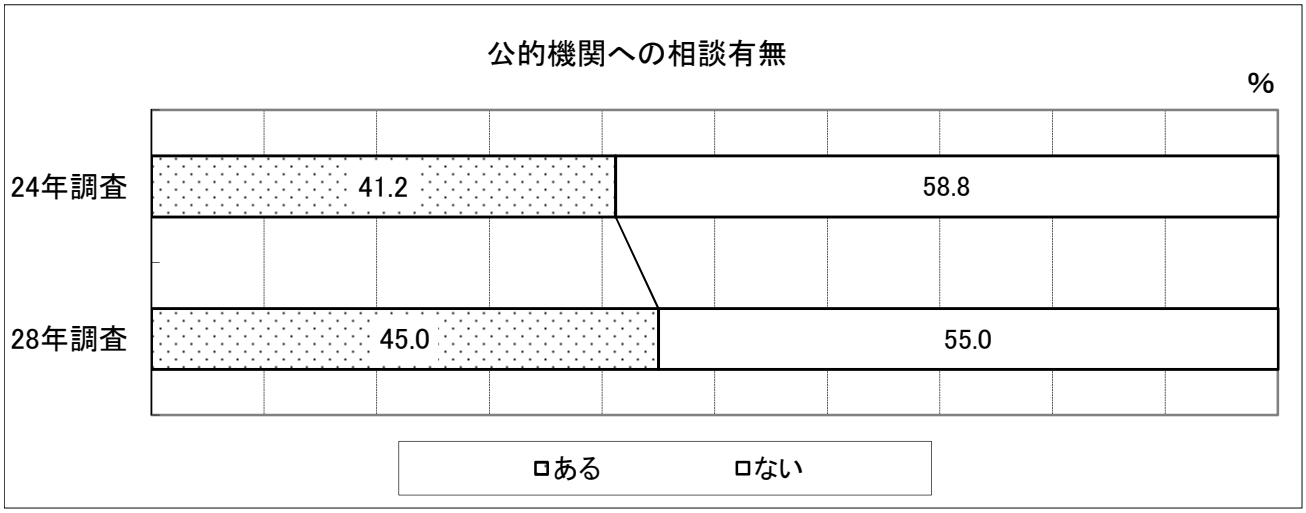


4　公的機関への相談状況

公的機関への相談状況については、「ある」が642人（45.0%）、「ない」が785人（55.0%）となっている（表28）。

表28　問28　これまで福祉事務所等の公的機関に相談に行ったことがありますか。

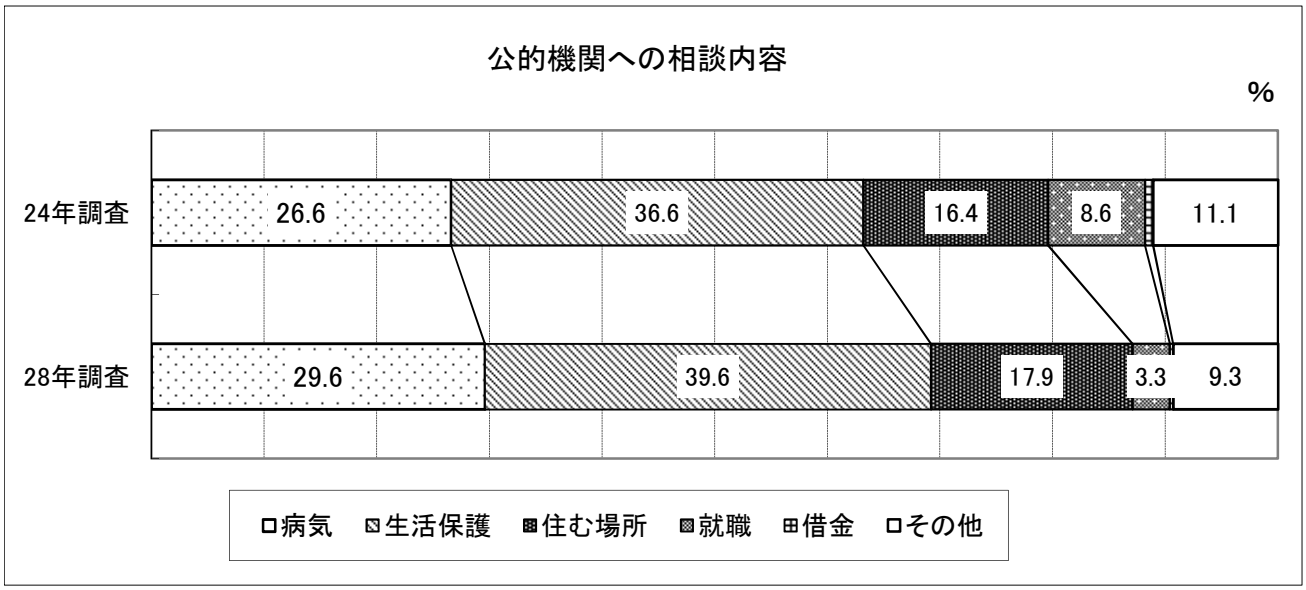
	人	%	有効%
1. ある	642	44.7	45.0
2. ない	785	54.7	55.0
有効回答数	1,427	99.4	100.0
無回答	8	0.6	
合計	1,435	100.0	



問28で「ある」と回答した者がどのような相談をしたかについては、「生活保護」が252人（39.6%）と最も多く、次いで「病気」が188人（29.6%）となっている（表28-1）。

表28-1　問28-1　問28で「1.ある」と答えた方について、どういう相談をしましたか。

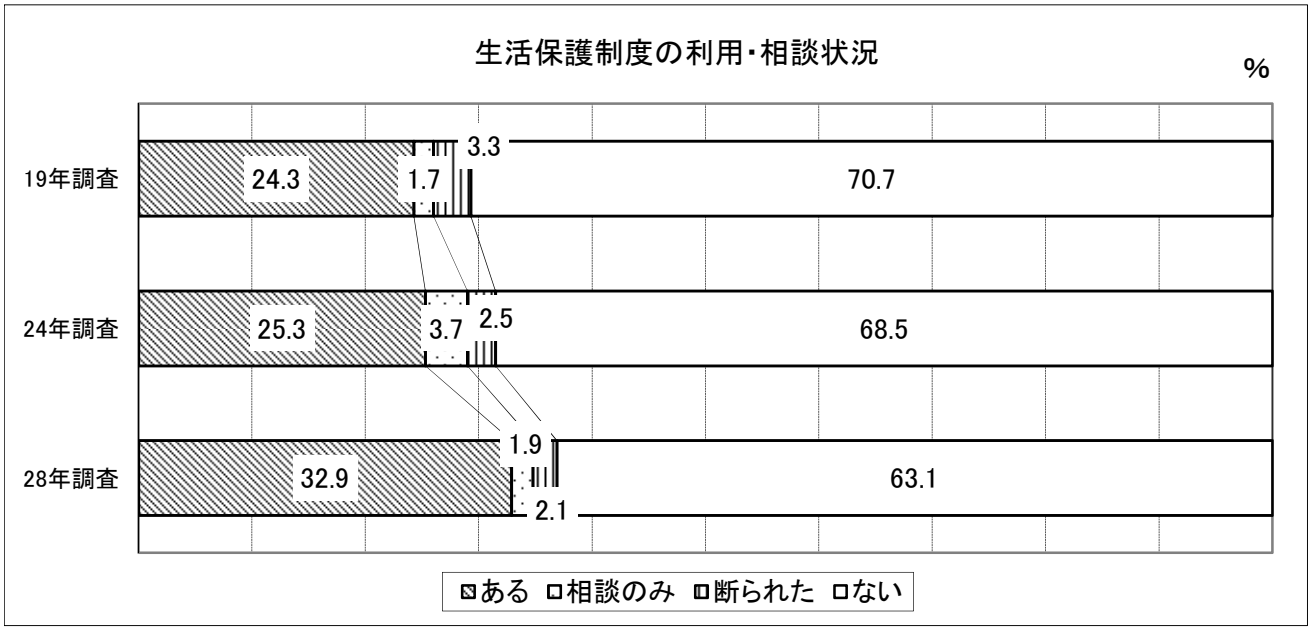
	人	%	有効%
1. 病気	188	13.1	29.6
2. 生活保護	252	17.6	39.6
3. 住む場所	114	7.9	17.9
4. 就職	21	1.5	3.3
5. 借金	2	0.1	0.3
6. その他	59	4.1	9.3
有効回答数	636	44.3	100.0
無回答	6	0.4	
非該当	793	55.3	
合計	1,435	100.0	



生活保護の利用状況については、「ある」が468人（32.9%）、「相談には行ったが利用したことはない」が27人（1.9%）、「相談には行ったが断られた」が30人（2.1%）、「ない」が896人（63.1%）となっている（表29）。

表29　問29　これまで生活保護制度を利用したことがありますか。

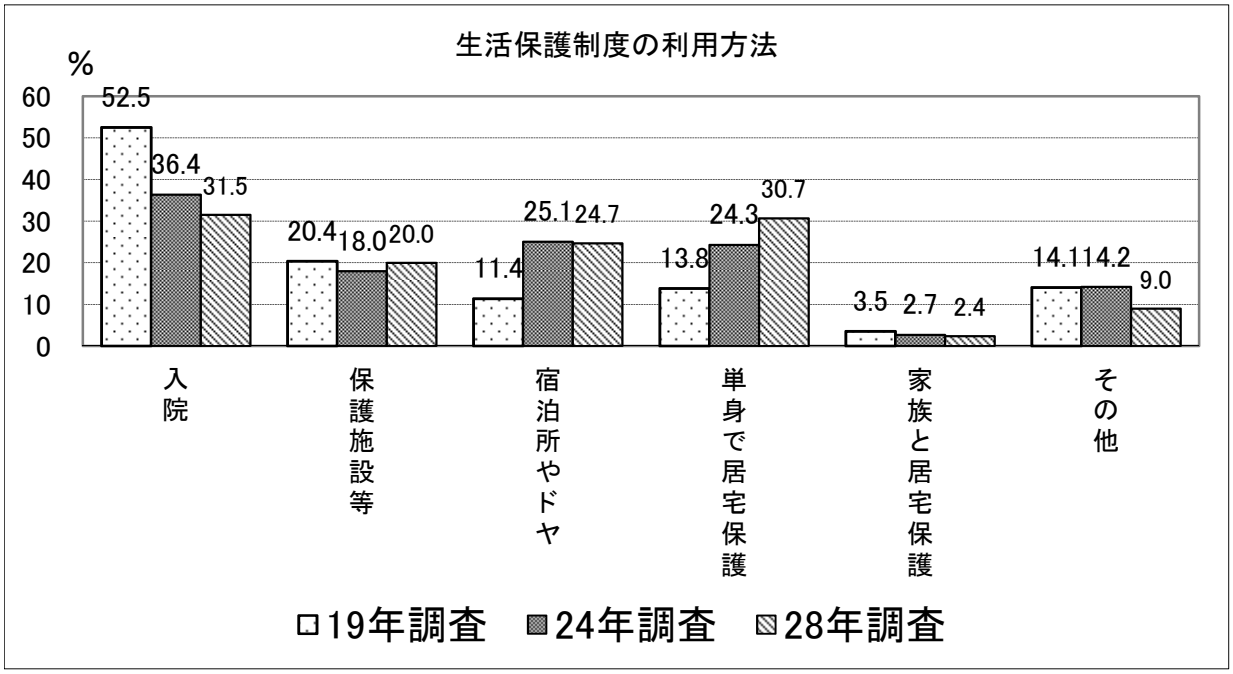
	人	%	有効%
1. ある	468	32.6	32.9
2. 相談には行ったが利用したことはない	27	1.9	1.9
3. 相談には行ったが断られた	30	2.1	2.1
4. ない	896	62.4	63.1
有効回答数	1,421	99.0	100.0
無回答	14	1.0	
合計	1,435	100.0	



次に、問29で「ある」と回答した者の利用方法については、「病院に入院して生活保護を受けた」が147人（31.5%）と最も多く、次いで「アパート等で単身で生活保護を受けた」が143人（30.7%）、「宿泊所やドヤ等で生活保護を受けた」が115人（24.7%）となっている（表29-1）。

表29-1　問29-1　問29で「1.ある」と答えた方の利用の方法は次のどれでしたか。あてはまるものをすべて選んで下さい。

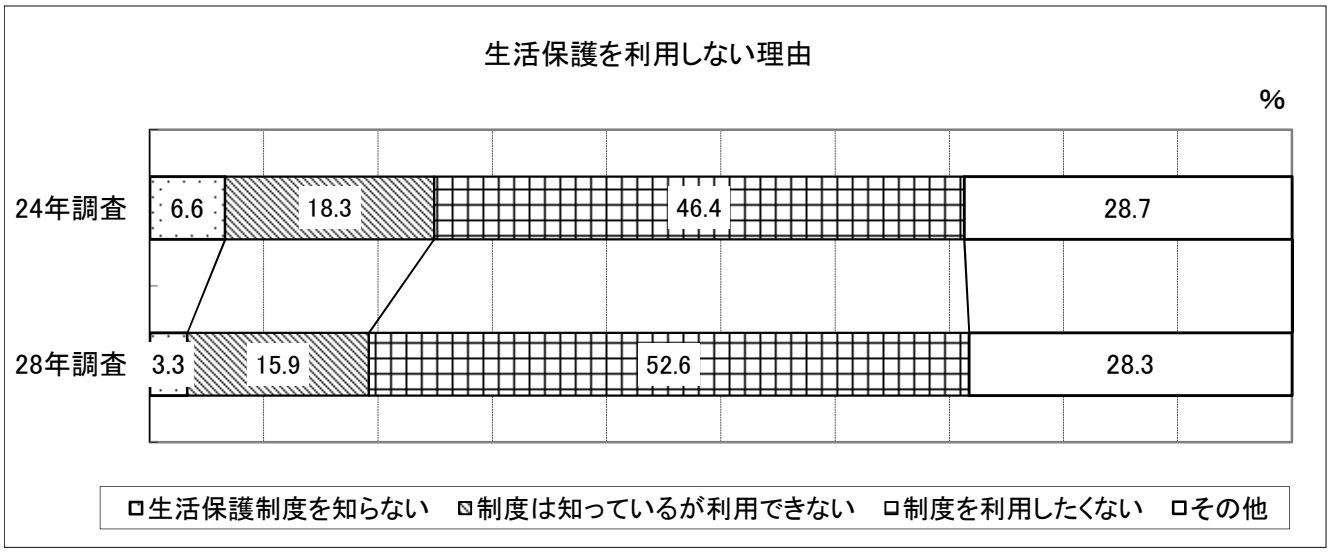
（複数回答）	人	回答%	ケース%
1. 病院に入院して生活保護を受けた	147	26.7	31.5
2. 保護施設等の福祉施設に入所して生活保護を受けた	93	16.9	20.0
3. 宿泊所やドヤ等で生活保護を受けた	115	20.9	24.7
4. アパート等で単身で生活保護を受けた	143	26.0	30.7
5. アパート等で家族と一緒に生活保護を受けた	11	2.0	2.4
6. その他	42	7.6	9.0
有効回答数	551	100.0	118.2
有効回答者数	466	32.5	
無回答	2	0.1	
非該当	967	67.4	
合計	1,435	100.0	



また、問29で「ない」と回答した者の利用したことがない理由については、「制度を利用したくない」が463人（52.6%）、「制度は知っているが、自分は利用できないと思っている」が140人（15.9%）となっている（表29-2）。

表29-2　問29-2　問29で「4. ない」と答えた方について、それはなぜですか。

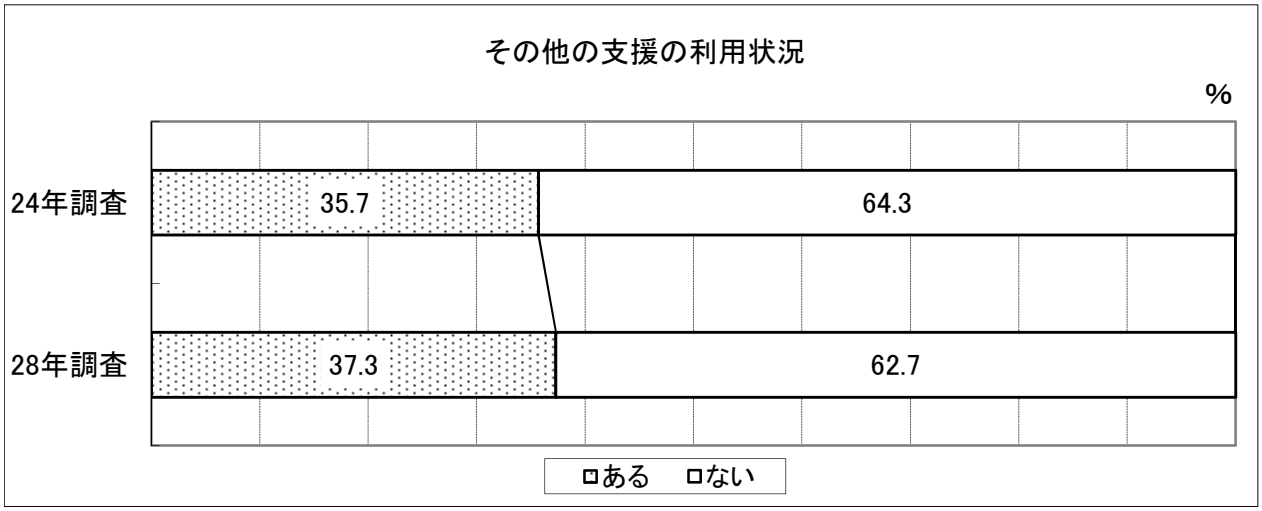
	人	%	有効%
1. 生活保護制度を知らない	29	2.0	3.3
2. 制度は知っているが、自分は利用できないと思っている	140	9.8	15.9
3. 制度を利用したくない	463	32.3	52.6
4. その他	249	17.4	28.3
有効回答数	881	61.4	100.0
無回答	15	1.0	
非該当	539	37.6	
合計	1,435	100.0	



その他の公的機関への相談状況については、「ある」が530人（37.3%）、「ない」が890人（62.7%）となっている（表28）。

表30　問30　その他のホームレスに対する公的支援（住宅の斡旋や宿泊事業、健康診断、食糧支給、衣類の支給等）を利用したことがありますか。

	人	%	有効%
1. ある	530	36.9	37.3
2. ない	890	62.0	62.7
有効回答数	1,420	99.0	100.0
無回答	15	1.0	
合計	1,435	100.0	

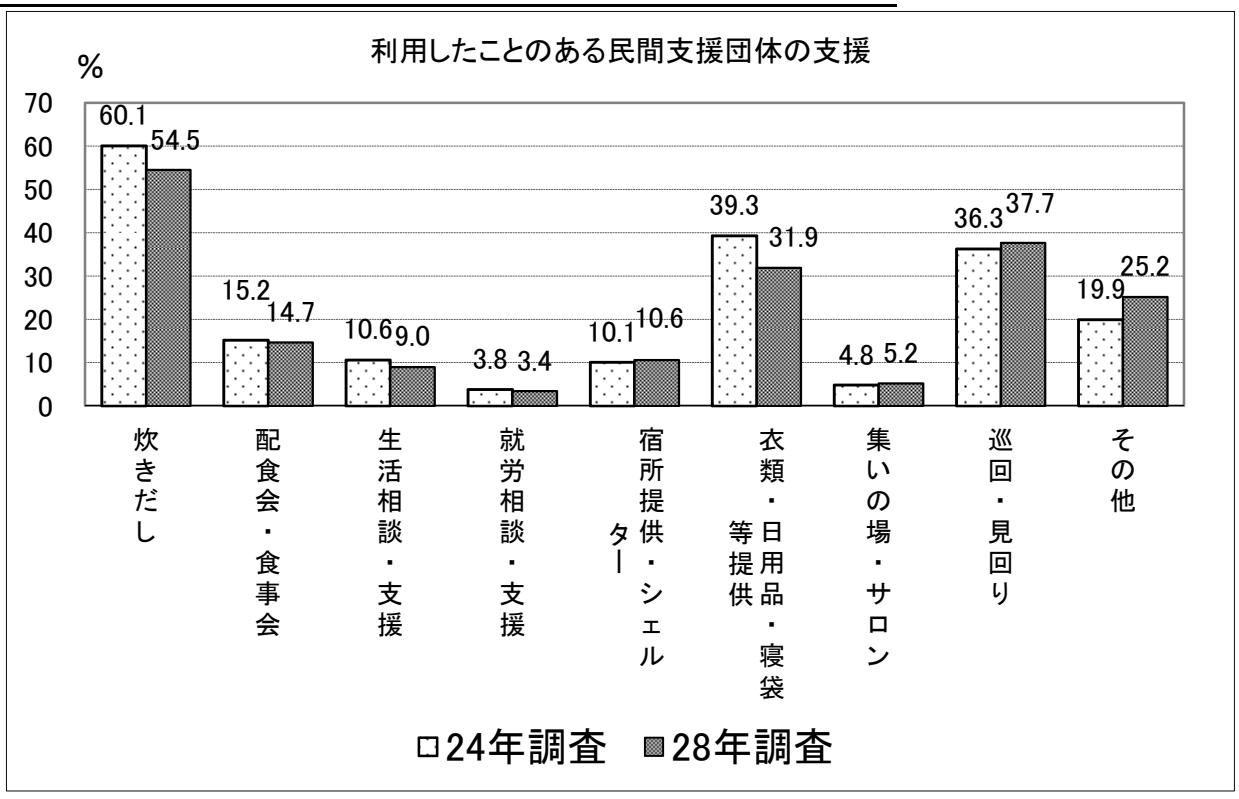


5 民間団体の支援の利用

民間団体の支援の利用状況については、「炊きだし」が728人（54.5%）と最も多く、次いで「巡回・見回り」が504人（37.7%）となっている（表31）。

表31 問31 これまでにどのような民間団体の支援を利用したことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

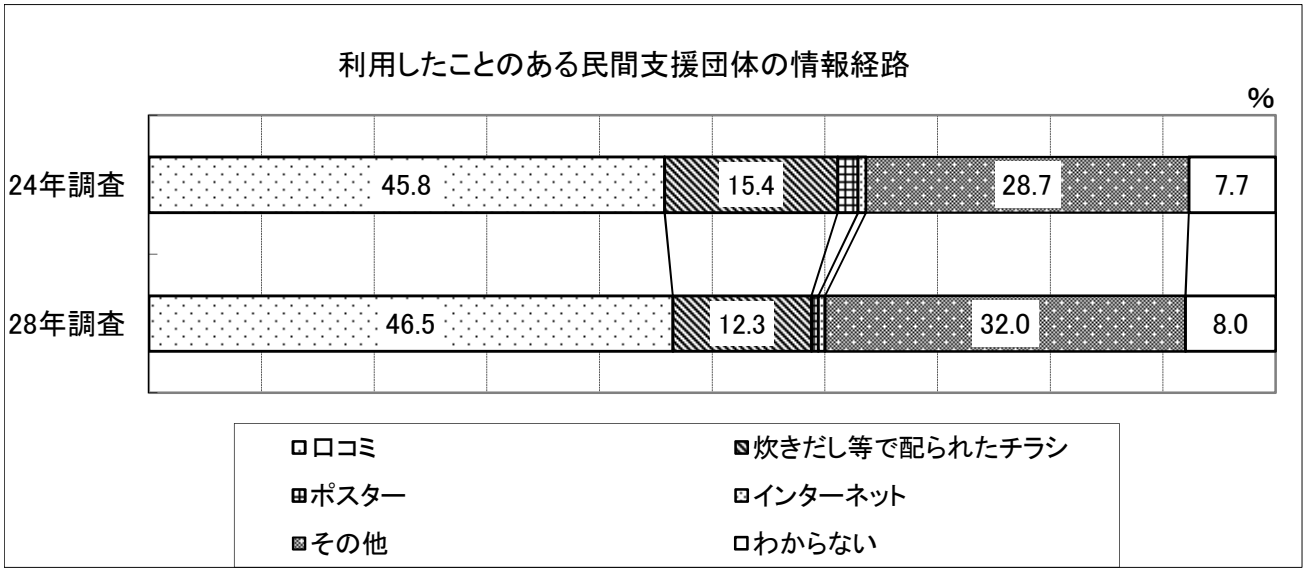
（複数回答）	人	回答%	ケース%
1. 炊きだし	728	28.3	54.5
2. 配食会・食事会	197	7.7	14.7
3. 生活相談・支援	120	4.7	9.0
4. 就労相談・支援	46	1.8	3.4
5. 宿所提供・シェルター	142	5.5	10.6
6. 衣類・日用品・寝袋等提供	426	16.6	31.9
7. 集いの場・サロン	69	2.7	5.2
8. 巡回・見回り	504	19.6	37.7
9. その他	337	13.1	25.2
有効回答数	2,569	100.0	192.1
有効回答者数	1,337	93.2	
無回答	98	6.8	
合計	1,435	100.0	



利用したことのある支援団体を知った手段については、「口コミ」が579人（46.5%）と最も多く、次いで「炊きだしや夜回りで配られたチラシ等」が153人（12.3%）となっている（表32）。

表32　問32　あなたが利用したことのある支援団体について、どこで知りましたか。

	人	%	有効%
1. 口コミ	579	40.3	46.5
2. 炊きだしや夜回りで配られたチラシ等	153	10.7	12.3
3. ポスター	8	0.6	0.6
4. インターネット	7	0.5	0.6
5. その他	398	27.7	32.0
6. わからない	100	7.0	8.0
有効回答数	1,245	86.8	100.0
有効回答者数	1,245	86.8	
無回答	190	13.2	
合計	1,435	100.0	



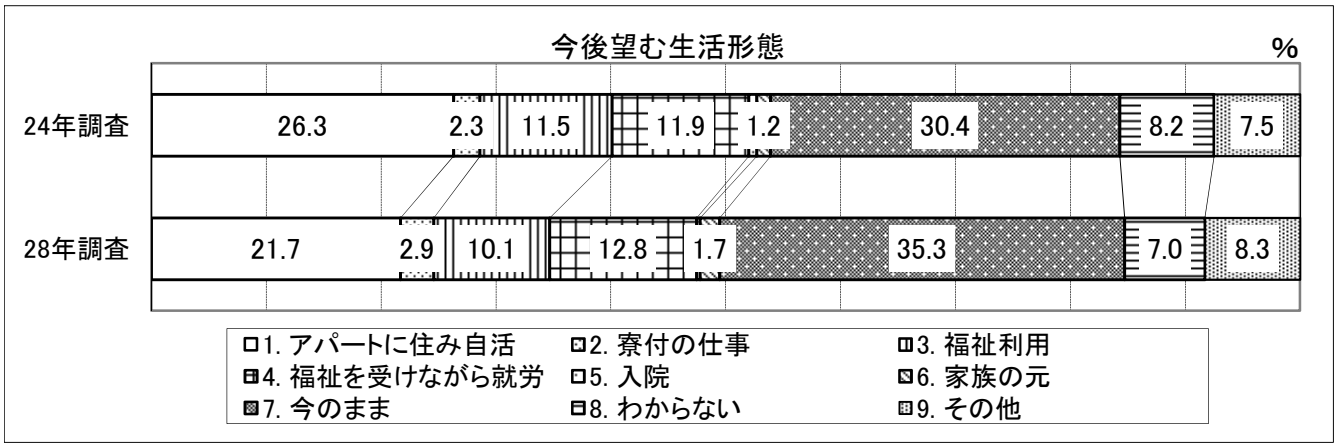
第6章　今後の生活について

1　今後の希望

今どのような生活を望んでいるかについては、「今のままでいい（路上（野宿）生活）」が505人（35.3%）で最も多く、次いで「アパートに住み、就職して自活したい」が310人（21.7%）、「アパートで福祉の支援を受けながら、軽い仕事をみつけたい」が183人（12.8%）となっている（表33）。

表33　問33　今後、どのような生活を望んでいますか。1つ選んでください。

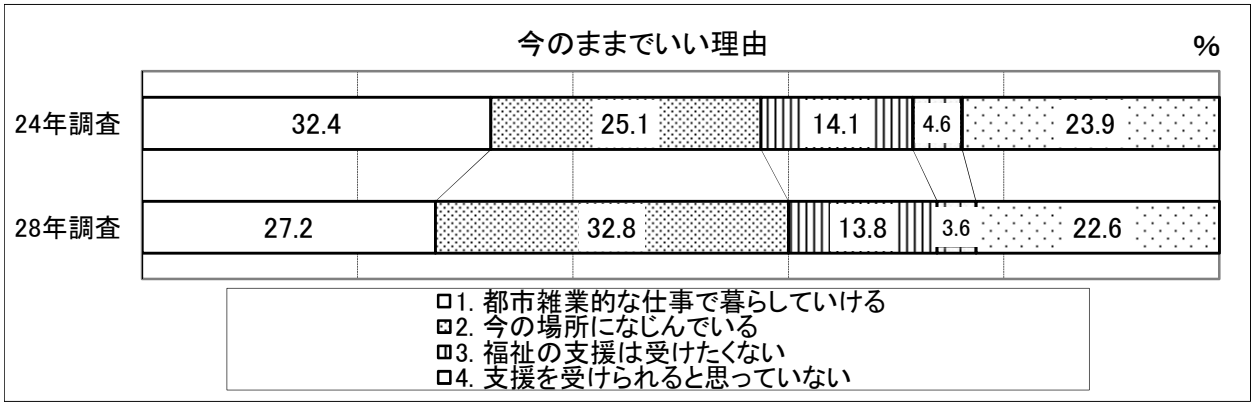
	人	%	有効%
1. アパートに住み、就職して自活したい	310	21.6	21.7
2. 寮付の仕事で自活したい	41	2.9	2.9
3. 就職することはできないので何らかの福祉を利用して生活したい	144	10.0	10.1
4. アパートで福祉の支援を受けながら、軽い仕事をみつけたい	183	12.8	12.8
5. 入院したい	4	0.3	0.3
6. 家族の下に戻りたい	24	1.7	1.7
7. 今のままでいい（路上（野宿）生活）	505	35.2	35.3
8. わからない	100	7.0	7.0
9. その他	118	8.2	8.3
有効回答数	1,429	99.6	100.0
無回答	6	0.4	
合計	1,435	100.0	



問33で「今のままでいい」と回答した者の理由については、「今の場所になじんでいる」が164人（32.8%）と最も多く、次いで「アルミ缶、雑誌集めなどの都市雑業的な仕事があるので暮らしていける」が136人（27.2%）となっている（表33-1）。

表33-1　問33-1　問33で「7.今のままでいい」と答えた方について、それはどうしてですか。

	人	%	有効%
1. アルミ缶、雑誌集めなどの都市雑業的な仕事があるので暮らしていける	136	9.5	27.2
2. 今の場所になじんでいる	164	11.4	32.8
3. 福祉の支援は受けたくない	69	4.8	13.8
4. 支援を受けられると思っていない	18	1.3	3.6
5. その他	113	7.9	22.6
有効回答数	500	34.8	100.0
無回答	5	0.3	
非該当	930	64.8	
合計	1,435	100.0	



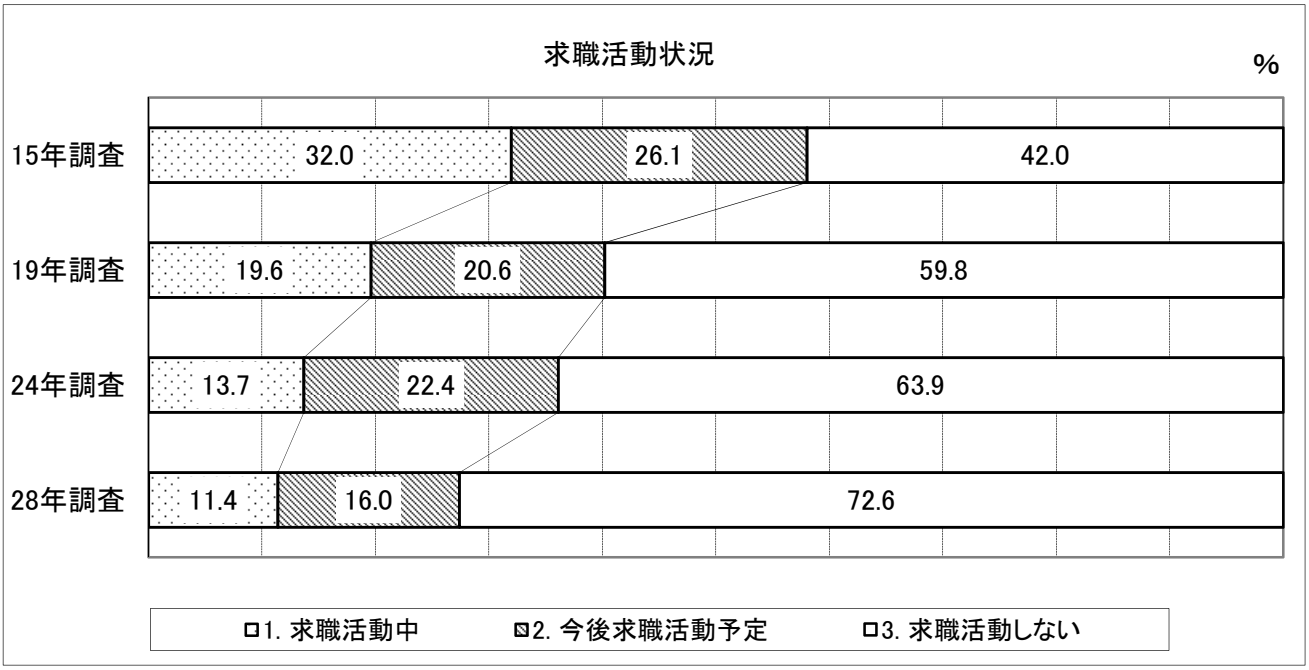
2 求職活動

求職活動については、「求職活動」が160人（11．4%）となっている。

一方、「今も求職活動をしていないし、今後も求職活動をする予定はない」が1,016人（72.6%）となっている。また、「今は求職活動をしていないが、今後、求職活動をする予定である」が224人（16.0%）となっている（表34）。

表34 問34 現在、就職するための求職活動をしていますか。

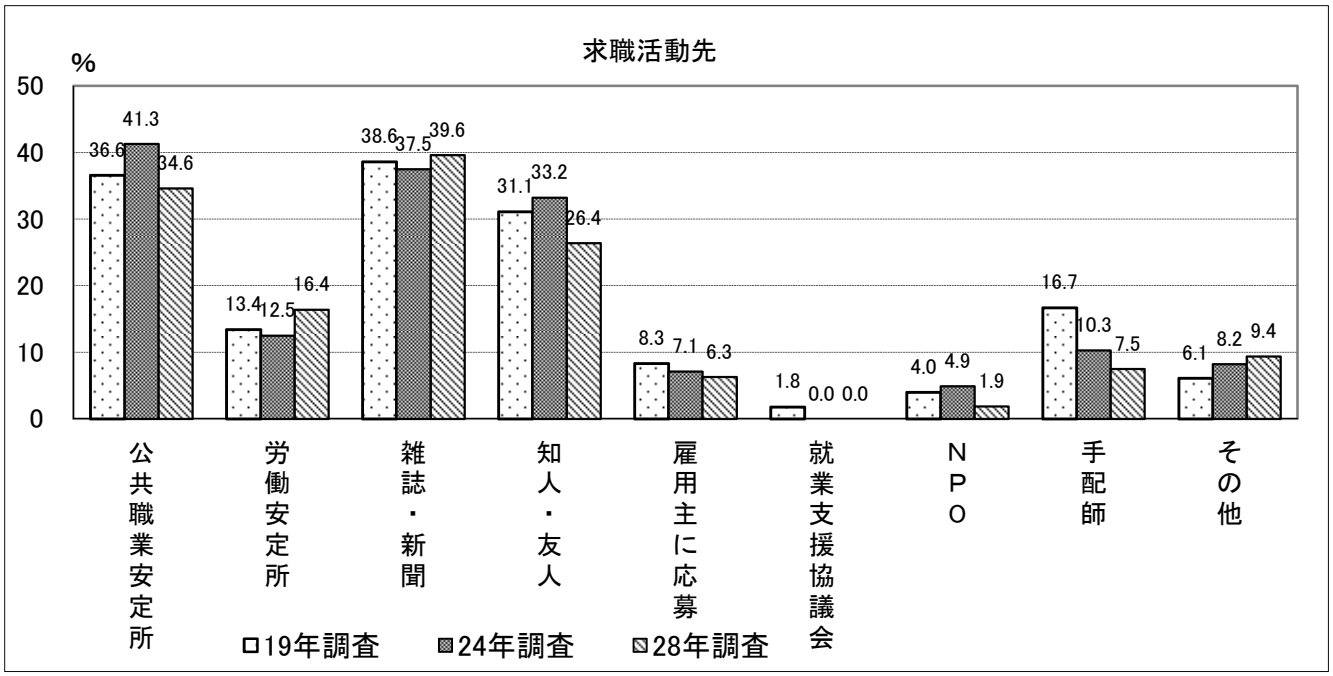
	人	%	有効%
1. 求職活動をしている	160	11.1	11.4
2. 今は求職活動をしていないが、今後、求職活動をする予定である	224	15.6	16.0
3. 今も求職活動をしていないし、今後も求職活動をする予定はない	1,016	70.8	72.6
有効回答数	1,400	97.6	100.0
無回答	35	2.4	
合計	1,435	100.0	



次に問34で「求職活動をしている」と回答した者がどのように求職活動しているかについては、「求人雑誌・新聞」が63人（39.6%）と最も多く、次いで「一般の公共職業安定所」が55人（34.6%）となっている（表34-1）。

表34-1　問34-1　問34で「1.求職活動をしている」と答えた方について、どのように求職活動していますか。あてはまるものをすべて選んでください。

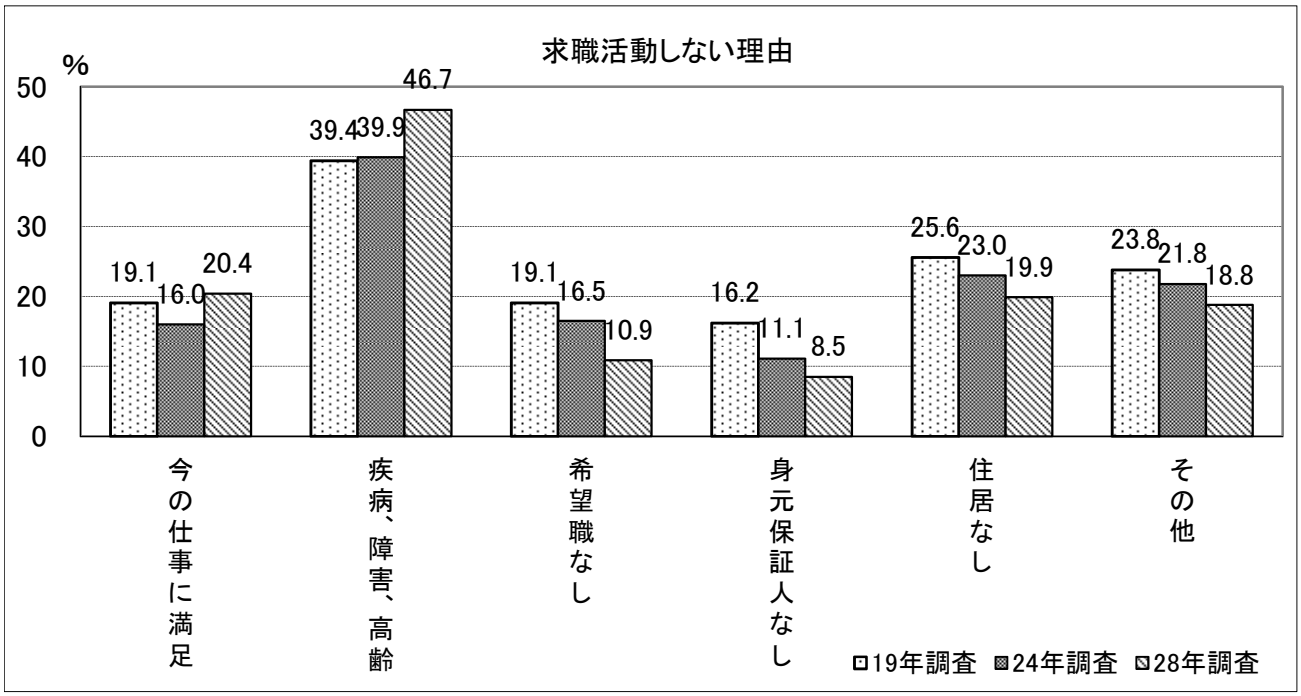
（複数回答）	人	回答%	ケース%
1. 一般の公共職業安定所	55	24.3	34.6
2. 労働安定所（日雇労働者を主に取り扱う公共職業安定所	26	11.5	16.4
3. 求人雑誌・新聞	63	27.9	39.6
4. 知人・友人などからの情報	42	18.6	26.4
5. 直接雇用主に応募	10	4.4	6.3
6. ホームレス就業支援事業推進協議会	0	0.0	0.0
7. NPO団体	3	1.3	1.9
8.手配師	12	5.3	7.5
9. その他	15	6.6	9.4
有効回答数	226	100.0	142.1
有効回答者数	159	11.1	100.0
無回答	1	0.1	
非該当	1,275	88.9	
合計	1,435	100.0	



また、問34で「今も求職活動をしていないし、今後も求職活動をする予定はない」または「今は求職活動をしていないが、今後、求職活動する予定である」と回答した者の求職活動をしていない理由については、「疾病、障害、病弱、高齢で働けないから」が564人（46.7%）と最も多く、次いで「今の仕事で満足しているから」が247人（20.4%）となっている（表34-2）。

表34-2　問34-2　問34で「2.今は求職活動をしていないが、今後、求職活動をする予定である」または「3.今も求職活動をしていないし、今後も求職活動をする予定はない」と答えた方について、なぜ求職活動をしていないのですか。あてはまるものをすべて選んでください。

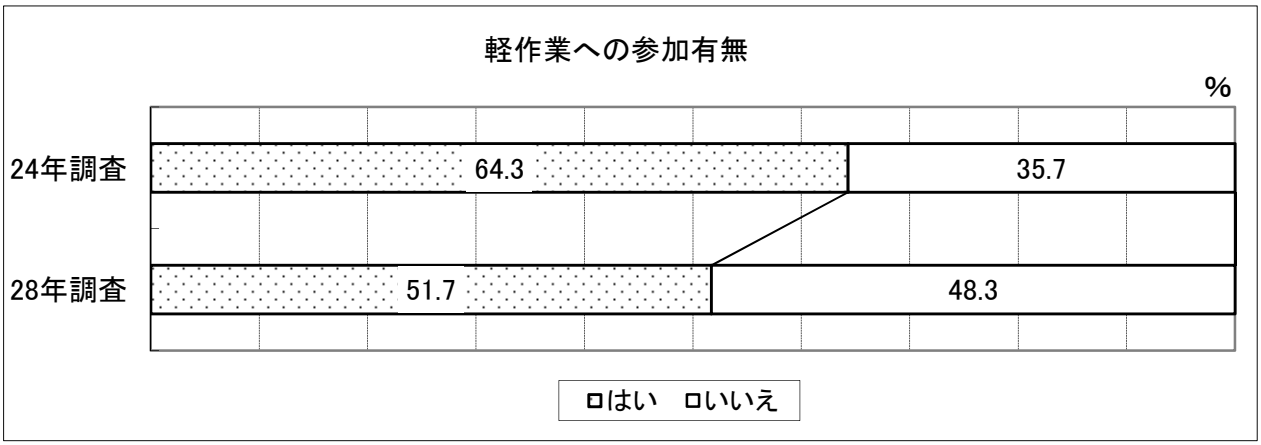
（複数回答）	人	回答%	ケース%
1. 今の仕事で満足しているから	247	16.3	20.4
2. 疾病、障害、病弱、高齢で働けないから	564	37.3	46.7
3. 自分の希望する職業を探してもないと思うから	132	8.7	10.9
4. 就職の際の身元保証人がいないと難しいと思うから	103	6.8	8.5
5. 住居がないと採用されないと思うから	240	15.9	19.9
6. その他	227	15.0	18.8
有効回答数	1,513	100.0	125.1
有効回答者数	1,209	84.3	
無回答	31	2.2	
非該当	195	13.6	
合計	1,435	100.0	



また、問34-2で「疾病、障害、病弱、高齢で働けないから」、「自分の希望する職業を探してもないと思うから」、「就職の際の身元保証人がいないと難しいと思うから」、「住居がないと採用されないと思うから」と回答した者のうち、生活リズムをつくるための軽作業を勧められたら参加するかについて、「はい」が398人(51.7%)、「いいえ」が372人(48.3%)となっている(表34-3)。

表34-3　問34-3　問34-2で「2.疾病、障害、病弱、高齢で働けないから」または「3.自分の希望する職業を探してもないと思うから」または「4.就職の際の身元保証人がいないと難しいと思うから」または「5.住居がないと採用されないと思うから」と答えた方について、生活のリズムをつくるための軽作業を勧められたら参加しますか。

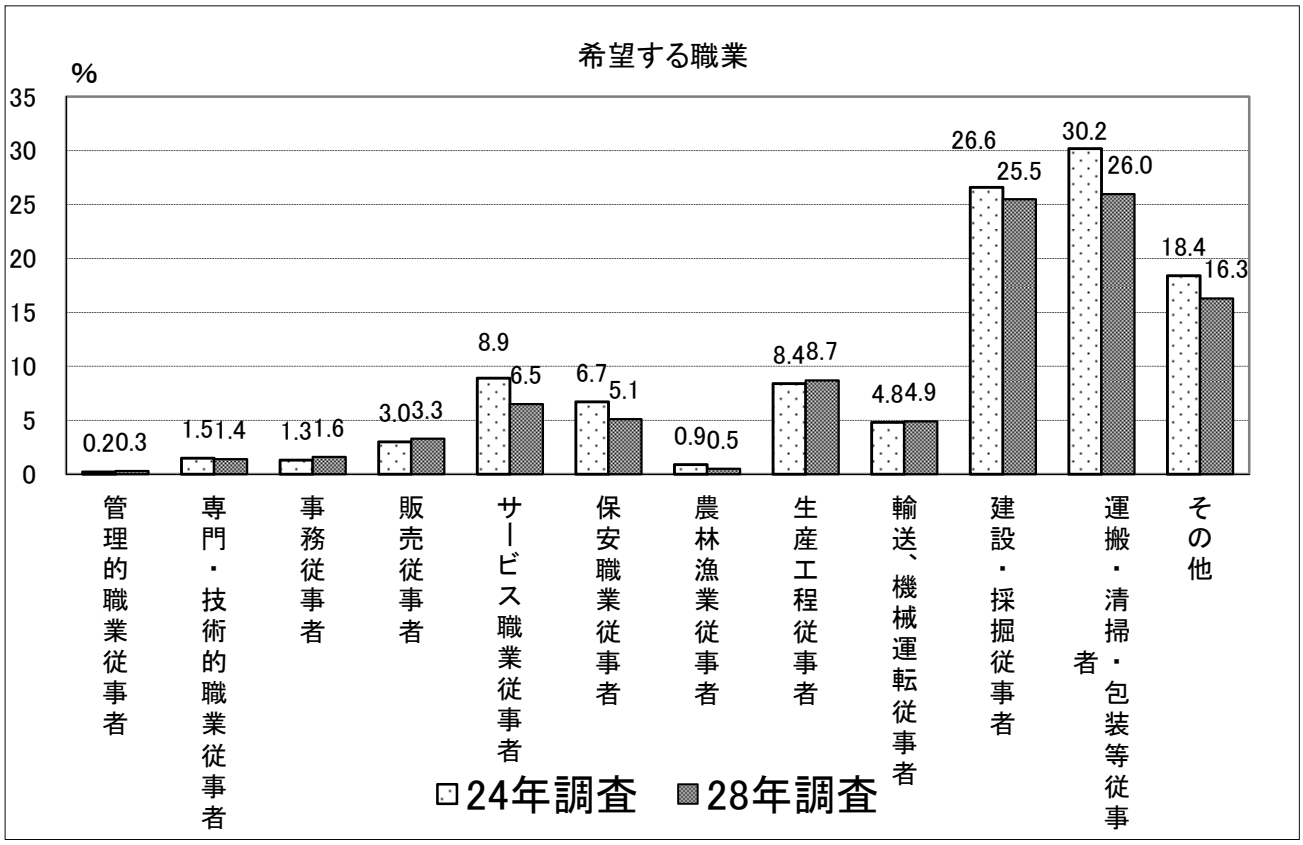
	人	%	有効%
1. はい	398	27.7	51.7
2. いいえ	372	25.9	48.3
有効回答数	770	53.7	100.0
無回答	58	4.0	
非該当	607	42.3	
合計	1,435	100.0	



問34で「求職活動をしている」、「今は求職活動をしていないが、今後、求職活動する予定である」と回答した者が希望する職業については、「運搬、清掃、包装等従事者」が96人（26.0%）と最も多く、次いで「建設・採掘従事者」が94人（25.5%）となっている（表34-4）。

表34-4　問34-4　問34で「1.求職活動をしている」または「2.今は求職活動をしていないが、今後、求職活動をする予定である」と答えた方について、どのような職業を希望していますか。

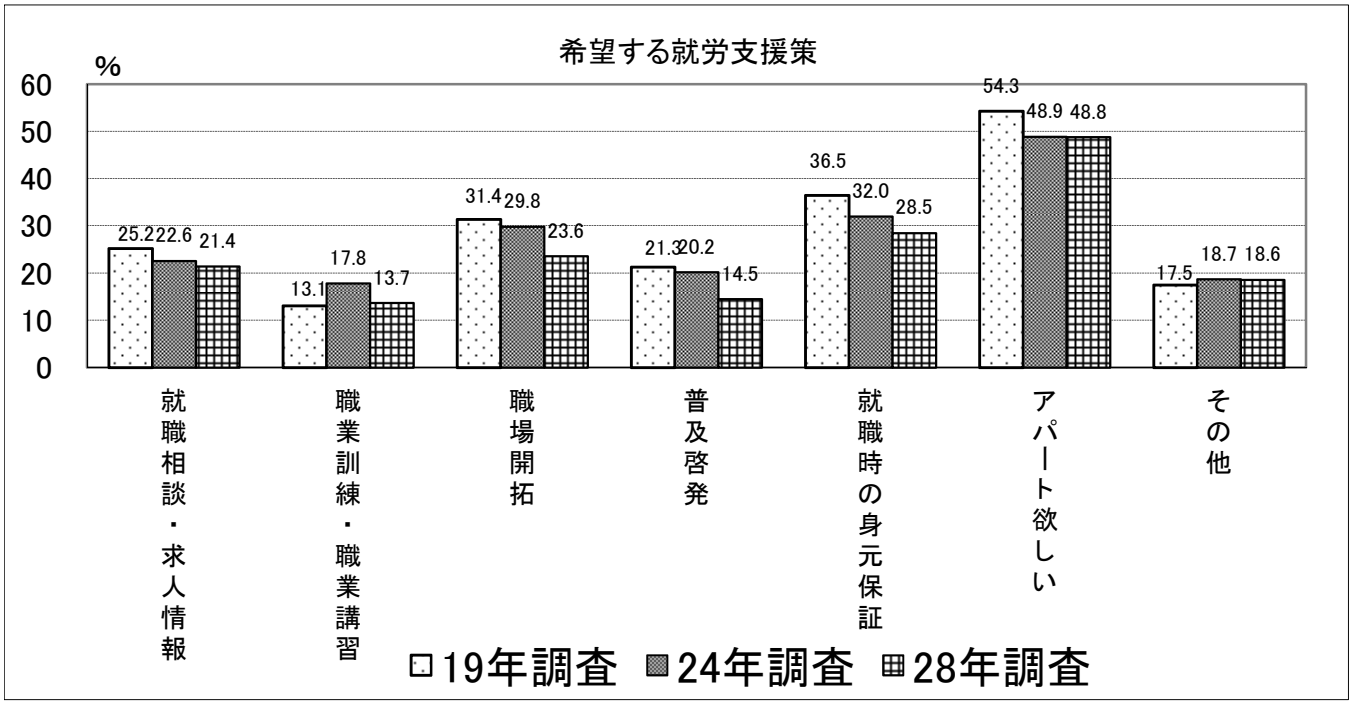
	人	%	有効%
01. 管理的職業従事者	1	0.1	0.3
02. 専門・技術的職業従事者	5	0.3	1.4
03. 事務従事者	6	0.4	1.6
04. 販売従事者	12	0.8	3.3
05. サービス職業従事者	24	1.7	6.5
06. 保安職業従事者	19	1.3	5.1
07. 農林漁業従事者	2	0.1	0.5
08. 生産工程従事者	32	2.2	8.7
09. 輸送、機械運転従事者	18	1.3	4.9
10. 建設・採掘従事者	94	6.6	25.5
11. 運搬・清掃・包装等従事者	96	6.7	26.0
12. その他	60	4.2	16.3
有効回答数	369	25.7	100.0
無回答	15	1.0	
非該当	1,051	73.2	
合計	1,435	100.0	



また、就職するために望む支援については、「住所を設定する必要があるのでアパートがほしい」が178人（48.8%）と最も多く、次いで「就職の際の身元保証の援助をしてほしい」が104人（28.5%）、「自分たちにあった仕事先を開拓してほしい」が86人（23.6%）となっている（表34-5）。

表34-5　問34-5　就職するためにあなたが望む支援は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

（複数回答）	人	回答%	ケース%
1. もっと身近に就職の相談や求人情報をみられるようにしてほしい	78	12.6	21.4
2. 職業訓練、職業講習を受けられるようにしてほしい	50	8.1	13.7
3. 自分たちにあった仕事先を開拓してほしい	86	13.9	23.6
4. 事業主のホームレスに対する理解を進めてほしい	53	8.6	14.5
5. 就職の際の身元保証の援助をしてほしい	104	16.9	28.5
6. 住所を設定する必要があるのでアパートがほしい	178	28.8	48.8
7. その他	68	11.0	18.6
有効回答数	617	100.0	169.0
有効回答者数	365	25.4	
無回答	19	1.3	
非該当	1,051	73.2	
合計	1,435	100.0	

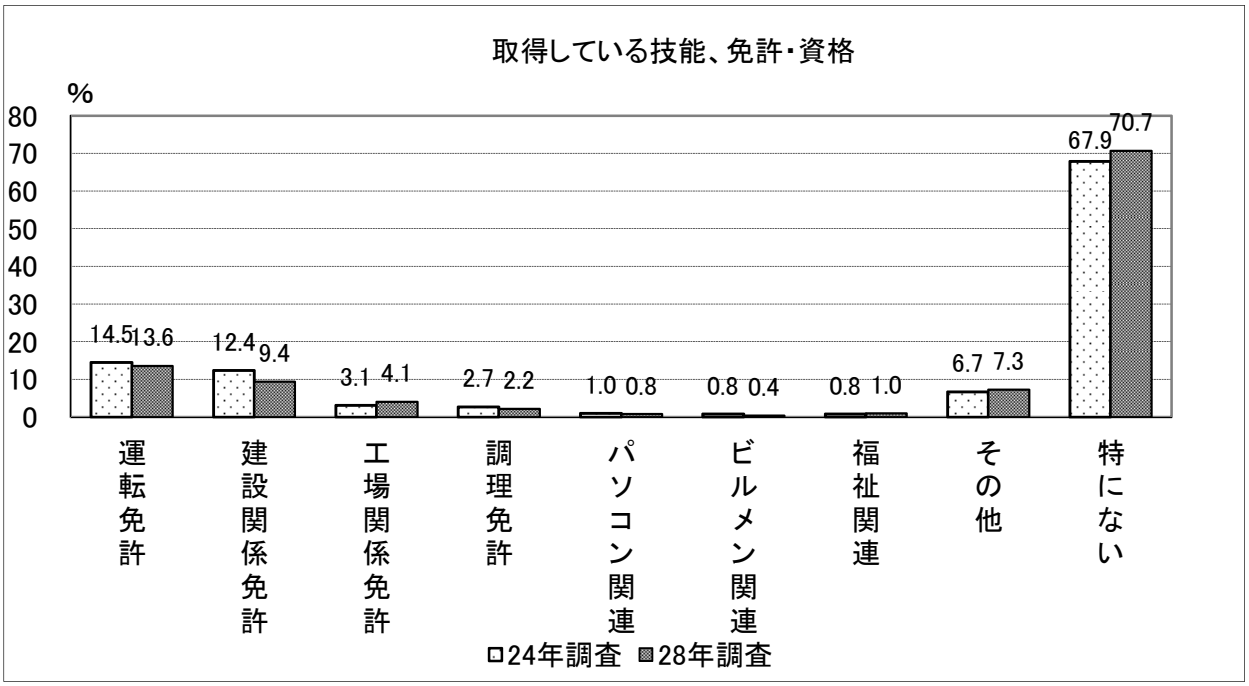


3 技能、免許・資格

現在習得している技能、免許・資格については、「特にない」が953人（70.7%）と最も多く、次いで「自動車運転免許（1種、2種、大型）」が184人（13.6%）、「建設関係免許」が127人（9.4%）となっている（表35）。

表35 問35 現在取得している有効な免許・資格をすべて選んでください。

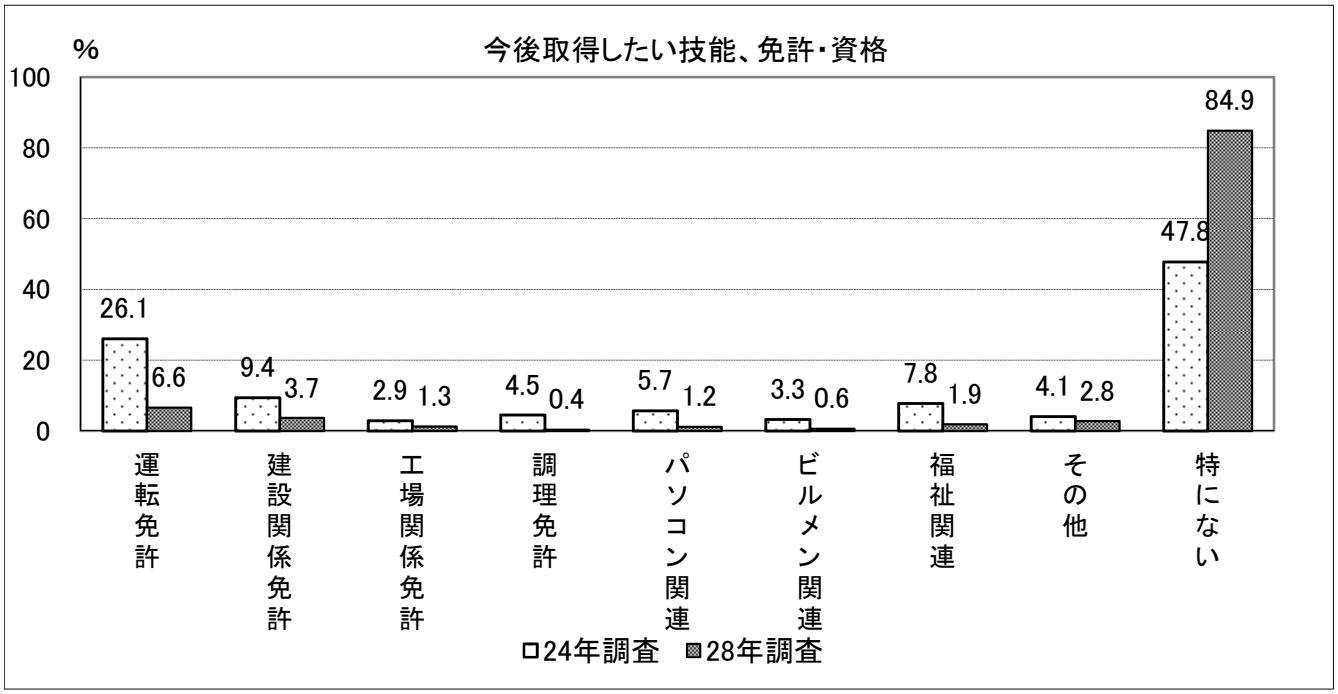
（複数回答）	人	回答%	ケース%
1. 自動車運転免許（1種、2種、大型）	184	12.5	13.6
2. 建設関係免許	127	8.6	9.4
3. 工場関係免許	55	3.7	4.1
4. 調理免許	30	2.0	2.2
5. パソコン関連資格	11	0.7	0.8
6. ビルメンテナンス関連資格	5	0.3	0.4
7. 福祉関連資格(ホームヘルパー等)	13	0.9	1.0
8. その他	99	6.7	7.3
9. 特にない	953	64.5	70.7
有効回答数	1,477	100.0	109.6
有効回答者数	1,348	93.9	
無回答	87	6.1	
合計	1,435	100.0	



また、今後取得したいものについては、「特にない」が577人（84.9%）と最も多く、次いで「自動車運転免許（1種、2種、大型）」が45人（6.6%）となっている（表35-1）。

表35-1　また、今後、取得してみたいと思うものに◎をつけてください。

（複数回答）	人	回答%	ケース%
1. 自動車運転免許（1種、2種、大型）	45	6.4	6.6
2. 建設関係免許	25	3.6	3.7
3. 工場関係免許	9	1.3	1.3
4. 調理免許	3	0.4	0.4
5. パソコン関連資格	8	1.1	1.2
6. ビルメンテナンス関連資格	4	0.6	0.6
7. 福祉関連資格(ホームヘルパー等)	13	1.8	1.9
8. その他	19	2.7	2.8
9. 特にない	577	82.1	84.9
有効回答数	703	100.0	103.4
有効回答者数	680	47.4	
無回答	755	52.6	
合計	1,435	100.0	

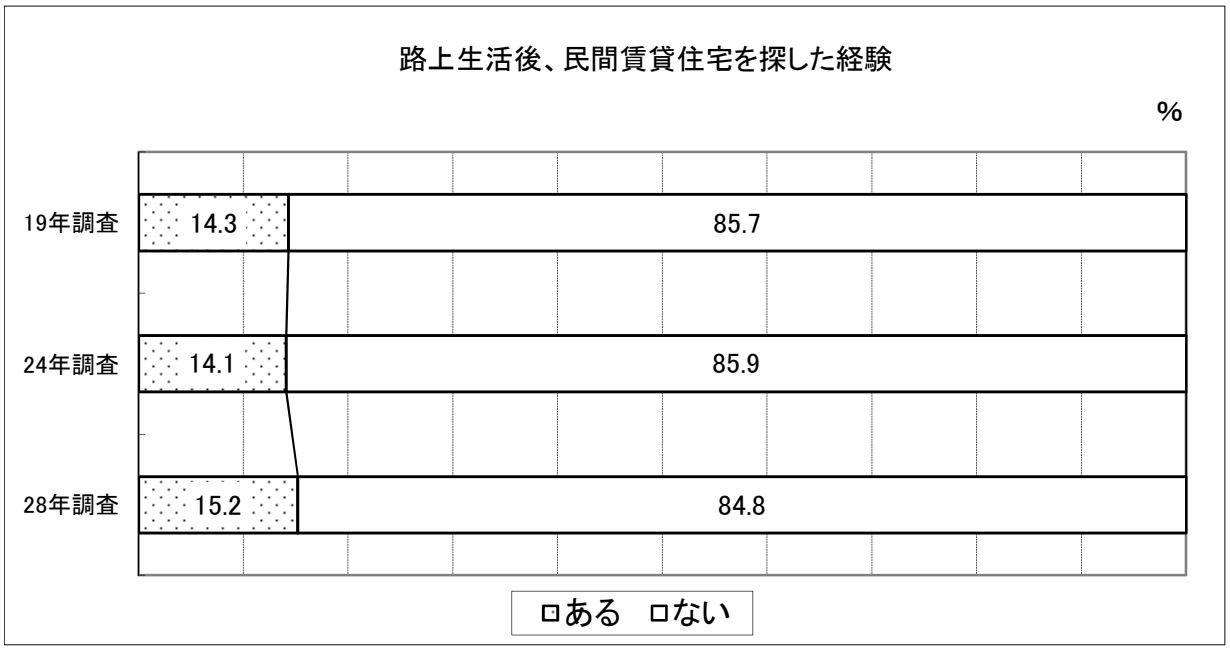


4　民間賃貸住宅等に関する情報提供の状況

路上（野宿）生活を始めてから民間賃貸住宅を探した経験の有無については、「ある」が212人（15.2%）、「ない」が1,186人（84.8%）となっている（表36）。

表36　問36　路上生活を始めてから、民間賃貸住宅を探した経験はありますか。

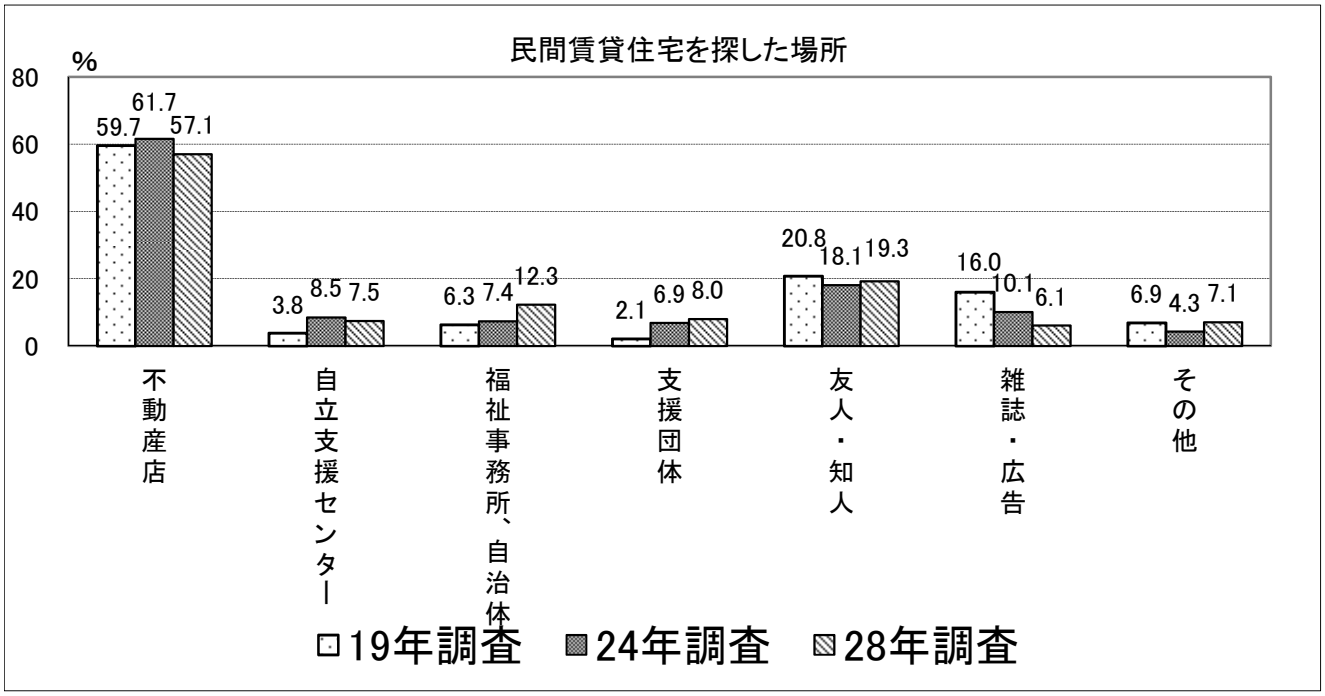
	人	%	有効%
1. ある	212	14.8	15.2
2. ない	1,186	82.6	84.8
有効回答数	1,398	97.4	100.0
無回答	37	2.6	
合計	1,435	100.0	



問36で「ある」と回答した者が具体的にどこで民間賃貸住宅を探したかについては、「不動産店」が121人（57.1%）と約6割をしめている（表36-1）。

表36-1　問36-1　問36で「1.ある」と答えた方について、具体的にどこで探しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

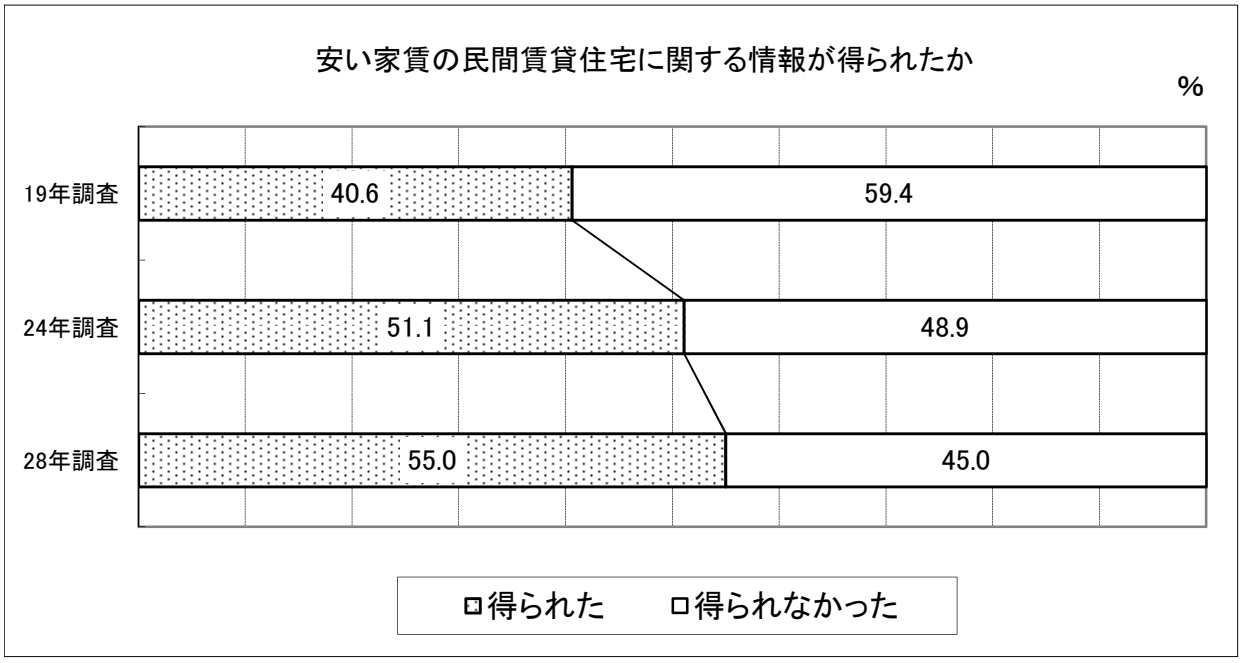
（複数回答）	人	回答%	ケース%
1. 不動産店	121	48.6	57.1
2. 自立支援センター	16	6.4	7.5
3. 福祉事務所や地方公共団体	26	10.4	12.3
4. 支援団体	17	6.8	8.0
5. 友人・知人	41	16.5	19.3
6. 雑誌・広告	13	5.2	6.1
7. その他	15	6.0	7.1
有効回答数	249	100.0	117.5
有効回答者数	212	14.8	
無回答	0	0.0	
非該当	1,223	85.2	
合計	1,435	100.0	



また、問い36-1で「不動産店」、「自立支援センター」、「福祉事務所や地方公共団体」と回答した者が安い家賃の民間賃貸住宅に関する情報が得られたかについては、「得られた」が82人（55.0%）、「得られなかった」が67人（45.0%）となっている（表36-2）。

表36-2　問36-2　問36-1で「1.不動産店」または「2.自立支援センター」もしくは「3.福祉事務所や地方公共団体」と答えた方について、安い家賃の民間賃貸住宅に関する情報が得られましたか。

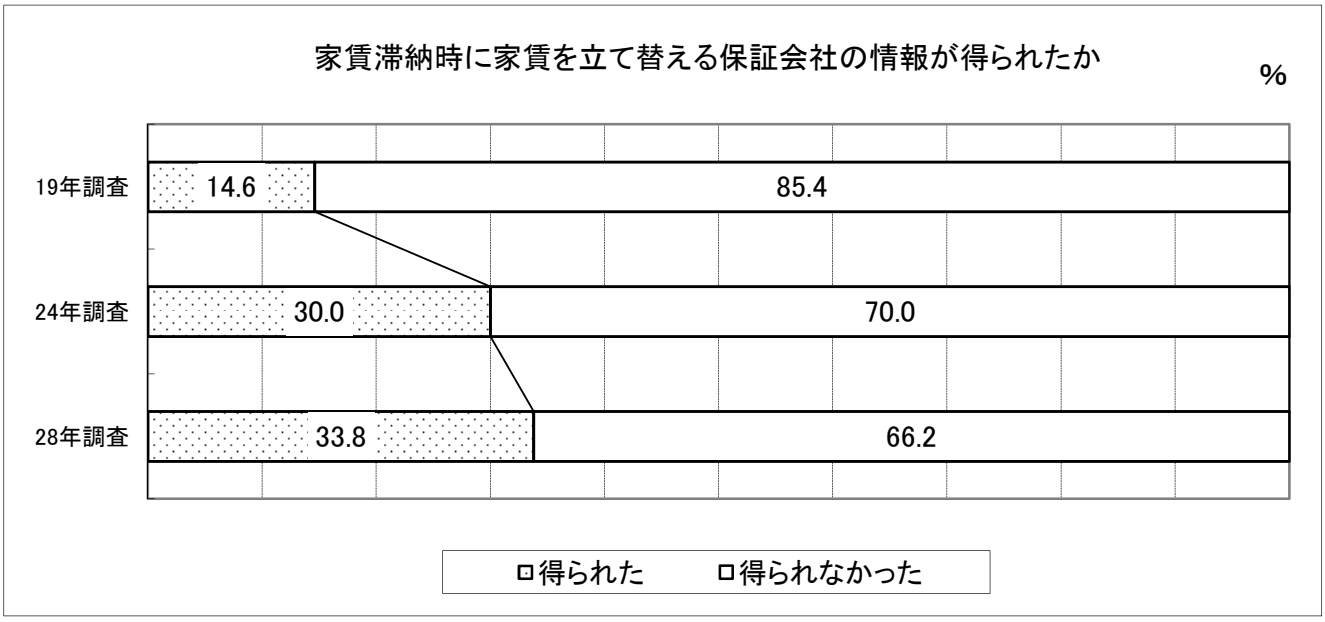
	人	%	有効%
1. 得られた	82	5.7	55.0
2. 得られなかった	67	4.7	45.0
有効回答数	149	10.4	100.0
無回答	5	0.3	
非該当	1,281	89.3	
合計	1,435	100.0	



また、問36-1で「不動産店」、「自立支援センター」、「福祉事務所や地方公共団体」と回答した者が家賃を滞納した場合に家主に立替え払いをする民間の保証会社に関する情報が得られたについては、「得られた」が49人（33.8）、「得られなかった」が96人（66.2%）となっている（表36-3）。

表36-3　問36-3　問36-1で「1.不動産店」または「2.自立支援センター」もしくは「3.福祉事務所や地方公共団体」と答えた方について、家賃を滞納した場合に家主に立替え払いをする民間の保証会社に関する情報が得られましたか。

	人	%	有効%
1. 得られた	49	3.4	33.8
2. 得られなかった	96	6.7	66.2
有効回答数	145	10.1	100.0
無回答	9	0.6	
非該当	1,281	89.3	
合計	1,435	100.0	

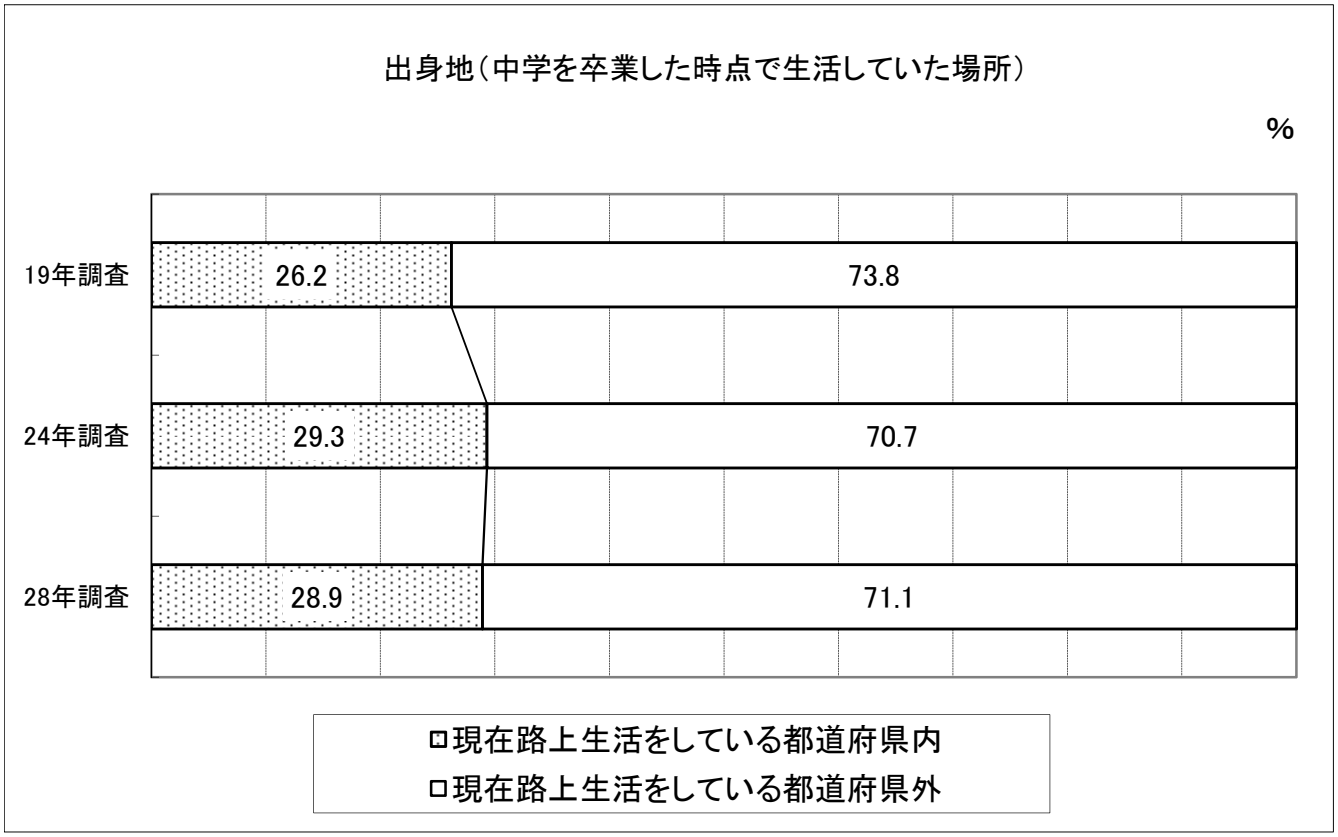


1　出身地

出身地については、「現在路上（野宿）生活をしている都道府県内が408人（28.9%）、「路上（野宿）生活をしている都道府県外」が1,005人（71.1%）となっている（表37）。

表37　問37　出身地（中学を卒業した時点（卒業していない人は15歳時点）で生活していた場所をいう。）はどこですか。

	人	%	有効%
1. 現在路上（野宿）生活をしている都道府県内	408	28.4	28.9
2. 路上（野宿）生活をしている都道府県外	1,005	70.0	71.1
有効回答数	1,413	98.5	100.0
無回答	22	1.5	
合計	1,435	100.0	

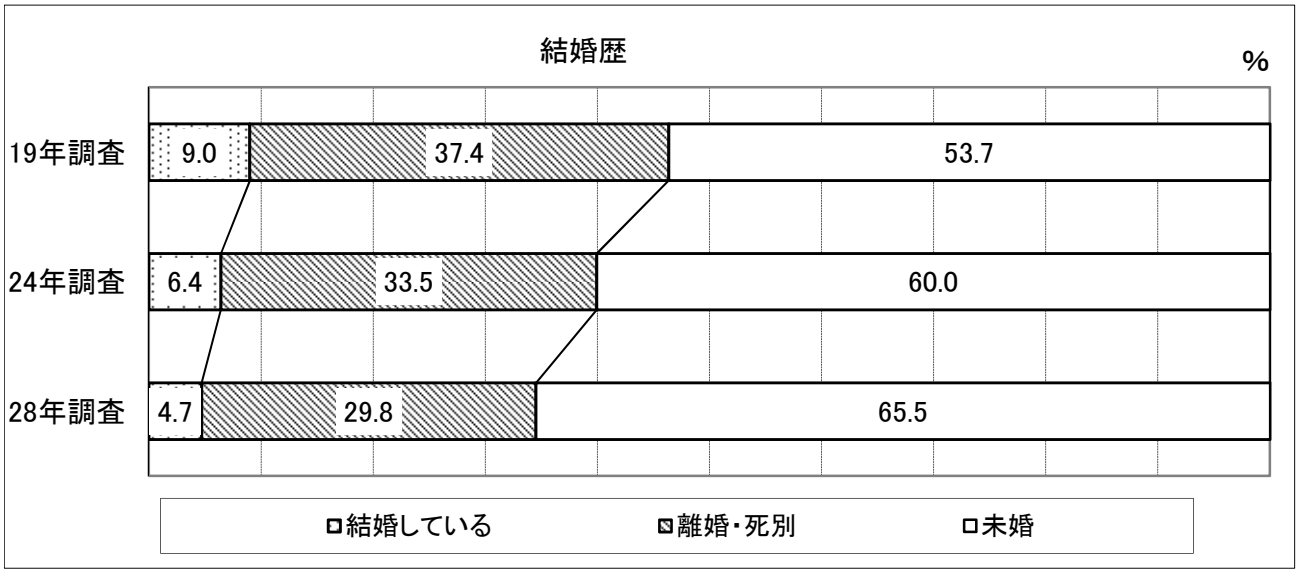


2 家族の状況

結婚歴については、「結婚している」が66人（4.7%）、「離婚・死別」が420人（29.8%）、「未婚」が922人（65.5%）となっている（表38）。

表38 問38 結婚（内縁を含む）はしましたか。

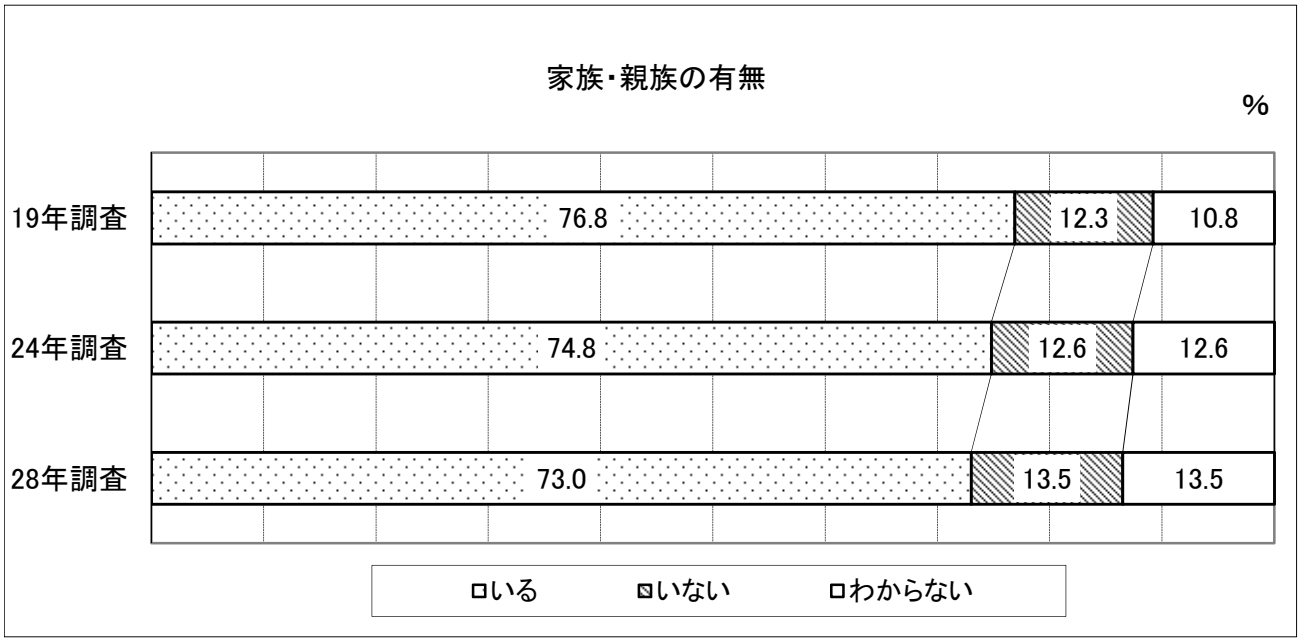
	人	%	有効%
1. 結婚している	66	4.6	4.7
2. 離婚・死別	420	29.3	29.8
3. 未婚	922	64.3	65.5
有効回答数	1,408	98.1	
無回答	27	1.9	
合計	1,435	100.0	



また、家族・親族の有無については、「いる」が1,035人（73.0%）、「いない」が192人（13.5%）、「わからない」が191人（13.5%）となっている（表39）。

表39　問39　親や兄弟などの家族・親族はいますか。

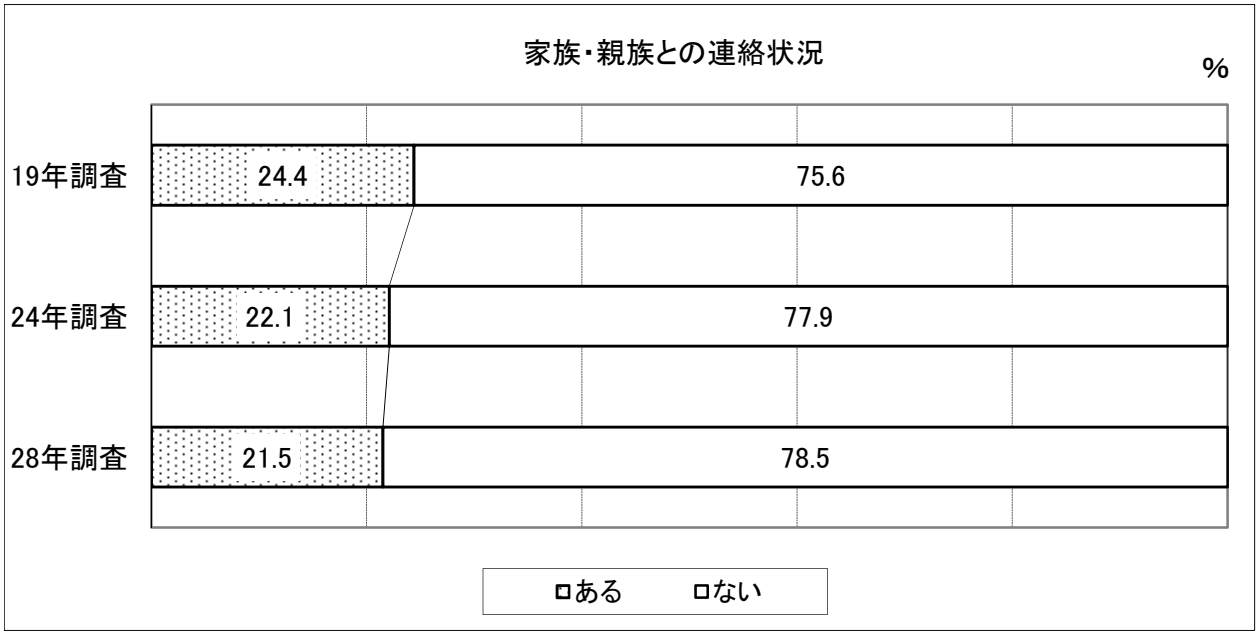
	人	%	有効%
1. いる	1035	72.1	73.0
2. いない	192	13.4	13.5
3. わからない	191	13.3	13.5
有効回答数	1,418	98.8	
無回答	17	1.2	
合計	1,435	100.0	



問39で「いる」と回答した者のこの一年間での家族・親族との連絡状況については、「ある」が222人（21.5%）、「ない」が811人（78.5%）となっている（表39-1）。

表39-1　問39-1　問39で「1. いる」と答えた方について、この一年間で家族・親族との連絡がありますか。

	人	%	有効%
1. ある	222	15.5	21.5
2. ない	811	56.5	78.5
有効回答数	1,033	72.0	100.0
無回答	2	0.1	0.2
非該当	400	27.9	38.7
合計	1,435	100.0	138.9

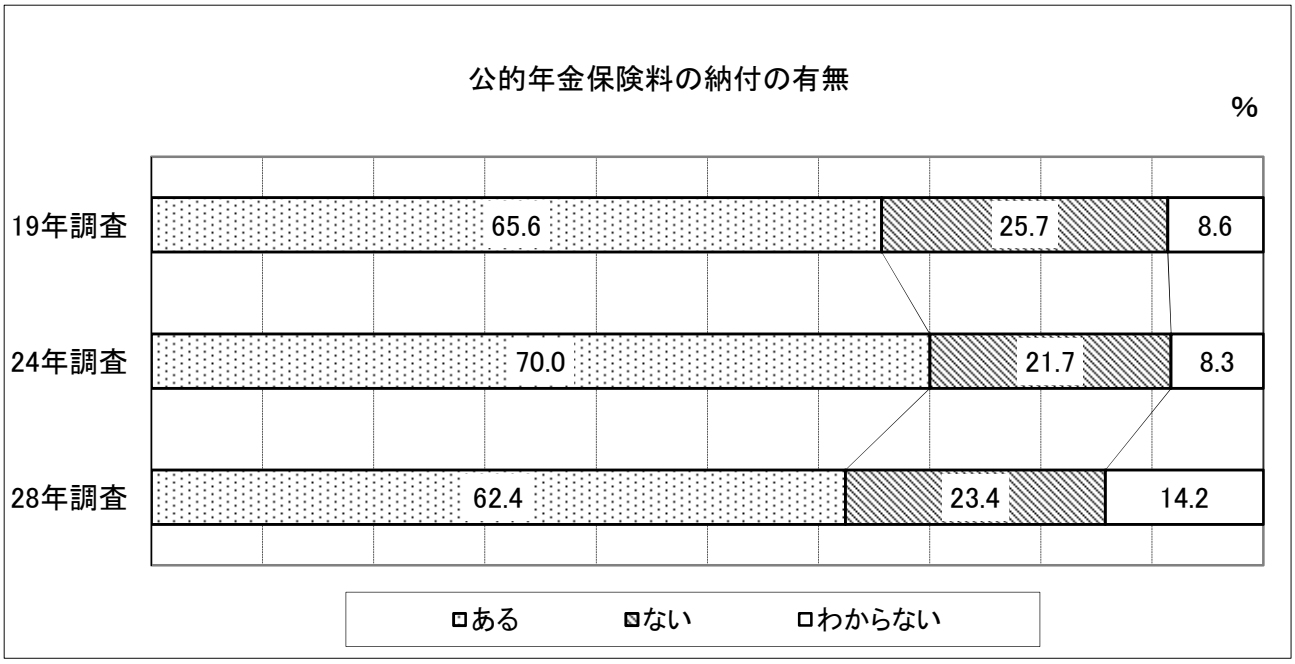


３ 年金・借金の状況

公的年金保険料の有無については、「ある」が884人（62.4%）、「ない」が332人（23.4%）となっている（表40）。

表40 問40 公的年金の保険料納付していたことはありますか。

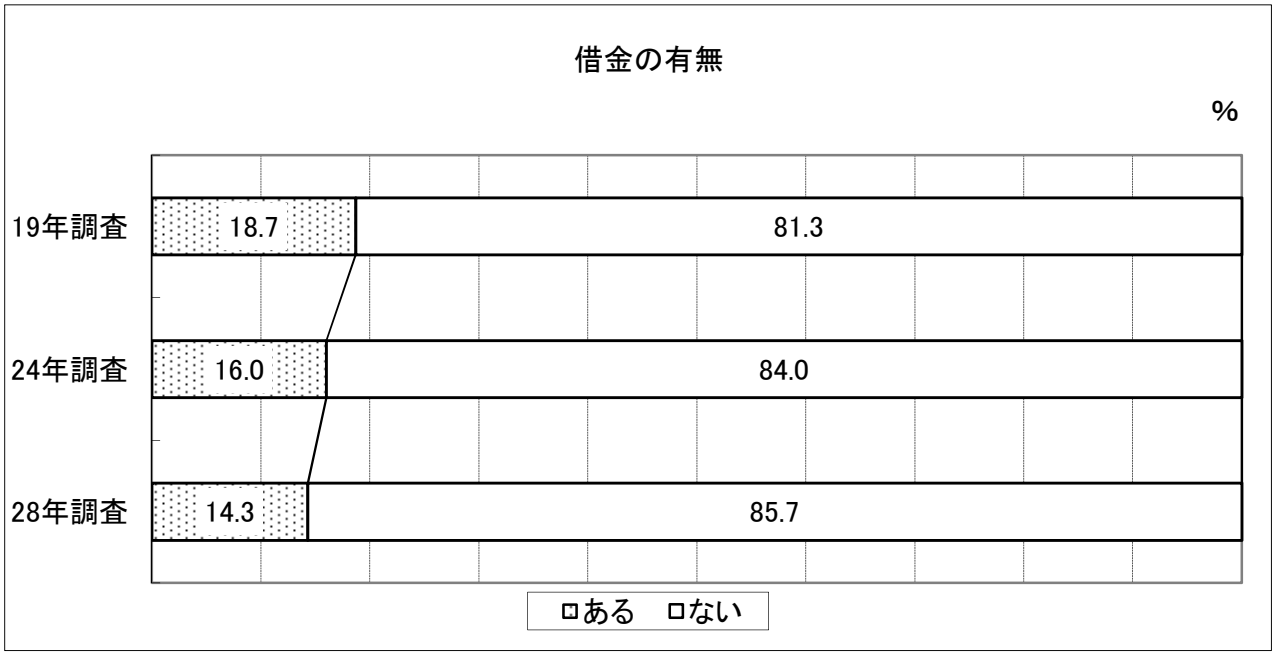
	人	%	有効%
1. ある	884	61.6	62.4
2. ない	332	23.1	23.4
3. わからない	201	14.0	14.2
有効回答数	1,417	98.7	
無回答	18	1.3	
合計	1,435	100.0	



金融機関や消費者金融などへの借金の有無については、「ある」が201人（14.3%）、「ない」が1,206人（85.7%）となっている（表41）。

表41　問41　金融機関や消費者金融などに借金はありますか。

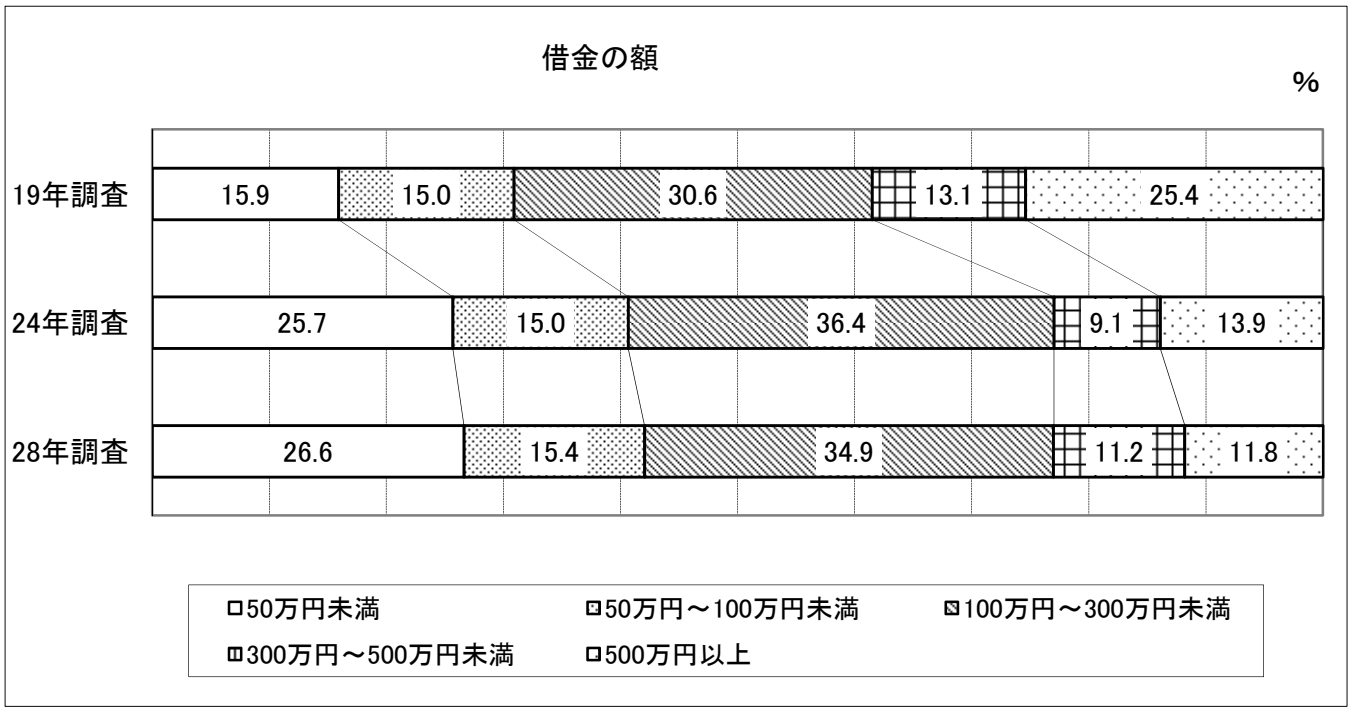
	人	%	有効%
1. ある	201	14.0	14.3
2. ない	1,206	84.0	85.7
有効回答数	1,407	98.0	100.0
無回答	28	2.0	
合計	1,435	100.0	



また、「ある」と回答した者については、「100万円～300万円未満」が59人（34.9%）と最も多く、次いで「50万円未満」が45人（26.6%）となっている（表41-1）。

表41-1　問41-1　問40で「1. ある」と答えた方について、それはいくらくらいですか。

	人	%	有効%
50万円未満	45	3.1	26.6
50万円～100万円未満	26	1.8	15.4
100万円～300万円未満	59	4.1	34.9
300万円～500万円未満	19	1.3	11.2
500万円以上	20	1.4	11.8
有効回答数	169	11.8	100.0
無回答	32	2.2	
非該当	1,234	86.0	
合計	1,435	100.0	

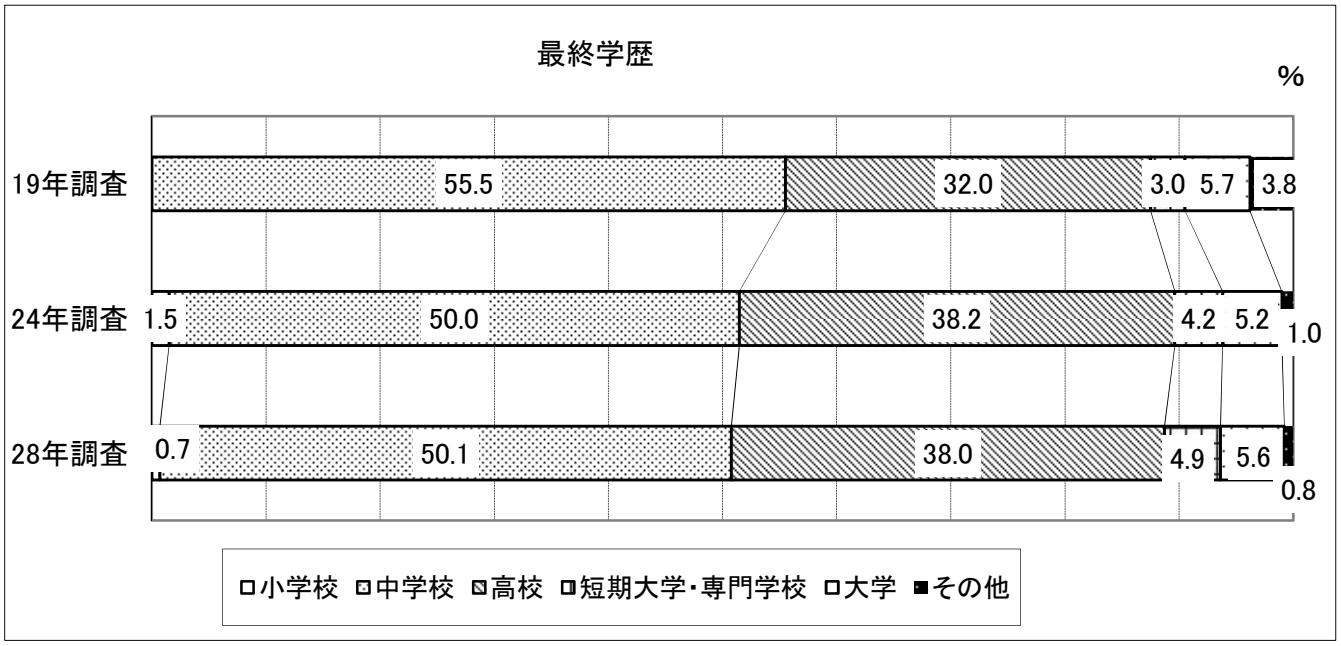


４ 学歴

最後に出た学校については「中学校」が708人（50.1%）と最も多く、次に「高校」が537人（38.0%）となっている（表42）。

表42 問42 最後に出た学校は次のどれですか。

	人	%	有効%
1. 小学校	10	0.7	0.7
2. 中学校	708	49.3	50.1
3. 高校	537	37.4	38.0
4. 短期大学・専門学校	69	4.8	4.9
5. 大学	79	5.5	5.6
6. その他	11	0.8	0.8
有効回答数	1,414	98.5	100.0
無回答	21	1.5	
合計	1,435	100.0	

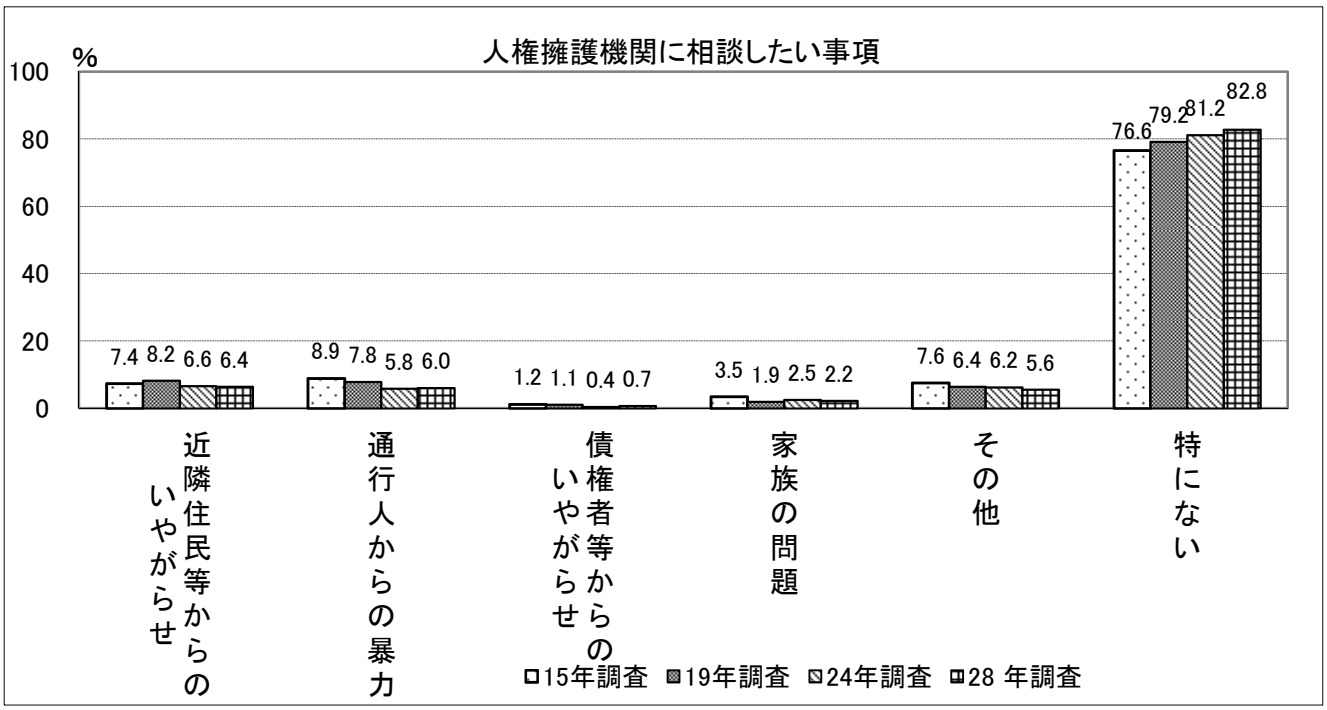


1　法務省の人権擁護機関に対して相談したい事項

法務省の人権擁護機関に対し、人権問題について相談したい事項については、「近隣住民からのいやがらせ」が88人（6.4%）、「通行人からの暴力」が83人（6.0%）等全体の約2割に当たる人から、人権問題について相談したいとの回答があった（表43）。

表43　問43　法務省の人権擁護機関（法務局・人権擁護委員）においては、人権問題についての相談に応じていますが、どのような事項について相談したいですか。あてはまるものをすべて選んでください。

（複数回答）	人	回答%	ケース%
1. 近隣住民等からのいやがらせ	88	6.2	6.4
2. 通行人からの暴力	83	5.8	6.0
3. 債権者等からのいやがらせ	10	0.7	0.7
4. 家族の問題	30	2.1	2.2
5. その他	77	5.4	5.6
6. 特にない	1,137	79.8	82.8
有効回答数	1,425	100.0	103.7
有効回答者数	1,374	95.7	
無回答	61	4.3	
合計	1,435	100.0	



2 行政や民間団体への要望・意見

行政や民間団体への要望意見については、「住居関連」が173人（33.7%）と最も多く、次いで「仕事関連」が145人（28.3%）となっている（表44）。

表44 問44 行政や民間団体への要望・意見を教えてください。

（複数回答）	人	回答%	ケース%
1. 仕事関連	145	18.1	28.3
2. 住居関連	173	21.6	33.7
3. 健康関連	78	9.7	15.2
4. 食事関連	90	11.2	17.5
5. その他の生活関連	114	14.2	22.2
6. その他	202	25.2	39.4
有効回答数	802	100.0	156.3
有効回答者数	513	35.7	
なし・無回答	922	64.3	
合計	1435	100.0	

